

要件定義書 (案)
(新図書館情報システム)

目次

1. システム概要
2. 要件定義
 - 2-1. 機能要件
 - 2-2. 非機能要件
 - 2-3. 図書館システム外要件
 - 2-4. 帳票系 (統計) 日本図書館協会 公共図書館調査票への対応
 - 2-5. 帳票系 (統計) 日本図書館協会 公共図書館調査票以外への対応
 - 2-6. 帳票系 (統計以外)
3. 別紙 (参考)
 - ・ 蔵書の取り扱いについて
 - ・ 移動図書館貸出返却概要

1. 新図書館情報システム概要

高知県立図書館・高知市民図書館新図書館情報システム等基本設計のシステム概要を以下に示す。

1-1. 新図書館情報システム開発の目的

高知県と高知市は、高知県立図書館と高知市民図書館本館を合築により整備し、一体的に運用する新しい図書館を平成27年度に開館することとしている。

このため、県立図書館及び市民図書館の現行の図書館情報システムを統合し、高知県立図書館・高知市民図書館 新図書館情報システムとして新たに整備する。

新システムは、図書館利用者の利便性の向上やサービスの充実等を図るため、現行システムの機能に加え、ICタグを活用したセルフ式貸出しや予約資料のセルフ式受取り等の新たな機能を導入するほか、両館の移動図書館、市民図書館の分館・分室を含めた図書館業務全般の円滑な運営に資するものとして整備することとしており、本業務では、新システムへの構築に係る基本設計を行う。

さらに、新図書館は、新点字図書館とこども科学館(仮称)を併せた複合施設として整備することから、インターネット接続回線の共用のほか、複合施設全体のスケジューリングや備品等の管理を総合的に行うための新図書館等複合施設ネットワーク基盤も併せて整備することとしており、本業務において、複合施設ネットワークの構築に係る基本設計も併せて行う。

1-2. 新図書館情報システム化対象範囲

1) 新図書館情報システム

新図書館情報システムに求められる基本機能は次のとおり。
各業務の詳細要件については、次章以降に記載するが、原則として、図書館システムパッケージ製品を基にカスタマイズすることを前提とするため、基礎となるパッケージ製品は十分な使用実績があること。

- (1) 窓口業務
貸出、返却、予約、出納、利用者管理
- (2) 資料管理業務
書誌管理、収書管理(予算/選書/発注/受入)、資料管理、督促、弁償
- (3) 図書館施設(視聴覚ライブラリー等)管理業務
貸出、返却、予約、利用者管理、ブース管理

1 システム名	高知県立図書館・高知市民図書館 新図書館情報システム	文書分類	要件定義書	要件種別	システム概要
<p>(4) 移動図書館業務(県、市) 貸出、返却、予約、利用者管理</p> <p>(5) 公開系業務 セルフ式機器(貸出/返却/予約)、蔵書検索システム(WEB、携帯、図書館内)</p> <p>(6) その他業務 相互貸借、国立国会図書館連携、レファレンスサービス、展示支援、CTI連携</p> <p>(7) 帳票出力業務 日本図書館協会公共図書館調査票対応、統計、利用者関連、蔵書関連、貸出管理、予約管理、収書管理、相互貸借、蔵書点検 ※なお、各詳細要件については、両館の現行の図書館情報システムに存在する帳票・統計機能をベースとして抽出しているが、基本設計における要件定義以降の工程において、再度精査を実施し、新システムにて必要となる帳票をまとめることとする。</p> <p>2) デジタルアーカイブシステム 収蔵品資料のデータベースによる管理(整理、データ化)とそのWebでの公開をサポートするWebシステムを導入する。</p> <p>3) グループウェアシステム 複合施設では新図書館、新点字図書館、こども科学館(仮称)の複数の組織が存在するため、横断的な情報共有や相互連絡のほか、施設管理も可能なWebシステムのグループウェアを導入する。</p> <p>4) CMS HTMLに関する専門知識がない職員でも情報発信が可能なシステムを導入する。</p> <p>5) デジタルサイネージシステム 各施設紹介やイベント情報などをデジタル技術を使って表示し、館内に発信するためのシステムを導入する。</p> <p>6) 統合死活監視システム 複合施設では、新図書館情報システムのほか、上記2)から5)のシステムも合わせて導入し、運用することから、これらを統合的に監視するシステムを導入する。</p>					

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	西遊館種 要項番号	西遊館種 フロー番号	備考	ステータス
1	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	PC型業務端末(デスクトップ型、ノート型)については、通信接続時においては、基本的に全ての機能が使用できること。		現状同等要件	必須	両館	4			確定
2	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	ポータブル型業務端末(PDA・スマートフォン・タブレット型)については、個人情報等を扱う機能については使用制限をかけることができること。	原則、無線通信による接続となること。から、セキュリティ上リスクを軽減するため。	新規要件		両館	5			確定
3	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	移動図書館の巡回先において、車載のPC型業務端末をスタンドアロンシステム運用ができ、サーバなどの接続時にデータを送信できること。	①貸出返却処理 ②帳票発行 ③利用者カード発行 ④接続時のデータ更新	新規要件	必須	市民	10			確定
4	新図書館業務	システム総合	システム環境	システム方式	処理を行う際は、一件ごとリアルタイムでデータ更新を行うシステムであること。	統計情報等補め処理が必要な情報はバッチ処理も可とする。	変更要件	必須	両館	17			確定
5	新図書館業務	システム総合	システム環境	セキュリティ	職員の利用者認証がおこなえること。	IDとパスワードによる認証 ログインIDは職員単位でのログインを前提とする。	現状同等要件	必須	市民	19			確定
6	新図書館業務	システム総合	システム環境	セキュリティ	職員の利用者認証について、システム管理者によるアクセス権限の付与や剥奪が可能であること。		現状同等要件	必須	両館	20			確定
7	新図書館業務	システム総合	システム環境	セキュリティ	監査機能を有すること。	システム利用の状況(特に、個人情報へのアクセス)を把握する各種の監査ログを収集できること。 (いつ(日時)、誰が(ユーザID)、どの業務画面(画面ID)で、どの利用者(利用者番号)に対する処理をしたかが追跡できる情報をログに出力すること。)	現状同等要件	必須	市民	21			確定
8	新図書館業務	システム総合	操作環境	メニュー画面	容易に業務選択がおこなえること。	ログイン後の初期メニュー画面については各業務画面へのリンクの分類分け、階層化とその配置変更が可能なこと。	新規要件	必須	県立	29			確定
9	新図書館業務	システム総合	操作環境	ユーザーのアクセス	様々なレベルのアクセス制御が設定できること。	ログインIDごとに業務機能の使用制限、表示制限、更新制限が可能なこと。	現状同等要件	必須	両館	30			確定
10	新図書館業務	システム総合	操作環境	ユーザーのアクセス	アクセス制御について、テンプレートが作成可能なこと。	同様の役割の職員に対して一括してアクセス制御の変更が可能なこと。	新規要件	必須	両館	31			確定
11	新図書館業務	システム総合	操作環境	ユーザーのアクセス	ユーザーが容易であること。	どの画面からでもユーザー切替が可能なこと。	現状同等要件	必須	県立	32			確定
12	新図書館業務	システム総合	操作環境	作業の並行	複数の業務を並行して処理できること。	複数ログインID(同一ログインID、異なるログインID)でシステムを並行して起動できること。	変更要件	必須	両館	34			確定
13	新図書館業務	システム総合	操作環境	作業の並行	検索画面については複数の画面を同時に表示できること。	最低2つは同時に表示できること。	現状同等要件	必須	両館	35			確定
14	新図書館業務	システム総合	操作環境	作業の並行	関連する作業間については画面間におけるマウス操作、及び、ファンクションキー操作による画面遷移が可能なこと。	貸出・返却・利用者管理・書誌管理の各画面間について、トップメニューに居ることなく、スムーズな画面遷移ができること。	現状同等要件	必須	両館	36、37			確定
15	新図書館業務	システム総合	操作環境	他業務との並行	図書館情報システムと他の業務とを並行しておこなえること。	業務端末上で、図書館システム以外にWebブラウザが可能で、Microsoft Office(Word・Excel、Powerpoint)も、マルチタスクで起動すること。	現状同等要件	必須	両館	38			確定
16	新図書館業務	システム総合	操作環境	バーコード対応	NW-7(GODABAR)規格に対応可能なこと。	資料コードの取り扱いについては、[別紙]蔵書の取り扱いについて参照。	現状同等要件	必須	両館	39			確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	図説機能 要素番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
17	新図書館業務	システム総合	操作環境	バーコード対応	入力される桁数の違いによって、誤り検知の適用可否および方式を設定することが可能なこと。	利用コードは11桁の県立図書館(モジュラス10ウェイT2)で統一するが、資料コードは10桁で県立図書館(モジュラス10ウェイT2)と市民図書館(MOD11W/DSR3)で誤り検知の方式が異なるため、先陣2館での判別は可能。	新規要件	必須	両館	42			確定
18	新図書館業務	システム総合	操作環境	バーコード対応	先頭2桁の桁数による判別によって、誤り検知の適用可否および方式を設定することが可能なこと。	資料コードは10桁で県立図書館(モジュラス10ウェイT2)と市民図書館(MOD11W/DSR3)で誤り検知の方式が異なるため、先陣2館での判別は可能。	新規要件	必須	両館	43			確定
19	新図書館業務	システム総合	操作環境	バーコード対応	利用バーコードについて誤り検知が可能なこと。	現在の県立図書館のチェックデジットはモジュラス10ウェイT2。	現状同等要件	必須	両館	44			確定
20	新図書館業務	システム総合	操作環境	バーコード対応	資料バーコードについて誤り検知が可能なこと。	資料コードは10桁で県立図書館(モジュラス10ウェイT2)と市民図書館(MOD11W/DSR3)で誤り検知の方式が異なる。	変更要件	必須	両館	45			確定
21	新図書館業務	システム総合	操作環境	搭載機能	帳票の出力プリンタについては、出力先を設定して自動的に印刷できること。		現状同等要件	必須	両館	46			確定
22	新図書館業務	システム総合	操作環境	搭載機能	画面上に表示された文字はすべて右クリックから表示されるメニューから「コピー」「切り取り」「貼り付け」が可能であること。		現状同等要件	必須	両館	47			確定
23	新図書館業務	システム総合	操作環境	搭載機能	画面キャプチャ機能を実装していること。	キャプチャした画像が自動的に保存され(保存先も設定可)、キャプチャしたイメージを簡単に印刷できること。	現状同等要件	必須	両館	48			確定
24	新図書館業務	システム総合	操作環境	サーバ運用	サーバ内の時計を活用し、開館スケジュールや返却期限の管理を実施できること。	開館スケジュール・休館日を考慮した返却期限、延長期限の自動設定機能	現状同等要件	必須	両館	51			確定
25	新図書館業務	システム総合	操作環境	サーバ運用	各館室ごとの休館日・返却期限日設定がおこなえること。		現状同等要件	必須	両館	52			確定
26	新図書館業務	システム総合	操作環境	サーバ運用	返却日のスライド変更が行えること。	年末年始等で連続した休館日がある場合に、同一の買出返却日に集中するのを防ぐために、その連続休館日分だけ、本来の買出期限より自動的にプラスする設定ができること。	現状同等要件	必須	両館	53			確定
27	新図書館業務	システム総合	操作環境	サーバ運用	サーバ内の時計を活用し、買出・返却・予約手続等の時間をサーバ側で一元的に管理を実施できること。	各館室のそれぞれの端末で処理された買出・返却・予約手続等の時間をサーバ側で一元的に管理できること。(予約の順番の正確な反映など)	現状同等要件	必須	市民	54			確定
28	新図書館業務	システム総合	電話との連携	自動応答電話	自動応答電話との連携ができること。	①貸出状況の確認 ②貸出資料の延長手続き ③予約状況の確認	新規要件	必須	両館	95			確定
29	新図書館業務	システム総合	電話との連携	自動応答電話	自動応答電話において、利用者認証を伴うサービスができること。		新規要件	必須	両館	96			確定
30	新図書館業務	システム総合	電話との連携	自動応答電話	自動応答電話において、開館日の案内ができること。		新規要件	必須	両館	97			確定
31	新図書館業務	システム総合	電話との連携	電話転送機能	着信した電話を、業務端末に転送できること。	業務端末からの再転送もできること。	新規要件	必須	両館	98			確定
32	新図書館業務	システム総合	電話との連携	スクリーンポプアップ	発信者番号表示機能で表示される電話番号から自動的に利用者を検索し、着信した特定の業務端末において表示できること。	業務端末の内、デスクトップ型計4台程度を、事務室内と3Fの窓口内1か所に設置を想定。	新規要件	必須	両館	100			確定
33	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	資料の貸出処理がおこなえること。	貸出規則を任意に設定できること。 貸出の種別ごとに期間・貸出点数を設定するため、通常貸出・相互貸借・協力貸出・特別貸出等、システム上で区別できるようにすること。	現状同等要件	必須	両館	101	2-4-1-1-2[1]~[7]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要素番号	関連業務プロセス番号	備考	ステータス
34	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	貸出点数について利用区分(個人・団体など)や資料区分(図書・雑誌など)、貸出区分(館内貸出、館外貸出など)ごとに設定ができること。	館内貸出(書籍資料等の館内貸出)と館外貸出の2種類について貸出点数を分けて統計値がとれること。また、システム仕様として最大設定値に上限がある場合はその上限数を提示すること。	現状同等要件	必須	両館	102	2-4-1-1-2[4]		確定
35	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	設定点数以上の資料コードが読み込まれた場合に警告を表示する設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	103	2-4-1-1-2[4]		確定
36	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	設定点数以上の資料コードが読み込まれた場合に資料の貸出ができ、設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	104	2-4-1-1-2[4]		確定
37	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	貸出期間について、利用区分(個人・団体など)や資料区分(図書・雑誌など)、また種々の資料や任意の資料グループごとに設定ができること。	設定を超えた点数の貸出しも可能なこと。また、システムの仕様として最大設定値に上限がある場合はその上限数を提示すること。	現状同等要件	必須	両館	105	2-4-1-1-2[5]		確定
38	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	利用者番号が読み込まれた場合に、その利用者のステータス区分(有効、二重登録、期限切れ等)に応じて、警告を表示する設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	106	2-4-1-3[2] 2-4-1-4[2] 2-4-1-5[2]		確定
39	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	利用者番号が読み込まれた場合に、その利用者のステータス区分(有効、二重登録、期限切れ等)に応じて、貸出ができない設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	107 130	2-4-1-3[2] 2-4-1-4[2] 2-4-1-5[2]		確定
40	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	貸出処理後、返却画面に遷移すること、なく貸出の取り消しができること。	貸出処理後不遷移同一画面表示中、もしくは一定時間内の貸出取消機能。 利用者貸出画面において表示されている、貸出一覧資料の中から任意の資料を選択して、貸出を取消し操作ができること。	新規要件		県立	108	2-4-1-1-2[5]		確定
41	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	利用カードのバーコードおよび、資料のバーコードもしくはICタグを利用して貸出ができること。	「利用カードバーコード+資料番号バーコード」、あるいは「利用カードバーコード+ICタグ」の読み取りのみでの貸出が出来ること。 利用者が指定されれば、利用者の情報(利用者番号)を再度入力すること、なく簡単に貸出の手続きが出来ること。	変更要件	必須	両館	109	2-4-1-1-2[3] 2-4-1-1-2[4] 2-4-1-2[1]		確定
42	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	キーボード、テンキーマウス又はタッチパネルによる入力により、利用者番号・資料番号を入力しての貸出ができること。		現状同等要件	必須	県立	110	2-4-1-1-2[3] 2-4-1-1-2[4]		確定
43	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	利用者検索を行い利用者を選択した後、選択した利用者の貸出画面へ一回の操作で遷移できること。		現状同等要件	必須	両館	111	2-4-1-1-2[5]		確定
44	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	電子書籍の貸出に対応していること。		新規要件		県立	112			確定
45	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	返却期限を貸出処理時に任意に変更できること。	原則、返却期限は貸出期間の設定により自動的に設定されるものとする。	現状同等要件	必須	両館	113	2-4-1-1-2[5]		確定
46	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	返却期限を貸出処理後に任意に変更できること。	原則、返却期限は貸出期間の設定により自動的に設定されるものとする。	現状同等要件	必須	両館	114	2-4-2-1[5] 2-4-2-2[6] 2-4-2-3[8] 2-4-2-4[8]		確定
47	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	返却期限の任意の変更はタブ切り替えや画面遷移すること、なくできること。		現状同等要件	必須	両館	115	2-4-2-1[5] 2-4-2-2[6] 2-4-2-3[8] 2-4-2-4[8]		確定
48	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出画面	貸出初期画面において利用者番号が入力されると、その利用者の利用者貸出画面に遷移すること。	利用者カードのバーコード(利用者番号)を読み込む、又は利用者番号入力と同時に、自動的に利用者貸出画面に遷移する(利用者情報を表示すること)。	現状同等要件	必須	県立	116	2-4-1-1-2[5]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プロセス番号	備考	ステータス
49	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	利用者貸出画面では、利用者情報として「利用区分」「個人・団体・個人図書部等」・「利用者番号」・「利用 者名」を表示できること。	利用者の表示は表示有無の設定ができること。 (個人情報保護の観点から利用者名を隠す設定が出来るこ と。)	現状同等要件	必須	両館	117	2-4-1-1-2[5]		確定
50	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	利用者貸出画面では、貸出中資料の情報として「貸 料コード」「資料名」「請求記号」「貸出日」「返却 日」「予約有無」「延滞情報」「付録の有無」「貸 料への通知有無」の表示や注意ならざる貸出状況の 一覧表示ができること。	それぞれの資料について詳細情報の画面への画面遷移が 可能なこと。	現状同等要件	必須	両館	118	2-4-1-1-2[5]		確定
51	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	利用者貸出画面において、資料番号を入力した際に 通知および注意の表示が可能であること。	資料注記および、資料ステータス区分(利用可能、除籍、不 明等)による注意事項の表示。	現状同等要件	必須	両館	119	2-4-1-1-2[5]		確定
52	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	利用者貸出画面において、延滞資料は分かりやすさ のため色を変えて表示できること。		現状同等要件	必須	両館	120	2-4-1-1-2[5]		確定
53	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	貸出中資料の表示は、貸出処理順(早い順)で表示 されること。	資料貸出時刻の表示および自動ソート機能	新規要件		県立	121	2-4-1-1-2[5]		確定
54	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	貸出中資料の「資料名」表示については、「資料名」 または「雑誌名+巻号」を1画面内に表示できること。		新規要件		県立	122	2-4-1-1-2[5]		確定
55	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	付録あり資料を貸出した場合、付録の状況を画面に 表示できること。	付録あり資料の貸出の際に、資料にあわせて「付録」その ものも貸し出しているのか、「付録」そのものは貸し出して いないのかを判別できること。	新規要件		両館	123	2-4-1-1-2[5]		確定
56	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	利用者貸出画面で貸出中資料の紛失処理が行え、 システム上から紛失レポートや紛失届が出力できる こと。	①システム上での紛失処理機能 ②紛失資料データ(非機購入用)・紛失届の印刷機能	現状同等要件	必須	県立	124	2-4-1-1-2[5]		確定
57	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	利用者貸出画面で貸出中資料の不明処理を行うこ とができること。		現状同等要件	必須	県立	125	2-4-1-1-2[5]		確定
58	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	利用者貸出画面で貸出中資料の確認中処理を行う ことができること。		現状同等要件	必須	県立	126	2-4-1-1-2[5]		確定
59	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	利用者貸出画面で、その資料に対する予約状況を 表示できること。		現状同等要件	必須	県立	127	2-4-1-1-2[5]		確定
60	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	利用者貸出 一覧	利用者貸出画面では、利用者情報と貸出中資料の 情報が同時に表示できること。	資料詳細情報の画面への画面遷移が可能なこと。	現状同等要件	必須	両館	128	2-4-1-1-2[5]		確定
61	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出処理	利用者番号を入力した際にコメントおよび注意の表 示が可能であること。	通知および、利用者ステータス区分(有効、二重登録、期限 切れ等)による注意事項の表示。	現状同等要件	必須	両館	129	2-4-1-1-2[5]		確定
62	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出処理	資料の貸出処理が行われた際に、その資料の利用 ステータス区分(利用可能、除籍、不明等)に応じ て、警告を表示する設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	131	2-4-1-3[2] 2-4-1-4[2] 2-4-1-5[2]		確定
63	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出処理	資料の貸出処理が行われた際に、その資料の利用 ステータス区分(利用可能、除籍、不明等)に応じ て、その資料の貸出ができない設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	132	2-4-1-3[2] 2-4-1-4[2] 2-4-1-5[2]		確定
64	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出処理	資料の貸出処理が行われた際に、その資料の利用 ステータス区分(利用可能、除籍、不明等)に応じ て、自動的に貸出可能状態とできること。		現状同等要件	必須	県立	133	2-4-1-3[2] 2-4-1-4[2] 2-4-1-5[2]		確定
65	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出処理	利用者貸出画面において、個々の貸出中資料の データへの資料注記の追記ができること。	書誌情報に記載するのではなく、資料個別のコメントとして 記録できること。	現状同等要件	必須	県立	134	2-4-1-1-2[5]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
66	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出処理	利用者貸出画面において、個々の貸出中資料のデータへの資料注記の追記の際、注記の表示期限も設定できること。		新規要件		両館	135	2-4-1-1-2[5]		確定
67	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出処理	貸出処理が正常に完了した場合に音を鳴らせること。 複数種となっている資料を、親番号への処理で一括して取り扱えること。		新規要件		県立	136	2-4-1-1-2[5]		確定
68	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出処理	貸出処理が正常に完了した場合に音を鳴らせること。 複数種となっている資料を、親番号への処理で一括して取り扱えること。		現状同等要件	必須	市民	137	2-4-1-1-2[5]		確定
69	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出処理	パッケージ化された複数資料を資料群として一括で貸出処理できること。	貸出中資料については、一括で貸し処理を行ったタイミングで予約処理を自動的にかけられること。 [パッケージ化された資料]:ブックリストとして登録された資料の事	新規要件		両館	138	2-4-1-1-2[5]		確定
70	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出レシート	貸出レシートの発行が可能であること。	発行の際に下記が選択できること。また、初期値(下記①～④の何れか)が設定できること。 ①その時の貸出資料 ②当日貸出資料 ③全貸出資料 ④レシート出力しない ※ ①が可能な②は不要	変更要件	必須	両館	139	2-4-1-1-2[7]		確定
71	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出レシート	延滞資料の貸出票(レシートの)発行が可能であること。		新規要件		県立	140	2-4-1-1-2[7]		確定
72	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出レシート	貸出レシートの発行は利用区分(個人、団体、県内図書館等)に応じて、発行の選択が可能・強制発行の2種類を選択できること。	「選択発行」と「自動発行」の2パターンを利用区分に応じて分ける。 また、レシートを自動的に出力するか、それとも全く出力しないかを予め選択し設定できること。	新規要件		両館	141	2-4-1-1-2[7]		確定
73	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出レシート	貸出レシートの印字項目として、利用者貸出画面に表示されている項目および任意の固定文が印刷できること。	利用者貸出画面に表示されている項目すべてから、こちらが選択し設定された項目が印字できること。 当日貸出レシートに印字するのヘッダーやフッターのコメントを自由に設定できること。	変更要件	必須	両館	142	2-4-1-1-2[7]		確定
74	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出レシート	貸出レシートに印字する項目の設定(印字文字数・レイアウト)は変更が可能なこと。	最大文字数は制限がないこと。	新規要件	必須	県立	143	2-4-1-1-2[7]		確定
75	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出レシート	貸出レシートに印字する任意の固定文は変更が可能なこと。		現状同等要件	必須	両館	144	2-4-1-1-2[7]		確定
76	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	貸出期間の延長ができること。		現状同等要件	必須	両館	145	2-4-2-1[5] 2-4-2-2[6] 2-4-2-3[8] 2-4-2-4[8]		確定
77	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	貸出期間の延長期間の設定ができること。	①延長期間のディフォルト値が設定できること。高、設定についてはSIF作業でも構わない。 ②利用区分(個人、団体、県内図書館等)に応じて延長の可否を設定できること。	現状同等要件	必須	両館	146	2-4-2-1[5] 2-4-2-2[6] 2-4-2-3[8] 2-4-2-4[8]		確定
78	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	延長対象外(延長禁止)資料を設定できること。		現状同等要件	必須	市民	147	2-4-2-4[8]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関係機能要素番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
79	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	貸出期間の延長に際して、元の返却期日から延長するのか、延長実行日から延長するのかを設定できること。		新規要件		両館	148	2-4-2-1[5] 2-4-2-2[6] 2-4-2-3[8] 2-4-2-4[8]		確定
80	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	貸出期間の延長回数制限設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	149	2-4-2-1[3] 2-4-2-2[4] 2-4-2-3[6] 2-4-2-4[6]		確定
81	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	貸出期間の延長が可能な資料数の制限設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	150	2-4-2-1[4] 2-4-2-2[5] 2-4-2-3[7] 2-4-2-4[7]		確定
82	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	延滞資料への貸出期間の延長の制限設定ができること。		新規要件		両館	151	2-4-2-4[8]		確定
83	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	利用者貸出画面で延長処理を行えること。		現状同等要件	必須	両館	152	2-4-2-4[8]		確定
84	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	利用者貸出画面での延長処理を行う資料の選択は、個別、複数個別および一括にもできること。	[個別]:1データ毎の指定 [複数個別]:画面表示されている資料をいくつかランダムにピックアップしてそれに対して一度に延長指定 [一括]:画面表示されている全ての資料を一括しての延長処理	現状同等要件	必須	両館	153	2-4-2-4[8]		確定
85	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出延長	利用者貸出画面での延長処理の際に、個別の資料の延長期間について任意で変更ができること。		新規要件		両館	154	2-4-2-4[8]		確定
86	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	館内貸出	資料の館内貸出(書籍資料等の館内貸出)処理ができること。		現状同等要件	必須	両館	155	2-3-2[1]		確定
87	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	館内貸出	利用者番号を認識しなくても館内貸出処理ができること。		新規要件		両館	156	2-3-2[1]		確定
88	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	館内貸出	貸出規則は館内貸出処理には適用されないこと。		現状同等要件	必須	県立	157	2-3-2[1]		確定
89	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	館内貸出	館内貸出の貸出期限は当日と固定設定できると。		現状同等要件	必須	両館	158	2-3-2[1]		確定
90	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	館内貸出	利用者貸出画面から、回の容易な操作で資料の状態(モード)を館内貸出処理モードに切り替えることが可能なこと。		新規要件	必須	県立	159	2-3-2[1]		確定
91	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	館内貸出	館内貸出処理は、貸出予約に影響を及ぼさないこと。		新規要件	必須	県立	160	2-3-2[1]		確定
92	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	館内貸出	館内貸出処理は貸出処理と区別して統計に反映されること。		新規要件	必須	両館	161	2-3-2[1]		確定
93	新図書館業務	窓口業務	貸出手続	館内貸出	館内貸出状態の資料を確認できること。		現状同等要件	必須	県立	162	2-3-2[1]		確定
94	新図書館業務	窓口業務	返却手続	資料の返却	資料の返却処理ができること。		現状同等要件	必須	両館	163	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
95	新図書館業務	窓口業務	返却手続	資料の返却	資料バーコードもしくはICタグを利用して返却ができること。		変更要件	必須	両館	164	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要素番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
96	新図書館業務	窓口業務	返却手続	資料の返却	キーボード、テンキーによる手動入力により、資料番号を入力しての返却ができること。	資料の返却	現状同等要件	必須	両館	165	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
97	新図書館業務	窓口業務	返却手続	資料の返却	最終返却者データを残す返却と、残さない返却の二通りの返却ができること。	資料の返却	変更要件	必須	両館	166	2-5-1-1-2[1]~[7] 2-5-1-4-1[1]		確定
98	新図書館業務	窓口業務	返却手続	資料の返却	返却数の統計が貸出利用者の利用区分(個人、団体など)ごとに取得できること。	資料の返却	新規要件	必須	県立	167	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
99	新図書館業務	窓口業務	返却手続	資料の返却	電子書籍の返却に対応していること。	資料の返却	新規要件	必須	県立	168			確定
100	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却処理	連続して返却処理ができること。	返却処理	新規要件	必須	県立	169	2-5-1-1-2[3]		確定
101	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却処理	連続して返却処理の際に同一資料を続けて入力できること。	返却処理	新規要件	必須	県立	170	2-5-1-1-2[3]		確定
102	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却処理	返却処理が正常に完了した場合に音を鳴らせること。	返却処理	新規要件	必須	県立	171	2-5-1-1-2[3]		確定
103	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却処理	資料のステータス区分に応じて、返却時、自動的に貸出し貸出可能なステータスに変更できること。	返却処理	現状同等要件	必須	県立	172	2-5-1-1-2[3]		確定
104	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却処理	返却処理が正常に完了した場合は、差分チェックが可能であること。	返却処理	新規要件	必須	市民	173	2-5-1-1-2[3]		確定
105	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	返却画面では返却された資料の「資料コード」、「資料名」、「所蔵種別」、「場所」、「予約有無」、「資料への通知」が表示できること。	返却画面	現状同等要件	必須	両館	174	2-5-1-1-2[3]		確定
106	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	返却画面では返却された資料の返却期限日の表示ができること。	返却画面	現状同等要件	必須	両館	175	2-5-1-1-2[3]		確定
107	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	返却画面では返却された資料について、「通常の返却」、「延滞資料の返却」、「未貸出資料の返却」等のステータス別により色分け表示ができること。	返却画面	現状同等要件	必須	両館	176	2-5-1-1-2[3]		確定
108	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	最終貸出者情報を返却画面に表示できること。 ①利用区分(個人、団体、県内図書館等) ②利用者番号 ③利用者名 ④利用期名 ⑤有効期限 ⑥予約資料の有無 ⑦最新の通知(利用者コメント)タイトル ⑧総件数が表示されること ※⑤~⑧は必須とする。	返却画面	現状同等要件	必須	両館	177 178	2-5-1-1-2[3]		確定
109	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	最終貸出者の予約情報、貸出情報・通知について1回の容易な操作で確認できること。	返却画面	現状同等要件	必須	両館	179	2-5-1-1-2[3]		確定
110	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	最終貸出者情報から、利用者詳細画面へ遷移できること。	返却画面	現状同等要件	必須	両館	180	2-5-1-1-2[3]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要素番号	関連業務プロセス番号	備考	ステータス
111	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	最終貸出者情報は画面遷移時に消去されること。 返却画面から、2回以内の操作で最終貸出者の貸出票(レシート)が印刷できること。	画面更新処理等で消えればよしとする。	現状同等要件	必須	両館	181	2-5-1-1-2[3]		確定
112	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	返却画面で付録を返却したかどうかをチェックできること。 返却時に資料注記のポップアップによるお知らせが可能であること。		現状同等要件	必須	両館	182	2-5-1-1-2[3]		確定
113	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	資料の返却時にレシートを発行できること。	レシートが出るまでのタイムラグについては、連続処理に影響を及ぼさないこと。	現状同等要件	必須	県立	183	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
114	新図書館業務	窓口業務	返却手続	返却画面	自館受取予約資料が返却された場合に、予約割当票が自動出力できること。 他館受取予約資料が返却された場合に、予約回送票が自動出力できること。		現状同等要件	必須	両館	184	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
115	新図書館業務	窓口業務	返却手続	レシート発行	資料の返却時にレシートを発行できること。		現状同等要件	必須	両館	185	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
116	新図書館業務	窓口業務	返却手続	レシート発行	資料の返却時にレシートを発行できること。		現状同等要件	必須	両館	186	2-5-1-1-2[5]		確定
117	新図書館業務	窓口業務	返却手続	レシート発行	資料の返却時にレシートを発行できること。		現状同等要件	必須	両館	187	2-5-1-1-2[6]		確定
118	新図書館業務	窓口業務	返却手続	レシート発行	資料の返却時にレシートを発行できること。		現状同等要件	必須	両館	188	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
119	新図書館業務	窓口業務	返却手続	レシート発行	資料の返却時にレシートを発行できること。		現状同等要件	必須	両館	189	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
120	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	資料の貸出予約ができること。	[資料確保依頼がされた資料]:予約がかかっている資料送先・回送事由を記した伝票が自動出力できること。	現状同等要件	必須	両館	190	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
121	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	資料の貸出予約ができること。		現状同等要件	必須	両館	191	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
122	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約点数以上の予約がされる際に資料の予約ができない設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	192	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
123	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約資料が利用可能になってからの取置期限の既定値を設定できること。		現状同等要件	必須	両館	193	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
124	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約資料が利用可能になってからの取置期限の既定値を設定できること。		現状同等要件	必須	両館	195	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
125	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約資料が利用可能になってからの取置期限の既定値を設定できること。		新規要件	必須	両館	196	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
126	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約資料が利用可能になってからの取置期限の既定値を設定できること。		現状同等要件	必須	両館	197	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
127	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約資料が利用可能になってからの取置期限の既定値を設定できること。		現状同等要件	必須	両館	198	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
128	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約資料が利用可能になってからの取置期限の既定値を設定できること。		現状同等要件	必須	両館	199	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
129	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約資料が利用可能になってからの取置期限の既定値を設定できること。		新規要件	必須	両館	200	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要素番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
130	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約の取消された資料について、その時点での一覧を出力できること。	システムの状態として予約取場所の設定数に上限がある場合はその上限数を提示すること。	現状同等要件		両館	201	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
131	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約資料取場の場所を設定できること。		現状同等要件	必須	両館	202	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
132	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約資料が利用可能になった時の連絡先(予約連絡先)を設定できること。		現状同等要件	必須	両館	203	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
133	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	こちらが設定したタイムゾーンで予約順の抽選機能ができること。	予約抽選機能とは、単純に、複数の予約希望者の順番を乱数で無作為に決める機能。(新刊資料や新刊雑誌等に複数の予約が入った場合、早い者勝ちになり窓口が混雑するのを防ぐために、所蔵ができた段階で抽選を行う。)	現状同等要件		両館	204	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
134	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	利用カードのバーコードを利用して予約ができること。	「利用カードバーコード+資料番号」での予約	現状同等要件	必須	両館	205	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
135	新図書館業務	窓口業務	予約手続	貸出予約	予約制限が検知された際に、警告を表示することができること。	予約冊数の制限値を超えた場合および予約不可資料(特許資料+予約禁止資料)に予約を入れようとした場合に警告表示できること。	現状同等要件	必須	両館	194、206	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
136	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約画面への遷移	すべての資料表示画面から、予約処理へ遷移できること。	資料登録更新に関わる画面は除く	新規要件	必須	県立	207	2-7-1-2[1]~[6] 2-7-1-3[1]~[3]		確定
137	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約レシート	予約状況レシート(予約状況票)を出力できること。	発行の際に下記が選択できること。また、初期値(下記①~④のどれか)が設定できること。 ①その時の予約資料 ②当日予約資料 ③全予約資料 ④レシート出力しない ※ ①が可能なら②は不要	現状同等要件	必須	両館	208	2-7-1-3[1]~[3]		確定
138	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約レシート	予約状況レシート(予約状況票)の発行は利用区分(個人、団体、県内図書館等)に応じて、発行の選択が可能・強制発行の2種類を選択できること。	「選択発行」と「自動発行」の2パターンを利用区分に応じて分ける。また、レシートを自動的に出力するか、それとも全く出力しないかを予約選択設定できること。	新規要件		両館	209	2-7-1-3[1]~[3]		確定
139	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約レシート	予約状況レシート(予約状況票)の印字項目として、利用者予約一覧の画面に表示されている項目および任意の固定文が印字できること。	利用者予約一覧の画面に表示されている項目すべてから、こちらが選択設定された項目が印字できること。	変更要件	必須	両館	210	2-7-1-3[1]~[3]		確定
140	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約レシート	予約状況レシート(予約状況票)に印字する項目の設定(印字文字数・レイアウト)は変更が可能なこと。	最大文字数には制限がないこと。	新規要件	必須	両館	211	2-7-1-3[1]~[3]		確定
141	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約レシート	予約状況レシート(予約状況票)に印字する任意の固定文は変更が可能なこと。		現状同等要件	必須	両館	212	2-7-1-3[1]~[3]		確定
142	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	資料一覧表示画面からは、資料を複数選択して同時に予約がかけられること。		現状同等要件	必須	県立	213	2-7-1-3[1]~[3]		確定
143	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	予約方法として「通常予約」、「順番指定予約」、「グループ(択一)予約」が設定できること。	「通常予約」:冊ごとに別予約と取り扱う。 「順番指定予約」:利用者任意に指定した順(上下木等)に資料が割り当てることができる。 「グループ(択一)予約」:同一内容(判形違い)の資料などを、グループとして予約し、そのうちの利用者が任意に指定した点数の資料が割り当てられた段階でグループ内の他予約が解除される。	現状同等要件	必須	両館	214	2-7-1-3[1]~[3]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
144	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	予約の有効期間設定を職員による予約時に設定できること。		現状同等要件	必須	両館	215	2-7-1-3[1]~[3]		確定
145	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	予約資料の受取場所を一つ選択できること。(複数選択できないこと。)		現状同等要件	必須	両館	217	2-7-1-3[1]~[3]		確定
146	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	資料確保までは予約資料の受取場所の変更ができること。		現状同等要件	必須	両館	218	2-7-1-3[1]~[3]		確定
147	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	資料取消時に、メール登録者に対しては取消内容の自動送信ができること。		新規要件		両館	219	2-7-1-3[1]~[3]		確定
148	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	予約資料到着時の連絡方法の一つ選択できること。		現状同等要件	必須	両館	220	2-7-1-3[1]~[3]		確定
149	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	予約資料到着時の連絡方法を選択した際に、利用者が登録していない項目については警告ができるが、選択できなくすることができること。		変更要件		両館	221	2-7-1-3[1]~[3]		確定
150	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	予約資料到着時の連絡方法を選択した際に、利用目的が登録していない項目についてはその場での項目のみ登録更新できないこと。	その場でその資料に限って連絡方法を要する場合は、予約画面上での設定が可能であること。	新規要件		両館	222	2-7-1-3[1]~[3]		確定
151	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	予約資料到着時にメールでの連絡について自動送信できること。	送付のタイミングは1点毎の送信と、定時にまとめて送信のどちらの方法も選択できること。	現状同等要件	必須	両館	223	2-7-1-3[1]~[3]		確定
152	新図書館業務	窓口業務	予約手続	予約処理	メールでの連絡について、取置き期限が近づいた場合、お知らせメールを送信できること。		新規要件		両館	224	2-7-1-3[1]~[3]		確定
153	新図書館業務	窓口業務	予約手続	書誌予約一覽	書誌別予約一覽上で予約割当順の変更が可能なおと。		現状同等要件	必須	両館	225	2-7-1-3[1]~[3]		確定
154	新図書館業務	窓口業務	予約手続	書誌予約一覽	書誌別予約一覽上で予約割当順の変更が可能なおと。	本機能の実現にあたっては、変更をした際にはミスによる変更を防ぐため理由の入力を必須とすること。	新規要件		両館	226	2-7-1-3[1]~[3]		確定
155	新図書館業務	窓口業務	予約手続	書誌予約一覽	書誌別予約一覽上で予約取消ができること。	本機能の実現にあたっては、取消をする際にはミスによる取消を防ぐため理由の入力を必須とすること。	新規要件		両館	227	2-7-1-3[1]~[3]		確定
156	新図書館業務	窓口業務	予約手続	書誌予約一覽からの遷移	書誌別の予約一覽から選択した予約の予約内容を修正する画面へ遷移できること。		現状同等要件	必須	両館	228	2-7-1-3[1]~[3]		確定
157	新図書館業務	窓口業務	資料の取置	資料取置	取り置き(電話等)による在架資料の簡易確保業務)による資料確保状態を、業務終了まで確認できること。	未登録利用者を取り置きについても管理できること。	新規要件		両館	229	2-3-1-4[1]		確定
158	新図書館業務	窓口業務	書庫資料出納	書庫資料出納	資料検索結果一覽(各書誌所蔵資料一覽)や書誌詳細画面から新図書館(県立、市民本館)の書庫に所蔵されている資料の書庫出納依頼がかけられること。		新規要件	必須	両館	230	2-3-1-2[1]~[7]		確定
159	新図書館業務	窓口業務	書庫資料出納	書庫資料出納	書庫出納依頼がかけられた場合に該当資料の情報を書庫場所に応じて最適な場所のプリンタに出力ができること。	書庫出納に必要な項目が書かれたシートや帳票が所蔵場所に近いプリンタへの出力設定ができること。	新規要件	必須	両館	231	2-3-1-2[1]~[7]		確定
160	新図書館業務	窓口業務	書庫資料出納	書庫資料出納	出納した資料を届けをカウンターを選択できること。		新規要件	必須	両館	232	2-3-1-2[1]~[7]		確定
161	新図書館業務	窓口業務	書庫資料出納	書庫資料出納	資料番号等の連続入力による一括依頼ができること。		新規要件	必須	両館	233	2-3-1-2[1]~[7]		確定
162	新図書館業務	窓口業務	書庫資料出納	書庫資料出納	書庫出納依頼ごとに番号シートを発行できること。		新規要件	必須	両館	234	2-3-1-2[1]~[7]		確定
163	新図書館業務	窓口業務	書庫資料出納	書庫資料出納	出納した資料がカウンターに届けられ、依頼が完了した場合に、番号を画面(OPAC)や専用モニタを想定)へ表示できること。	専用モニタとしては、液晶モニタ又は液晶TV、専用PCのモニタ等の汎用的な製品への出力を想定。	新規要件	必須	両館	235	2-3-1-2[1]~[7]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 アロ一番号	備考	ステータス
164	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	利用者情報を登録できること。	①項目により入力文字(漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字等)の範囲ができること。 ②項目(性別など)により性別などの定型的な入力に対する既定値の選択機能 ③電話番号や住所の複数登録 ④名前の自動カナ振り機能 ⑤住所入力からの郵便番号検索機能	現状同等要件	必須	両館	236	2-1-1-2[1]~[8]		確定
165	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	県内の郵便番号から住所を自動入力できること。	県内における郵便番号変更があった際は随時郵便番号データを更新	現状同等要件	必須	県立	237	2-1-1-2[1]~[8]		確定
166	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	県外の郵便番号から住所を自動入力できること。	県外分は月回程度データ更新する	新規要件		両館	238	2-1-1-2[1]~[8]		確定
167	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	入力項目はシステム構築時に監議調整できること。		現状同等要件	必須	両館	239	2-1-1-2[1]~[8]		確定
168	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	入力項目には、今後の必要項目の追加に備えて、予備の項目(項目名は変更可能なこと)を備えること。	項目数としては10項目程度、項目名は全角10文字程度で、項目内容としては全角100文字程度。 プログラムの修正は想定しているが、テーブルのレイアウトを変更するとインパクトが大きくなるので、それを選挙るために予め予備を確保する。	新規要件		両館	240	2-1-1-2[1]~[8]		確定
169	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	入力項目について、必須項目の設定と変更ができること。		現状同等要件		両館	241	2-1-1-2[1]~[8]		確定
170	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	仮パスワードの発行(パスワード初期化)ができること。	OPACにログインしてのサービスに必要	現状同等要件	必須	両館	242	2-1-1-2[1]~[8]		確定
171	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	登録内容の修正が行えること。		現状同等要件	必須	両館	243	2-1-1-2[1]~[8]		確定
172	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	登録日や修正日など、変更できてしまつと不具合の発生する可能性のある項目について、手動での修正ができない項目としての設定ができること。		新規要件		両館	244	2-1-1-2[1]~[8]		確定
173	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	最低限の利用者情報入力による仮登録がおこなえること。	氏名ヨミ・生年月日等の二重登録確認項目の入力で登録できること。 本人入力項目については、本登録するまで未入力項目の強調表示ができること。 (仮登録は利用者番号が付与されず利用カードと関連付けできない状態を指す。	現状同等要件	必須	市民	245	2-1-1-2[1]~[8]		確定
174	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	個人利用者と団体利用者を区分して運用できること。		現状同等要件	必須	県立	246	2-1-1-2[1]~[8] 2-1-1-5[1]~[7]		確定
175	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	登録済み利用者の登録情報を流用して登録がおこなえること。		現状同等要件	必須	県立	248	2-1-1-2[1]~[8]		確定
176	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	登録時の証明画(種類)の登録や表示ができること。	チェックボックスやラジオボタン等で、「どの証明で登録を認可したか」を記録する。なお、「その他」の選択項目と、それに付随する直接入力欄も設けること。	新規要件		市民	249	2-1-1-2[1]~[8]		確定
177	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	家族登録	家族をグループページする機能があること。	県は現在、固定電話や携帯電話等で、「どの証明で登録を認可したか」を記録する。なお、「その他」の選択項目と、それに付随する直接入力欄も設けること。固定電話以外の家族判定項目については提案頂きたい。	現状同等要件		両館	250	2-1-1-2[1]~[8]		確定
178	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	登録の更新	利用登録の有効期間が自動で設定されること。		現状同等要件	必須	両館	251	2-1-1-2[1]~[8]		確定
179	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	登録の更新	利用登録の有効期間は手動で変更できること。		現状同等要件	必須	両館	252	2-1-1-2[1]~[8]		確定
180	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	登録の更新	利用登録の有効期間の更新(更新後の新期限の自動入力)ができること。		現状同等要件	必須	両館	253	2-1-1-2[1]~[8]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プロシ番号	備考	ステータス
181	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用カードの再発行	利用カードの再発行機能(新カードへの旧カードデータ引き継ぎおよび、旧カードデータの無効化)があること。 任意の条件に合致する利用者(登録無効者も含む全利用者)の検索ができること。	再発行履歴(回数・再発行前の利用者番号)を記録できること。 利用者番号・姓・名・生年月日・電話番号等の入力項目と重なっている項目に対して、条件を任意に設定し、利用者を検索できること。	現状同等要件	必須	同館	254	2-1-4[1]~[7]		確定
182	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者検索			現状同等要件	必須	同館	255	2-1-1-2[1]		確定
183	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者検索	氏名や住所は、異体字・旧字の区別なく検索できること。 利用コメント(県での「通知」)に入れた言葉で利用者を検索できること。	新規要件			県立	256	2-1-1-2[1]		確定
184	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者検索			新規要件		県立	257	2-1-1-2[1]		確定
185	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者検索	中間・後方一致でも検索できること。		新規要件		県立	258	2-1-1-2[1]		確定
186	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者検索	二重登録の自動確認ができること。	名前と生年月日的一致等により自動で確認できること。	現状同等要件	必須	県立	259	2-1-1-2[1]		確定
187	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者検索	利用者番号から利用者検索ができること。(利用カードのバーコード読取でもできること)	利用者検索画面で利用者番号の入力ボックスを選択して、利用者番号を入力すると、登録されている番号の場合は利用者詳細画面、未登録番号の場合は新規登録画面に遷移すること。	現状同等要件	必須	市民	260	2-1-1-2[1]		確定
188	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者検索	利用者検索の結果の一覧を表示できること。	名前、性別等の必要な項目を表示できること。	現状同等要件	必須	同館	261	2-1-1-2[1]		確定
189	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者検索	利用者検索の結果の一覧を並べ替えることができること。 (利用者番号、生年月日、登録日等の降順・昇順)		現状同等要件	必須	同館	262	2-1-1-2[1]		確定
190	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者検索	利用者の登録予約の「有効」「無効」区分を選択できること。(旧カードと新カードをデータベース上で交換できること。)	カード再発行者が元のカードを写つけて新しく発行したカードをなくした際、簡単に「無効」「有効」を逆転させる場合を想定。 複数の利用者番号を一人の利用者として名寄せし、新旧カードの区別なく利用することが可能ならばそれでも可。	新規要件		県立	263	2-1-1-2[1]		確定
191	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者詳細	個別利用者の詳細な情報を表示できること。		現状同等要件	必須	市民	264	2-1-1-2[4]		確定
192	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者詳細	貸出停止措置(一時的に本の借り受けができないような状態)が可能であること。		現状同等要件	必須	市民	265	2-1-1-2[4]		確定
193	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者詳細	利用者の貸出資料中に長期延滞のステータスとなつている貸出がある場合、新たな資料の貸出ができないようにできること。		現状同等要件	必須	県立	266	2-1-1-2[4]		確定
194	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメント(市の「利用者コメント」県の「通知」に相当、以下利用者コメント)を入力と修正、削除ができること。		現状同等要件	必須	同館	267	2-1-1-2[4]		確定
195	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの入力件数は利用者当たり10件以上とする。		新規要件	必須	同館	268	2-1-1-2[4]		確定
196	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの総件数には特に制限を設けないこと。		新規要件		同館	269	2-1-1-2[4]		確定
197	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの当日中の入力、修正回数には入力件数上限値以外の制限がないこと。		現状同等要件		同館	270	2-1-1-2[4]		確定
198	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントはそれぞれ表示期限を設定できること。		現状同等要件		同館	271	2-1-1-2[4]		確定

項目	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要素元	国連機能要求番号	国連業務プロセス番号	備考	ステータス
199	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントはそれぞれ入力・修正日時が自動的に入力されること。		現状同等要件		両館	272	2-1-1-2[4]		確定
200	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントはそれぞれ入力・修正者が自動的に入力されること。		新規要件		両館	273	2-1-1-2[4]		確定
201	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントに自動的に入力される入力・修正者の変更が可能なこと。		新規要件		両館	274	2-1-1-2[4]		確定
202	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの定型文は職員が変更でき、全端末で共通に使えること。	利用者コメントは最大20個程度の定型文(文字数制限は200文字程度)が設定できること。また定型文の変更は権限がある職員のみが行えること。	現状同等要件		両館	275	2-1-1-2[4]		確定
203	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの1件当たりの入力文字数は400文字以上とする。		新規要件	必須	両館	276	2-1-1-2[4]		確定
204	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの利用者への公開・非公開が選択できること。		現状同等要件	必須	両館	277	2-1-1-2[4]		確定
205	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントを利用者本人に対しても表示できること。	利用者への表示は、利用者への公開が選択されているコメントのみとする。またOPACにログインした画面でコメント表示できること。	現状同等要件	必須	両館	278	2-1-1-2[4]		確定
206	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントについては全コメントを職員に対して、公開選択のみで表示できること。		現状同等要件	必須	両館	279	2-1-1-2[4]		確定
207	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者に関する、自動表示メッセージを貸出画面、返却画面で表示できること。	①利用登録の有効期限切れ ②貸出不可利用者(無効、再発行済、削除済等の貸出不可の利用ステータスとなつている利用者) ③予約割当(予約割当到着済)資料あり ④延滞資料あり ⑤コメントあり	現状同等要件	必須	両館	280	2-1-1-2[4]		確定
208	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの入力日付による検索と一覧表示ができること。	各コメントが付与されている利用者の詳細画面への遷移ができること。	新規要件		県立	281	2-1-1-2[4]		確定
209	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの入力日付による検索と一覧表示からコメントの削除ができること。		新規要件		両館	282	2-1-1-2[4]		確定
210	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの表示順を職員が入替できること。	入れ替えた順が既定順となること。	新規要件	必須	県立	283	2-1-1-2[4]		確定
211	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントの表示順を個別にメール送信ができること。		新規要件	必須	両館	284	2-1-1-2[4]		確定
212	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントを個別にメール送信ができること。	利用者コメント画面から指定したコメント(複数指定可)のみを該当利用者(個別に)メール送信できること。尚、利用者に関する職員間の伝達コメントは利用者(個別に)メール送信されないこと。	新規要件		両館	285	2-1-1-2[4]		確定
213	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者コメント	利用者コメントを個別又は全件コメント印刷できること。		新規要件		県立	286	2-1-1-2[4]		確定
214	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	その利用者が現在予約している資料一覧の表示(以下、利用者予約資料一覧)ができること。		現状同等要件	必須	両館	287	2-7-1-3[2]		確定
215	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	利用者詳細画面からは1操作で利用者予約資料一覧へは移動できること。		現状同等要件	必須	両館	288	2-7-1-3[2]		確定
216	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	利用者予約資料一覧では、予約1件ごとの予約状況、予約窓口、予約席、予約順位、割当日時、予約種別(通常、順番指定予約、グループ)、予約有効期限、書名、著者名、連絡方法の情報を表示できること。		現状同等要件	必須	両館	289	2-7-1-3[2]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
217	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	予約資料到着通知の回数・手段・日時が設定できること。それが利用者の予約資料一覧から確認できること。		新規要件	必須	市民	290	2-7-1-3[2]		確定
218	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	予約資料到着通知メールが届いてきた時、利用者番号・メールアドレス、返送理由を抽出・表示し、エクセル形式で出力できること。	送信失敗および、MAILER-DAEMONによる返送メールに対する要件。	新規要件	必須	市民	291	2-7-1-3[2]		確定
219	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	利用者コードを入力することにより、利用者の予約状況を表示できること。		新規要件		県立	292	2-7-1-3[2]		確定
220	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	予約資料の資料名「表示」については、「資料名」または「雑誌名+巻号」を1画面内に表示できること。		新規要件	必須	県立	293	2-7-1-3[2]		確定
221	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	利用者予約資料一覧でそれぞれの予約資料の状況(検討中・法文中・提供準備中・他館依頼中・他館配送待ちなど)を確認できること。		新規要件	必須	市民	294	2-7-1-3[2]		確定
222	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	利用者予約資料一覧から、1操作以内で予約内容の修正ができること。		現状同等要件	必須	県立	295	2-7-1-3[2]		確定
223	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者予約資料一覧	利用者予約資料一覧から、1操作以内(解除確認画面を除く)で予約解除が行えること。		現状同等要件	必須	両館	296	2-7-1-3[2]		確定
224	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	条件を任意に設定し、定められた文字入力の規則性・一致方向のもとで、目的の資料を検索できること。	①完全一致検索 ②部分(中間)一致検索 ③前方一致検索 ④後方一致検索	現状同等要件	必須	県立	297	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
225	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	検索対象項目同士の論理演算ができること。	①論理積(AND) ②論理和(OR) ③否定(NOT)	現状同等要件	必須	県立	298	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
226	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	論理演算の優先順位付けができること。		新規要件		両館	299	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
227	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	資料種別や区分等の選択制の所蔵項目のみを指定して検索できること。	検索語を入れなくても検索できること。	新規要件	必須	市民	300	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
228	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	検索結果に対して2次(絞り込み)検索ができること。	検索できる項目、絞り込み回数に制限がないこと。	現状同等要件	必須	両館	301	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定

項番	重要分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
229	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	検索結果の履歴検索ができること。		現状同等要件	必須	両館	302	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
230	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	検索結果の履歴の組み合わせによる検索ができること。		新規要件	必須	両館	303	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
231	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	書誌を構成する各書誌的事項(タイトル、責任表示等の各内容を対象とした任意の条件に合致する資料の検索ができること。(各書誌的事項のそれぞれの項目に対して個別に検索条件を設定できること))	(任意の条件とは、項番224と225で定義されている任意の条件を指します。)	変更要件	必須	両館	304	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
232	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	書誌の内容細目(簿数の著作で構成される図書の商品番号)および責任表示、雑誌の記号名と責任表示等を対象とした任意の条件に合致する資料の検索ができること。		現状同等要件	必須	両館	305	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
233	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	MARC番号を対象とした任意の条件に合致する資料の検索ができること。		現状同等要件	必須	両館	306	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
234	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	書誌コメントを対象とした任意の条件に合致する資料の検索ができること。		新規要件	必須	両館	307	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
235	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	資料コメントを対象とした任意の条件に合致する資料の検索ができること。		新規要件	必須	県立	308	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
236	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	対象項目の入力値の有無による検索もできること。		新規要件	必須	両館	309	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
237	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	所蔵データ(資料番号、所蔵館室および構築場所、資料ステータス、資料の最終処理日、資料の最終処理日、所蔵注記)を対象とした任意の条件に合致する資料の検索ができること。		変更要件	必須	両館	310、 311	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
238	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	指定する館室(それぞれの館室を選択できること)が未所蔵の資料を検索できること。		新規要件	必須	市民	312	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定

項目	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プロセス	備考	ステータス
239	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	資料の大きさや範囲指定して検索できること。		新規要件	必須	市民	313	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
240	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	雑誌について、未所蔵の巻号を検索できること。		新規要件	必須	市民	314	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
241	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	所蔵データの中でも、別置記号と請求記号に特化した検索ができること。		現状同等要件	必須	両館	315	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
242	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	雑誌の全項目仕様の条件に合致する資料の検索ができること。(各書誌的事項全てに対する全文検索)	任意の項目は対象外とできること。	現状同等要件	必須	両館	316	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
243	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	検索文字として使用できる文字種に特段の理由がない限り制限を設けないこと。	①漢字 ②ひらがな ③カタカナ ④英数字	現状同等要件	必須	県立	317	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
244	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	漢字については異体字・旧字の区別なく検索できること。		現状同等要件	必須	両館	318	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
245	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	漢字については異体字・旧字の区別をつけても検索できること。		現状同等要件	必須	両館	319	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
246	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	文字数(特にタイトル等での1文字書名)が少ないときでも検索できること。		変更要件	必須	県立	320	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
247	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	複数の単語を空白で区切ることにより、空白をANDとみなし検索ができること。		新規要件	必須	県立	321	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
248	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	複合検索が随意にできること。同一項目について(AND・OR等の検索ができること。AND・OR等の検索ができること。)	【例】 ①別置記号・請求記号×キーワード×出版年 ②雑誌タイトル×雑誌記事内容 ③別置記号×出版年×所蔵館室 ④内容室録×シリーズ名 など	変更要件	必須	県立	322	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
249	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	資料検索結果一覧から展開検索できること。 (展開検索：一覧中のある資料の書誌項目(機能詳細に記載している項目)の内容で別な検索を行う。連想しながら検索するイメージ。例えば検索した結果の書誌情報を利用し、そこに表示された情報からてまた別の主題で検索を行う)	①現在タイトル ②第1著者名 ③シリーズ名 ④一般件名 ⑤個人件名 ⑥第2著者 ⑦絵作者名 ⑧出版社名 ⑨その他必要な項目	変更要件	必須	県立	323	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
250	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料検索結果一覧	資料検索の結果の書誌一覧(資料検索結果一覧)を表示できること。	①資料名(タイトルすべて) ②著者名 ③シリーズ名 ④出版年月 ⑤ISBN ⑥請求記号・分類記号 ⑦自館室と館全体の所蔵数および貸出可能数 ⑧表紙イメージの表示 (⑧以外必須)	変更要件	必須	市民	326	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
251	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料検索結果一覧	資料一覧画面上で受入先、受入区分、受入日を表示できること。	画面切り替えによる表示でも可	新規要件		市民	327	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
252	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧の各書誌の状態に応じて色分けして表示できること。	①百館室利用可能所蔵あり ②館全体で所蔵あり ③貸出中 ④発注中 ⑤未所蔵	変更要件	必須	両館	328	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
253	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧の表示項目を並べ替えることができること。		新規要件		両館	329	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
254	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧の印刷が可能であること。		現状同等要件	必須	両館	330	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
255	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧に上図がないこと。		変更要件	必須	県立	331	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定
256	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧順のソート機能ができること。	①検索結果のタイトル ②責任表示 ③MARCONDC分類 ④出版年月 ⑤シリーズ	現状同等要件	必須	県立	332	3-1-2-1-1 [] 3-1-2-1-2 [] 3-1-2-2 [] 3-1-2-3 [] 3-1-2-4 []		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	調達機能要求番号	調達業務プロセス番号	備考	ステータス
257	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧順のソート機能ができること。 資料検索結果一覧順の優先順位設定可能な複合ソートができること。	①所蔵場所 ②請求記号	新規要件		両館	333	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
258	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧順の優先順位設定可能な複合ソートができること。		新規要件		両館	334	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
259	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧	どのキーワードで検索をおこなったかの表示が可能であること。	検索文字列の反転もしくはハイライト機能	新規要件		県立	335	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
260	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧	タイトルの長い資料でも資料検索結果一覧画面上で資料の区別が出来ること。		新規要件	必須	両館	336	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
261	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧	検索結果の一覧印刷の際、請求記号と自館所蔵場所が全部見えるように印刷されること。	現在は請求記号と所蔵場所を讀べななおして手書きで書き入れている。	新規要件	必須	県立	337			確定
262	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧をCSV出力ができること。		現状同等要件	必須	県立	338			確定
263	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧のGSV出力項目を任意で設定できること。		新規要件		県立	339			確定
264	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧	資料バーコードを読み取ることで雑誌データなどの情報を登録し、蓄積したデータを一括してGSV出力できること。 資料バーコードを読み取って蓄積した雑誌データの一覧を、複数のブックリスト型から構文を選択して印刷でき、かつ修正可能なデータとして保存できること。		新規要件	必須	県立	340			確定
265	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧	資料検索結果一覧画面にて、1操作で各雑誌の所蔵状況詳細を表示できること。		新規要件	必須	県立	341	2-16-1 [5]		確定
266	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧(各雑誌所蔵資料)	資料検索結果一覧画面にて、1操作で各雑誌の所蔵状況詳細を表示できること。	①「所蔵有」「所蔵無」「貸出中」などのステータスによる色分け表示 ②「貸出中」、「発注中」などの状況表示 ③資料の貸出日や最終返却日・処理窓口の表示	現状同等要件	必須	両館	342	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
267	新図書館業務	資料管理業務	雑誌情報	資料検索結果一覧(各雑誌所蔵資料)	各雑誌所蔵資料一覧画面にて、各雑誌の所蔵状況詳細を印刷できること。		現状同等要件	必須	両館	343	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	図書館番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
268	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料検索結果一覧(各書誌所蔵資料一覧)	各書誌所蔵資料一覧画面にて、各書誌の所蔵状況詳細の各項目を並べ替えること。	一覧画面は、バーコード読み込みを行った最新のもの、それまでの履歴あわせて最低10資料分が表示されること。それ以上は画面遷移・スクロールとなって可。	新規要件		両館	344	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
269	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料検索結果一覧(各書誌所蔵資料一覧)	新図書館(県立・市民本館)の資料で書庫に在架している資料については書庫出納依頼が1操作でかけられること。		新規要件	必須	両館	345	2-3-1-2 [1]		確定
270	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	書誌詳細画面	資料検索結果一覧から各書誌の詳細な情報を表示できること。(書誌詳細画面)		現状同等要件	必須	両館	346			確定
271	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	書誌詳細画面	書誌詳細画面は書誌情報表示部と所蔵情報表示部から構成されること。		現状同等要件	必須	両館	347			確定
272	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	書誌詳細画面	書誌情報表示部ではすべての書誌情報の表示(一般注記を含む)ができること。(画面スクロールは可とすること)	①簡易表示画面 ②全項目表示画面	現状同等要件	必須	両館	348			確定
273	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	書誌詳細画面	所蔵情報表示部で所蔵情報の表示ができること。	①資料コード(資料番号) ②請求記号 ③所蔵館・場所・状態・帯出区分 ④返却予定日 ⑤資料動態情報(最終状態変更日・最終貸出返却日・最終点検日、およびそれらの処理窓口等) ⑥所蔵注記の有無	変更要件	必須	両館	349			確定
274	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	書誌詳細画面	新図書館(県立・市民本館)の資料で書庫に在架している資料については書庫出納依頼が1操作でかけられること。		新規要件	必須	両館	350			確定
275	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	書誌詳細画面	所蔵一覧については、複数所蔵があった場合、任意の順番で表示されるようにすること。	初期状態は状態別館室順とし、単純館室順でのノートも可能であること。 「状態別館室順」は帯出区分「貸出可(禁帯等)」>「その他」の順に表示、「単純館室順」はその館室はトップに、その他館室は固定した館室順で表示する。	新規要件	必須	県立	351			確定
276	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料詳細	資料詳細画面の項目は説明として項目名+タグ名(各項目の見出し)を表示できること。		新規要件		県立	352			確定
277	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料詳細	雑誌の「注記」、図書の「累積注記」が資料詳細画面に表示されること。		新規要件		市民	353			確定
278	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料詳細	雑誌の番号が資料詳細画面に表示されること。		現状同等要件		市民	354			確定
279	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料詳細	雑誌の特集表記が資料詳細画面に表示されること。		新規要件		市民	355			確定
280	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料詳細	検索した資料の表紙画像が見られること。		新規要件		県立	356			確定
281	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメント(所蔵注記)を入力と修正、削除ができること。		現状同等要件	必須	両館	357	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
282	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントの入力件数は1資料当たり6件以上とする。		新規要件	必須	両館	358	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
283	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントの当日中の入力、修正回数には入力件数上限値以外の制限がないこと。		現状同等要件		両館	359	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
284	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントはそれぞれ表示期限を設定できること。		現状同等要件		両館	360	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プロセス番号	備考	ステータス
285	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントはそれぞれ入力・修正日時が自動的に入力されること。		新規要件		両館	361	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
286	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントはそれぞれ入力・修正者が自動的に入力されること。		新規要件		両館	362	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
287	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントに自動的に入力される入力・修正者の変更が可能なこと。		新規要件		両館	363	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
288	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントの定型文は職員が変更でき、全端末で共通に使えること。 資料コメントの1件当たりの入力文字数は200文字以上とする。		新規要件		両館	364	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
289	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント			新規要件	必須	両館	365	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
290	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントの公開・非公開が選択できること。		新規要件	必須	両館	366	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
291	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントを利用者に対して表示できること。 資料コメントについては全コメントを職員に対して、公開選択のみで表示できること。		新規要件	必須	両館	367	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
292	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント			新規要件	必須	両館	368	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
293	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントの入力日付による検索と一覧表示ができること。 資料コメントの入力日付による検索と一覧表示ができること。		新規要件		県立	369	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
294	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントの入力日付による検索と一覧表示からコメントの削除ができること。		新規要件		両館	370	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
295	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントの表示順を職員が入替えること。 資料コメントの表示順を更新日順に並び替えること。		新規要件		県立	371	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
296	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料コメント	資料コメントの表示順を更新日順に並び替えること。		新規要件		両館	372	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
297	新図書館業務	資料管理業務	外部書誌情報	横断的検索	横断的検索が図書館システムの1機能として組み込まれていること。	図書館パッケージと連携可能な別システムでの展開も可とする。	新規要件		県立	373	2-7-3-1 [1]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
298	新図書館業務	資料管理業務	外部書誌情報	横断的検索	横断的検索が別システムの場合は図書館システムと連携し、図書館システムの画面からシームレスに検索できること。	図書館システムの画面で入力した検索条件を横断的検索システムに再入力することなく、シームレスに検索できること。	新規要件	必須	両館	374	2-7-3-1 [1]		確定
299	新図書館業務	資料管理業務	外部書誌情報	横断的検索 (高字図書館との連携)	資料と高知市図書館資料の横断的検索を成立したインタフェースで提供できること。	検索結果が、新図書館以外に、サビエや高字図書館に資料があることが理解できる表示とすること。 (サビエや高字図書館との連携方法については別途調整)	新規要件	必須	市民	375	2-7-3-1 [1]		確定
300	新図書館業務	資料管理業務	外部書誌情報	横断的検索 (県内図書館)	検索での入力値や結果表示の情報を流用して、県内図書館の所蔵の横断的検索を行えること。(展開検索上同等)		新規要件		県立	376	2-7-3-1 [1]		確定
301	新図書館業務	資料管理業務	外部書誌情報	横断的検索 (県内図書館)	県内図書館の所蔵の横断的検索について、県内のWeb-OPACを有する全ての図書館に対して、リアルタイムでの横断的検索ができること。		変更要件	必須	県立	377	2-7-3-1 [1]		確定
302	新図書館業務	資料管理業務	外部書誌情報	横断的検索 (県内図書館)	県内図書館の所蔵の横断的検索について、県内のWeb-OPACのない図書館については、所蔵状況を取り込むことができ、システム内部でリアルタイムでの横断的検索とともに行えること。		新規要件		両館	378	2-7-3-1 [1]		確定
303	新図書館業務	資料管理業務	外部書誌情報	横断的検索 (他機関)	検索結果での入力値や結果表示の情報を流用して、NDLサーチやCINII Booksとの横断的検索が行えること。		新規要件	必須	県立	379			確定
304	新図書館業務	資料管理業務	外部書誌情報	横断的検索 (他機関)	検索結果での入力値や結果表示の情報を流用して、オンライン書店の出版情報と横断的検索が行えること。	以下の5書店を想定。 「Books.or.jp」、「紀伊國屋書店Bookweb」、「Amazon.co.jp」、「Amazon.com」、「HonyaClub.com」	新規要件	必須	県立	380			確定
305	新図書館業務	資料管理業務	外部書誌情報	横断的検索 (他機関)	インターネット書店・古書店等を横断キーワード検索して本を特定し、新図書館での所蔵の有無を表示できること。 書誌作成機能を持つこと。	インターネット書店・古書店を対象とした横断検索の結果から、新システムの所蔵検索がシームレスに行えること。	新規要件	必須	県立	381			確定
306	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録		①図書 ②雑誌 ③視聴覚資料 資料の種類に応じた書誌の登録機能	現状同等要件	必須	両館	382	3-1-2-1-1 [2]		確定
307	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	販書誌(MARC登録以外の手動で作成した書誌のうち、正式な書誌番号を付与する前の簡易的な書誌(発注時商用MARCなし、相互貸借資料利用時にMARC等の場合にとりあえず仮入力して利用))の作成ができること。 既存の書誌を複製して書誌の作成ができること。		現状同等要件	必須	両館	383	3-1-2-1-1 [2]		確定
308	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	図書館以外にWebサイト(データベース)を取り込むのではなくURLによるリンク)やデジタルデータ(テキストファイル、PDF、Word、Excelファイル等を登録できること。 電子書籍に対応できること。		現状同等要件	必須	県立	385	3-1-2-1-1 [2]		確定
309	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	図書館以外にWebサイト(データベース)を取り込むのではなくURLによるリンク)やデジタルデータ(テキストファイル、PDF、Word、Excelファイル等を登録できること。 電子書籍に対応できること。		新規要件		県立	386 466	3-1-2-1-1 [2]		確定
310	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	書誌の統合(付け替え)が容易にできること。	所蔵データも自動的に移行すること。 1件単位(目録補助)	現状同等要件	必須	県立	387			確定
311	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	書誌の付け替えを一括して行えること。(雑誌など)	所蔵データも自動的に移行すること。 1件単位(目録補助)	現状同等要件	必須	県立	388	3-1-2-2 [2] 3-1-2-3 [2]		確定
312	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	書誌の組替え(原料データの移動)と書誌データの統合は同一画面で行えること。	書誌割れ(同一の資料に対して複数の書誌がある状態)などで統合する必要が発生する。	新規要件	必須	県立	389	3-1-2-3 [2]		確定
313	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録			現状同等要件	必須	市民		3-1-2-2 [2]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要素番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
314	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	新たな書誌の登録時に、自動的にタイトルコードも採番されること。		現状同等要件	必須	市民	390	3-1-2-1-1 [2]		確定
315	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	目的やレベルに合わせた入力が行えること。	①必須入力項目のみの入力 ②タグ一覧画面での入力 ③その他の入力方法(書誌エディタからの登録)	現状同等要件	必須	県立	391	3-1-2-1-1 [2]		確定
316	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	書誌入力項目の追加/削除が任意で行えること。	追加した書誌項目を検索項目の対象とできること。	現状同等要件	必須	県立	392	3-1-2-1-1 [2]		確定
317	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	書誌フィールドの中に、市販MARCのフィールドとは別に、図書館独自で入力可能なフィールドがあること。		新規要件		県立	393	3-1-2-1-1 [2]		確定
318	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	書誌登録作業中に異種データの登録・修正・削除が行えること。	初出著者などについては、異種に自動登録するしくみがあること。	現状同等要件	必須	県立	394	3-1-2-1-1 [2]		確定
319	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	書誌はそれぞれ入力・修正日時が自動的に入力されること。		新規要件		両館	395	3-1-2-1-1 [2]		確定
320	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	書誌はそれぞれ入力・修正者が自動的に入力されること。		新規要件		両館	396	3-1-2-1-1 [2]		確定
321	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	書誌に自動的に入力される入力・修正者の変更が可能なこと。		新規要件		両館	397	3-1-2-1-2 [2]		確定
322	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	インデックスを自動作成すること。	インデックス: 導入するデータベースで使用するインデックスのことです。	変更要件	必須	県立	398	3-1-2-1-1 [2]		確定
323	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	インデックス切かけ対象項目を任意で設定できること。	その項目が関連するDBの列をインデックス作成対象列として任意に設定できること。	変更要件	必須	県立	399			確定
324	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	検索画面から、書誌登録画面への連動(流用)機能があること。	項目を指定し検索して得られたキーワードをそのまま、書誌登録画面に流用できること。	現状同等要件	必須	県立	400	3-1-2-1-1 [2]		確定
325	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	項目(タグ)登録による書誌登録ができること。		現状同等要件	必須	市民		3-1-2-1-1 [2]		確定
326	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	資料検索画面から展開し、その資料の流用受入、書誌データのコピーの方法により、書誌データを作成できること。		現状同等要件	必須	市民	632	3-1-2-1-1 [2]		確定
327	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	異種データを利用し入力ができること。		現状同等要件	必須	市民	634	3-1-2-1-1 [2]		確定
328	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	修正・削除後の異種データを書誌登録に利用できること。		現状同等要件	必須	市民	635			確定
329	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	一般注記に資料内容の特微的な事柄を記入し、その内容に含まれる語句により検索ができること。		現状同等要件	必須	市民	637	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
330	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	内容細目	内容細目の入力件数は1資料当たり500件以上できること。		現状同等要件	必須	県立	401	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
331	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	内容細目	内容細目の1件当たりの入力文字数は2000文字以上できること。		現状同等要件	必須	両館	402	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
332	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメント(一般注記)を入力できること。		現状同等要件	必須	県立	403	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定
333	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメントの入力件数は1資料当たり6件以上できること。		新規要件	必須	両館	404	3-1-2-1-1 [2] 3-1-2-1-2 [2]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要素番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
334	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメントはそれぞれ入力・修正日時が自動的に入力されること。		新規要件		両館	405	3-1-2-1-1[2] 3-1-2-1-2[2]		確定
335	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメントはそれぞれ入力・修正者が自動的に入力されること。		新規要件		両館	406	3-1-2-1-1[2] 3-1-2-1-2[2]		確定
336	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメントに自動的に入力される入力・修正者の変更が可能なこと。		新規要件		両館	407	3-1-2-1-2[2]		確定
337	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメントの定型文は職員が変更でき、全端末で共通に使えること。		新規要件		両館	408			確定
338	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメントの件当たりの入力文字数は200文字以上でできること。		新規要件	必須	両館	409	3-1-2-1-1[2] 3-1-2-1-2[2]		確定
339	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメントの公開・非公開が選択できること。		新規要件	必須	両館	410	3-1-2-1-1[2] 3-1-2-1-2[2]		確定
340	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメントを利用者に対して表示できること。	利用者への表示は、公開が選択されているコメントのみとする。	新規要件	必須	両館	411			確定
341	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌コメント(一般注記)	書誌コメントについては全コメントを職員に対して、公開選択のみで表示できること。		新規要件	必須	両館	412			確定
342	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録機能	和暦に対応していること。		新規要件		市民	413	3-1-2-1-1[2] 3-1-2-1-2[2]		確定
343	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録機能	多言語に対応していること。		新規要件		両館	414	3-1-2-1-1[2] 3-1-2-1-2[2]		確定
344	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録機能	漢字の旧字体・俗字、ハングル文字、アラビア文字、古字、略字、別字に対応していること。		変更要件		両館	415	3-1-2-1-1[2] 3-1-2-1-2[2]		確定
345	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録機能	使用した旧字体や外国語などを、画面上で正しく表示できること。		新規要件		両館	416	3-1-2-1-1[2] 3-1-2-1-2[2]		確定
346	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	MARC	TRC、日版、大版など各種の、現在国立国会図書館が提供するMARCに対応していること。		変更要件	必須	県立	417	3-1-1-1[1] 3-1-1-2[1]		確定
347	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	MARC	複数のMARCを併用して使用できること。		新規要件	必須	両館	418	3-1-1-1[1] 3-1-1-2[1]		確定
348	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	MARC	TRC(Tool)・日版など前項のMARCダウンロードシステムが利用可能であること。		変更要件	必須	両館	419	3-1-1-1[1] 3-1-1-2[1]		確定
349	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	MARC	人名典拠、内容細目などを各種典拠ファイルととりこめること。		変更要件	必須	県立	420	3-1-1-1[1] 3-1-1-2[1]		確定
350	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	MARC	MARCの取り込みを連続しておこなえること。	大量のMARCをエラーなく連続して取り込める機能。	新規要件	必須	県立	421	3-1-1-1[1] 3-1-1-2[1]		確定
351	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	MARC	外部CSV(TSV)データをMARCとしてとりこめること。		新規要件	必須	県立	422			確定
352	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	MARC	MARCデータをCSVデータとして出力できること。		新規要件	必須	両館	423			確定
353	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	資料(書誌・所蔵)レシート	資料(書誌・所蔵)レシート(利用者用)・所蔵レシート(職員用)を印刷できること。		現状同等要件	必須	県立	424			確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	調達機能 要求番号	調達業務 フロー番号	備考	ステータス
354	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	資料(書誌・所蔵)レシー	所蔵レシーの出力が画面遷移なくできること。	資料検索結果一覧(各書誌所蔵資料一覧)画面や、書誌詳細画面から操作で印刷できること。	新規要件	必須	県立	425			確定
355	新図書館業務	資料管理業務	書誌修正	書誌修正	書誌項目(可変)の追加、削除、複写、流用追加、補入、流用挿入、修正ができること。		現状同等要件	必須	市民	426	3-1-2-2 [2] 3-1-2-3 [2]		確定
356	新図書館業務	資料管理業務	書誌修正	書誌修正	内容登録の領域が十分(項目330,331を満たす程度)に確保されていること。		変更要件	必須	市民	427	3-1-2-2 [2] 3-1-2-3 [2]		確定
357	新図書館業務	資料管理業務	書誌修正	書誌修正	典拠参照機能を実装していること。		現状同等要件	必須	市民	428	3-1-2-2 [2] 3-1-2-3 [2]		確定
358	新図書館業務	資料管理業務	書誌修正	書誌修正	典拠データの登録・修正・削除が行えること。		現状同等要件	必須	両館	429	3-1-2-2 [2] 3-1-2-3 [2]		確定
359	新図書館業務	資料管理業務	書誌修正	書誌修正	書誌修正画面から書誌検索と資料検索の相互に画面展開できること。		現状同等要件	必須	市民	430	3-1-2-2 [2] 3-1-2-3 [2]		確定
360	新図書館業務	資料管理業務	書誌削除	書誌削除	不要な書誌の削除ができること。	所蔵データが存在する場合は削除できないこと。	現状同等要件	必須	市民	431	3-1-2-4 [2] 3-1-2-4 [3]		確定
361	新図書館業務	資料管理業務	総合	総合	資料収書の流れが実現できること。	資料収書の流れ ①MARCO登録 ②選書(見計らい) ③発注 ④送付・検収 ⑤登録	新規要件	必須	両館	432			確定
362	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	予算管理ができること。	予算管理は会計の違いから、運用の完全な統一は想定していない。但し、図書館システムが関連する部分については「運用」は統一する。	現状同等要件	必須	県立	433	3-4-[1]		確定
363	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	年度ごとに予算区分の設定ができること。		変更要件	必須	県立	434	3-4-[1]		確定
364	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	個々の資料の予算区分の設定については任意で指定できること。		現状同等要件	必須	県立	435	3-4-[1]		確定
365	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	発注組織ごとに予算管理ができるようにすること。	県立と市民と予算区分が別で別々に支払うことになるので、それぞれに予算管理がおこなえること。	変更要件	必須	県立	436	3-4-[1]		確定
366	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	発注組織職員以外の予算管理画面へはアクセス制限がかけられること。		新規要件	必須	県立	437	3-4-[1]		確定
367	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	資料の類ごとの予算管理が可能であること。	対象の類の範囲設定は任意にできること。 資料選択委員の担当ごと(類で判別できる)の予算執行額の統計をしたい。	変更要件	必須	県立	438	3-4-[1]		確定
368	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	個々の発注組織の別に、予算管理ができること。 【発注組織】とは県・市、【発注組織の個別】とは、本館・分館・分室・県BM、市BMをさします。	現在、県は、本館と分館BMで別立ての予算管理を行っている。	変更要件	必須	県立	439	3-4-[1]		確定
369	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	消費税の管理ができること。	消費税の自動加算機能	現状同等要件	必須	県立	440	3-4-[1]		確定
370	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	消費税率の変更が可能なこと。	変更日を事前に設定できることが望ましい。	現状同等要件	必須	両館	441			確定
371	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	発注中金額はMARCOの価格情報元に管理できること。		現状同等要件	必須	両館	442	3-4-[1]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プロセス	備考	ステータス
372	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算	受入時にMARCの価格情報と発行人種別に差異がある場合、MARCを修正せず価格を訂正し反映できるとし、冊数の合計を表示すること。	金額だけでなく、冊数も合計してほしい。	新規要件	必須	県立	443	3-4-1[1]		確定
373	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	予算			新規要件		県立	444	3-4-3 [1] 3-4-3 [2] 3-4-4 [1] 3-4-4 [2]		確定
374	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	選書	システム上での選書処理が可能であること。	システム上での、新着MARCデータを使用している選書子エック機能、およびその抽出機能。	変更要件	必須	県立	445			確定
375	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	選書	投票制による選書ができること。	資料選択委員の担当ごとに参加人数を設定できること。	新規要件	必須	県立	446			確定
376	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	選書	インターネットからの投票制による購入リクエストができること。	IDとPWで利用者を限定した利用者による選書機能。	新規要件		県立	447			確定
377	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	選書	選書決定は選取肢の中から選択できること。	【選書決定の選択肢】 ・直接発注 ・現物見計らい依頼 ・投票	新規要件	必須	県立	448			確定
378	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	選書	選書データを作成できること。	県市ともに両館一括の選書データも、別々の選書データも作成できること。 市町村別の選書データから県と市が個々に注文入力する際、注文以降は県市それぞれに発注・予算・受入管理ができること。	現状同等要件	必須	県立	449			確定
379	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	選書	選書データから、選書一覧表を作成し、表示、印刷できること。	県市ともに両館一括の選書データも、別々の選書データも作成できること。	現状同等要件	必須	県立	450			確定
380	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	選書	選書一覧表をCSV出力できること。		現状同等要件	必須	両館	451			確定
381	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	選書	選書中のデータを検索できること。		新規要件	必須	県立	452			確定
382	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	選書	選書中のデータのうち不要なものは一括して削除できること。		新規要件	必須	両館	453			確定
383	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注	発注がシステム上で管理できること。		現状同等要件	必須	県立	454	3-2-1-2-1 [1] ~ 3-2-1-3-2 [1]		確定
384	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注	県立図書館発注資料と高知市民図書館発注資料を、画面上で分けするなどして明確に区別できること。	資料一覧画面においても同様であること。	新規要件		市民	455			確定
385	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注	MARCを利用して発注データ作成・注文が可能であること。		現状同等要件	必須	両館	456			確定
386	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注	資料1冊ごとに発注履歴や請求記号、注文内容等の指定・修正ができること。		現状同等要件	必須	両館	457			確定
387	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注	オンライン発注ができること。	TRGのTOOLや、日版図書館サピスの本やダウン図書館便を通じた発注データの作成・送信ができること。	新規要件	必須	県立	458,466	3-2-1-2-1 [1]		確定
388	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注	地元書店組合との連携ができること。	高知県書店商業組合への発注データおよび納品データのやりとりをインターネット経由で行えること。	新規要件	必須	県立	459	3-2-1-2-3 [1]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	図書館機能 要求番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
389	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注	番誌検索画面からの発注ができること。		現状同等要件	必須	市民	460	3-1-2-1-1 [1] 3-1-2-1-2 [1] 3-1-2-2 [1] 3-1-2-3 [1] 3-1-2-4 [1]		確定
390	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	発注組織別に注文先を指定した発注データの作成ができること。		変更要件	必須	市民	461	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
391	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	発注組織別に発注データに含まれる項目(発注先や発注種、資料種別、購入事由、予算管理など注文時入力項目全体)の初期設定を変更することができること。		変更要件	必須	両館	462			確定
392	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	発注データをCSV形式で出力できること。		現状同等要件	必須	両館	463,463			確定
393	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	発注データを編集可能なエクセル形式で作成できること。		新規要件	必須	両館	464,464			確定
394	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	システムから直接発注データをメール送信できること。		新規要件		両館	465			確定
395	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	予算区分や統計区分など各種項目について、直前直前の入力情報を引き継げること。	選択の必要のない項目について、条件を固定できること。	新規要件		県立	467	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
396	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	図書館の発注時に各種金額の集計が行えること。	①発注金額、受入金額、未収金額等の当年度集計結果の表示 ②割引率の修正	新規要件	必須	県立	468	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
397	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	書店ごとに値引率を設定できること。		新規要件	必須	両館	469	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
398	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	所蔵有無の検索をISBNだけでなく、書名等(「書名」「著者」「責任表示」「業名」)からも、発注データの入力画面から1操作で検索ができること。	①著本はISBNがない場合が多いため、現在では所蔵があっても出てこない、書名で再度検索しなければならぬ。現在書名検索は別画面なので、簡単な操作で再検索する方法を希望する。	新規要件		県立	470			確定
399	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	注文画面から番誌詳細画面への遷移が可能であること。	予約状況の確認ができること。	現状同等要件	必須	市民	471	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
400	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	発注データにコメントが入力できること。		変更要件	必須	県立	472	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	資料概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プロセス	備考	ステータス
401	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	発注データのコメントを場合により受入後も書込コメント又は所蔵コメントに移行できること。		新規要件		両館	473	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
402	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	注文時の資料種別と書誌種別については同一にできること。	注文時、書誌種別の区分を設定した時点で、資料種別にも同じ値が入る(初期表示される)こと。	新規要件	必須	市民	474	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
403	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	著者名カナ・個人件名カナを発注入力画面に表示すること。		新規要件	必須	県立	475	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
404	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	市民図書館の全館壘分の注文を一括でできること。		現状同等要件	必須	市民	476	3-2-1-2-2 [1]		確定
405	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	発注データの入力項目を任意で表示・非表示でできること。		現状同等要件	必須	県立	477	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
406	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	発注データの入力項目には、今後の必要項目の追加に備えて、予備の項目(項目名は変更可能なこと。)を備えること。	項目数としては3項目程度、項目名は全角10文字程度、項目内容としては1項目は全角100文字程度、他2項目は10文字×100件の選択値ができること。	新規要件		両館	478	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
407	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	資料(冊)ごとに受入事由などを入力できること。	【受入事由】 購入「見積らい」リクエストの選択肢に加え、寄贈資料等に關しては寄贈理由の記入のため自由文を入力できること。	新規要件	必須	県立	479	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
408	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注データ	二重発注などの理由で取り消した発注データを、任意で検索、抽出し、削除できること。		新規要件		県立	480			確定
409	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注手続	発注データを任意で抽出し、一括で発注状態に変更できること。		新規要件	必須	県立	481			確定
410	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注手続	発注処理の前に、発注を再度確認するメッセージが表示されること。	誤って発注することを防止するための発注確認用のポップアップメッセージ。	新規要件	必須	県立	482	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
411	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注一覧表	発注一覧表のCSVの出力項目を任意で設定できること。		新規要件		県立	485	3-2-1-4-6(県) [1]		確定
412	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	発注一覧表	ISBN13桁の資料のISBNは13桁で表示できること。		新規要件	必須	県立	486	3-2-1-4-6(県) [1]		確定
413	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	受入	所蔵(ローカル)データの登録ができること。		現状同等要件	必須	県立	487	3-2-1-1-2 [1] 3-2-1-4-1 [1]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プロシ番号	備考	ステータス
414	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	受入	所蔵データの入力項目の表示・非表示を任意で設定できること。		新規要件	必須	県立	488	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
415	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	受入	所蔵データの入力項目には、今後の必要項目の追加に備えて、予備の項目(項目名は変更可能など。)を備えること。		新規要件		両館	489	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
416	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	受入	受入時に所蔵データを登録できること。	発注データからの流用や貼付も可能であること。	現状同等要件	必須	県立	490	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
417	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	受入	所蔵データの一括受入ができること。	発注データ外に上書きされること。(発注注記は残すこと)また、発注データのないものも含め受入できること。	現状同等要件	必須	両館	491	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
418	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	受入	資料の受入時に金額の集計が行えること。	①発注金額、受入金額、未収金額等の集計 ②割引率の修正 ③受入金額の修正	新規要件	必須	両館	492	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
419	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	受入	注文資料と購物見積りによる購入資料ともに受入ができること。		現状同等要件	必須	市民	493	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
420	新図書館業務	資料管理業務	収書管理	検収	資料コード読み取りにより、受入が終了した資料の検収ができること。		現状同等要件	必須	両館	494			確定
421	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	所蔵資料のステータス状態表示を任意で設定できること。	利用可・未検収などの状態設定機能	現状同等要件	必須	県立	495	3-2-1-7 [1] 3-2-1-7 [2]		確定
422	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	所蔵館室と資料番号の上2桁の対応を設定でき、登録時に設定と一致しない組み合わせの場合警告を出すことができること。		新規要件		市民	496			確定
423	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	資料管理担当にて資料購入の検取時に、予約がかかっている資料の検取ができること。	検取後下記のことができること。 ①メッセージの表示 ②レシートの出力	新規要件	必須	市民	497			確定
424	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	所蔵登録入力画面での各項目の値は直前の入力情報を引き継げること。		変更要件	必須	県立	498	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
425	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	同一筆法に種本を受け入れる場合、すでにある所蔵資料の登録情報を流用できること。		新規要件	必須	市民	499			確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
426	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	発注先に申請を指定したら、自動的に受入区分なども自動的に変更できること。		新規要件		県立	500	3-2-1-4-5 [2]		確定
427	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	所蔵登録時、受入区分で書籍を選択した場合、金額欄に0円以外が入力されていたら、エラーメッセージを表示 一般読者受入画面で「所蔵館」が決まれば固定された「受け入れ先」が自動的に選択されること。また、固定内容と異なる内容で登録しようとした場合に警告を表示すること。	所蔵館を選択した時点で「受入区分」「受け入れ先」を初期表示させること。また、初期表示された項目を変更して登録する場合は、一般読者受け入れ登録時点で警告を表示させる。(別途、所蔵館と受入区分、受け入れ先の関連付けの設定ができること。)	新規要件		両館	501	3-2-1-4-5 [2]		確定
428	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録			新規要件	必須	市民	502	3-2-1-5-1 [1] 3-2-1-5-2 [3]		確定
429	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	全館全ての個々の資料の登録および内容変更ができること。	①所蔵館 ②資料番号 ③請求記号 ④場所区分 ⑤状態区分 ⑥利用制限属性 ⑦その他	現状同等要件	必須	両館	503	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
430	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	全館全ての個々の資料の登録は一括、個別どちらでも処理ができること。		現状同等要件	必須	両館	504	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
431	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	個別別資料登録画面で所蔵コメントを入力できること。		現状同等要件	必須	県立	505	3-2-1-4-2 [2] 3-2-1-4-3 [3] 3-2-1-4-4 [3] 3-2-1-4-5 [2] 3-2-1-5-2 [3]		確定
432	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	別冊誌への所蔵登録資料の移行ができること。		現状同等要件	必須	市民	506			確定
433	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	特定の資料を一定期間のみ別置することができること。また、この場合、該当期間の長さや貸出期間等を自由に設定できること。		現状同等要件	必須	市民	640			確定
434	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	請求記号は別置、NDC分類、著者記号、巻冊記号に分けて登録が可能であること。		現状同等要件	必須	市民	641			確定
435	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	複数資料に親番号を設定し、窓口業務では1つの資料として取り扱ってできること。	親番号:「資料名」 子番号:「ディスク①」 子番号:「ディスク②」 子番号:「解説書」	現状同等要件	必須	市民	642			確定
436	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	個別資料登録	複数資料を分冊して、個々資料として分割することができること。		現状同等要件	必須	市民	643			確定
437	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	雑誌書誌(雑誌タイトル書誌)の登録ができること。		現状同等要件	必須	市民	507	3-2-1-5-2 [3]		確定
438	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	雑誌書誌の登録項目の一つとして刊行頻度の設定ができること。		新規要件		両館	508	3-2-1-5-2 [3]		確定
439	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	雑誌書誌の登録項目の一つとして休廃刊状態の設定ができること。		現状同等要件	必須	両館	509	3-2-1-5-2 [3]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要素番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
440	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	雑誌登録の下欄雑誌として、巻号雑誌の登録ができること。		現状同等要件	必須	両館	510	3-2-1-5-2 [3]		確定
441	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	巻号雑誌の登録項目の一つとして雑誌内容の登録(巻号別内容細目)ができること。		現状同等要件	必須	両館	511	3-2-1-5-2 [3]		確定
442	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	他の巻号雑誌の登録情報を流用(複写)登録できること。		現状同等要件	必須	県立	512	3-2-1-5-2 [2]		確定
443	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	それぞれ雑誌ごとに保存年限を設定できること。		現状同等要件	必須	両館	513	3-2-1-5-2 [3]		確定
444	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	最新号を自動的に継続出版状態にできること。		現状同等要件	必須	県立	514	3-2-1-5-2 [3]		確定
445	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	自動的に継続出版状態が解除できること。	①次号が発行され貸出可能になった雑誌 ②隔月雑誌以上の発行頻度の雑誌において受入後1カ月 ③休隔刊となった雑誌	新規要件	必須	両館	515	3-2-1-5-2 [3]		確定
446	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	雑誌登録においても雑誌コメントの入力ができること。		現状同等要件	必須	両館	516	3-2-1-5-2 [3]		確定
447	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	雑誌所蔵においても、資料コメントの入力ができること。		現状同等要件	必須	両館	517	3-2-1-5-2 [3]		確定
448	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	巻号に関する備考の入力ができること。		現状同等要件	必須	両館	518	3-2-1-5-2 [3]		確定
449	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	雑誌内容の登録(巻号別内容細目)においては、長い論文名すべてを登録できること。		新規要件	必須	県立	519	3-2-1-5-2 [3]		確定
450	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	雑誌登録	雑誌内容をインデックスとして自動切り出し、検索キーワードとして使用できること。		新規要件	必須	県立	520	3-2-1-5-2 [3]		確定
451	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	登録修正	資料登録内容の単項目に対する一括修正がおこなえること。		現状同等要件	必須	市民	521	3-2-1-8-3 [2] 3-2-1-8-3 [3]		確定
452	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	登録修正	資料状態変更が一括しておこなえること。		現状同等要件	必須	両館	522	3-2-1-8-3 [2] 3-2-1-8-3 [3]		確定
453	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	登録修正	資料修正日を操作・設定できること。		現状同等要件	必須	市民	523	3-2-1-8-1 [2]		確定
454	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	登録修正	資料状態変更の画面で画面クリアを行った際に、状態区分はそのまま保持されること。		新規要件	必須	市民	524	3-2-1-8-1 [2]		確定
455	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料除籍	資料の除籍機能(データ上における除籍)を真意で行うこと。 除籍作業時、未返却資料の返却処理の実施可否を選択できること。 除籍対象資料が一覧で表示できること。 長期未返却資料の表示の表示の場合、予約のかかっている資料のみをファンクションで抽出できること。 (ファンクションで抽出できないようなら、一度ステータス変更を行うことにより抽出できること。)		現状同等要件	必須	両館	525	3-2-1-9-1 [3] 3-2-1-9-2 [4] 3-2-1-9-3 [4] 3-2-1-9-4 [3]		確定
456	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料除籍	個々の資料を手動で除籍することができること。		現状同等要件	必須	両館	526	3-2-1-9-1 [3] 3-2-1-9-2 [4] 3-2-1-9-3 [4] 3-2-1-9-4 [3]		確定
457	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料除籍	受入後の年数が設定値未満(想定は受入後7年未満)の資料を除籍しようとする時、その旨を画面上に表示すること。	ポップアップで無いこと。	新規要件	必須	市民	527	3-2-1-9-1 [3] 3-2-1-9-2 [4] 3-2-1-9-3 [4] 3-2-1-9-4 [3]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
458	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料除籍	唯一の所蔵資料(所蔵が1冊しかない資料)や予約の資料を除籍処理する際に、その旨を画面上に表示できること。	ポップアップで無いこと。 別述予約あり資料や最後の1冊資料の抽出ができること。	新規要件	必須	両館	528	3-2-1-9-1 [3] 3-2-1-9-2 [4] 3-2-1-9-3 [4] 3-2-1-9-4 [3]		確定
459	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料除籍	除籍作業の際、同じ資料番号については、続けて読み込まないこと。	続けて読み込まないとは、同じ本を読み込んだ場合、画面に表示されないこと。エラー表示は必要なし。 (抜かりを防止するため、画面上に表示された冊数が実際には読み込んだ数と同じになるようにしたいため。)	新規要件	必須	市民	529	3-2-1-9-1 [3] 3-2-1-9-2 [4] 3-2-1-9-3 [4] 3-2-1-9-4 [3]		確定
460	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料除籍	蔵書点検時の不明回数判断値を設定することにより、判断値以上の不明資料一括除籍ができること。	蔵書点検時の不明回数判断値を設定することにより、判断値以上の不明資料一括除籍ができること。	現状同等要件	必須	両館	530	3-2-1-9-1 [3] 3-2-1-9-2 [4] 3-2-1-9-3 [4] 3-2-1-9-4 [3]		確定
461	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料除籍	除籍・廃棄理由項目の入力ができること。	除籍・廃棄理由項目の入力ができること。	現状同等要件	必須	両館	531	3-2-1-9-1 [3] 3-2-1-9-2 [4] 3-2-1-9-3 [4] 3-2-1-9-4 [3]		確定
462	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料除籍	雑誌・所蔵データを完全に削除(復活不能)できること。	雑誌・所蔵データを完全に削除(復活不能)できること。	現状同等要件	必須	市民	532	3-2-1-9-1 [3] 3-2-1-9-2 [4] 3-2-1-9-3 [4] 3-2-1-9-4 [3]		確定
463	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料リスト	蔵書データの全ての項目を対象とし、資料リストを作成できること。	蔵書データの全ての項目を対象とし、資料リストを作成できること。	現状同等要件	必須	市民	644			確定
464	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料リスト	館別、購入先別の資料リストを作成できること。	館別、購入先別の資料リストを作成できること。	現状同等要件	必須	市民	645			確定
465	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料リスト	受入作業が完了して一定期間(自由)に設定可能とする。内の在庫資料は、新刊としてリスト表示ができる。	受入作業が完了して一定期間(自由)に設定可能とする。内の在庫資料は、新刊としてリスト表示ができる。資料区分・資料種別単位での設定ができること。	現状同等要件	必須	市民	646			確定
466	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	資料リスト	上記のリスト内容は、CSV形式・テキスト形式で出力できること。	上記のリスト内容は、CSV形式・テキスト形式で出力できること。	現状同等要件	必須	市民	647			確定
467	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	バーコード登録	資料番号の付け替え(バーコードの取り替え)に対応していること。	資料番号の付け替え(バーコードの取り替え)に対応していること。	現状同等要件	必須	県立	533	3-2-1-8-4 [1]		確定
468	新図書館業務	資料管理業務	資料登録	HTTP対応	HTTPに蓄積されたデータによる、システム上の処理やデータの一括変更がおこなえること。	①貸出・返却処理 ②場所区分等、所蔵項目の一括変更	現状同等要件	必須	県立	534			確定
469	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	蔵書点検機能を持つこと。	蔵書点検機能を持つこと。	現状同等要件	必須	両館	535	3-2-2 [1] 3-2-2 [6]		確定
470	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	蔵書点検はタグでもバーコードでもできること。	蔵書点検はタグでもバーコードでもできること。	変更要件	必須	両館	536	3-2-2 [1] 3-2-2 [6]		確定
471	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	所蔵室・所蔵場所や資料区分によって、蔵書点検範囲を任意に設定できること。	所蔵室・所蔵場所や資料区分によって、蔵書点検範囲を任意に設定できること。	現状同等要件	必須	両館	538	3-2-2 [1] 3-2-2 [6]		確定
472	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	閉館中でも部分的な蔵書点検が行えること。	蔵書点検期間短縮の提案をすること。	現状同等要件	必須	県立	539	3-2-2 [1] 3-2-2 [6]		確定
473	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	点検履歴(不明回数、日時)を残せること。	点検履歴(不明回数、日時)を残せること。	現状同等要件	必須	県立	540	3-2-2 [2]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
474	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	点検により発見された資料のステータスを自動で利用可能状態に変更できること。 蔵書点検結果を目的に応じて表示、印刷、CSV出力できること。		現状同等要件	必須	両館	541	3-2-2 [3] 3-2-2 [5]		確定
475	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	蔵書点検データ適用は、ハンディターミナルにより蓄積した蔵書点検データをバッチ更新してできること。 蔵書点検データ適用は、業務用PCによるリアルタイム更新によりできること。 蔵書点検データ適用は、バッチ更新、リアルタイム更新、ともに併用できること。 一定期間以上未返却の場合、または返却予定日の範囲内確定により。		現状同等要件	必須	両館	542	3-2-2 [4] 3-2-2 [6]		確定
476	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	蔵書点検結果の印刷には資料バーコードが出力できること。		新規要件		両館	543			確定
477	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	蔵書点検データ適用は、ハンディターミナルにより蓄積した蔵書点検データをバッチ更新してできること。		現状同等要件	必須	県立	544			確定
478	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	蔵書点検データ適用は、業務用PCによるリアルタイム更新によりできること。		現状同等要件		県立	545			確定
479	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	蔵書点検データ適用は、バッチ更新、リアルタイム更新、ともに併用できること。 督促処理ができること。		新規要件		両館	546			確定
480	新図書館業務	資料管理業務	督促処理	督促通知	督促処理ができること。		現状同等要件	必須	両館	547	2-8-1 [1] 2-8-4 [5]		確定
481	新図書館業務	資料管理業務	督促処理	督促通知	督促状況の印刷ができること。		現状同等要件	必須	両館	548	2-8-3 [7] 2-8-4 [4]		確定
482	新図書館業務	資料管理業務	督促処理	督促通知	督促メールの送信ができること。		現状同等要件	必須	両館	549			確定
483	新図書館業務	資料管理業務	督促処理	督促通知	督促メールの不着状況の確認ができること。		新規要件		両館	550			確定
484	新図書館業務	資料管理業務	督促処理	督促通知	督促回数や延滞期間などに応じ、「長期延滞」処理を自動で行えること。 返却予定日の範囲指定など任意の期間指定により、延滞の一覧を抽出できること。表示・印刷・CSVの形式で出力できること。		現状同等要件	必須	両館	551			確定
485	新図書館業務	資料管理業務	督促処理	督促通知	督促回数や延滞期間などに応じ、「長期延滞」処理を自動で行えること。 返却予定日の範囲指定など任意の期間指定により、延滞の一覧を抽出できること。表示・印刷・CSVの形式で出力できること。		新規要件	必須	両館	552	2-8-4 [1]		確定
486	新図書館業務	資料管理業務	督促処理	督促通知	資料の紛失・弁償 資料の紛失・弁償 資料の紛失・弁償 他の図書館等からの相互貸借資料を取扱うことができること。		変更要件	必須	両館	553	2-8-3 [7] 2-8-4 [4]		確定
487	新図書館業務	資料管理業務	弁償処理	相互貸借	資料の紛失・弁償 資料の紛失・弁償 資料の紛失・弁償 他の図書館等からの相互貸借資料を取扱うことができること。		新規要件		県立	554			確定
488	新図書館業務	資料管理業務	弁償処理	相互貸借	資料の紛失・弁償 資料の紛失・弁償 資料の紛失・弁償 他の図書館等からの相互貸借資料を取扱うことができること。		新規要件		県立	555			確定
489	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借	他の図書館等からの相互貸借資料を取扱うことができること。		現状同等要件	必須	市民	556	2-7-3-1 [2] 2-7-3-1 [3]		確定
490	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借	相互貸借状況の一覧表示・印刷ができること。 貸借館の登録が容易であること。		現状同等要件		両館	557			確定
491	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借	貸借館の登録が容易であること。		新規要件	必須	県立	558			確定
492	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借 貸出	貸出期間、返却日などを任意で変更できること。		現状同等要件	必須	県立	559			確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	備考	ステータス
493	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 貸出	館種ごとに貸出冊数の上限を設定できること。	館種「各公共図書館/各大学付属図書館/国会図書館」/各団体レベルの種別	現状同等要件	必須	県立	560		確定
494	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 貸出	館ごとに貸出冊数の上限を設定できること。	館、それぞれ種別の館	新規要件		阿館	561		確定
495	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 貸出	借受館にまとめて資料を貸出できること。	ウェブ資料の一括貸出機能	現状同等要件	必須	県立	562		確定
496	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 借受	借受資料の書誌登録ができること。		現状同等要件	必須	県立	563		確定
497	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 借受	借受資料の書誌登録にMARCを利用できること。		新規要件	必須	県立	564		確定
498	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 借受	借受資料の所蔵登録ができること。		現状同等要件	必須	県立	565		確定
499	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 借受	借受館ごとに借受冊数の上限を設定できること。		新規要件	必須	阿館	566		確定
500	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 借受	借受館ごとに借受冊数の確認が可能であること。	分館・分室が独自に相互貸借をおこなった場合、それぞれ の館室でどこから何点資料を借りているかを表示すること ができること。	現状同等要件	必須	阿館	567		確定
501	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 借受	登録した借受資料の書誌データ・所蔵データを、登録した同じ画面で削除できること。		新規要件	必須	県立	568		確定
502	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 借受	他館から借りている相互貸借資料が返却され、資料番号が入力されたら、返却画面上で表示できること。		新規要件	必須	県立	569		確定
503	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 借受	他館借受資料が返却された場合は、回送シートを出力できること。		現状同等要件	必須	県立	570		確定
504	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 覧	相互貸借の処理状況が画面上で確認できること。	①貸出資料(受付中・発送中・返却済など) ②借受資料(受付中・依頼中・貸出中・返送済など)	新規要件	必須	県立	571		確定
505	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 覧	他館へ貸出をおこなった場合に、貸出一覧表を表示、印刷、CSV出力できること。		現状同等要件	必須	県立	572		確定
506	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借一 覧	貸借中資料の一覧を作成し、表示、印刷、CSV出力できること。	出力項目を任意で設定できること。	現状同等要件	必須	県立	573		確定
507	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借統計	他館に貸出したときの貸出館ごとの相互貸借統計をとれること。	館種別の小計値も算出されること。	現状同等要件	必須	県立	574		確定
508	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借統計	他館から借受けしたときの借受館ごとの相互貸借統計をとれること。	館種別の小計値も算出されること。 (貸出と借受の統計比較上、館種別の統計も必要であるため。)	現状同等要件	必須	県立	575		確定
509	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借その他	貸出通知書や返却通知書の帳票を印刷ができること。		新規要件		県立	577		確定
510	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借その他	県内市町村図書館を対象とした広域ILLシステムを構築できること。	検索履歴を行った結果の資料を持つ各図書館に対して、ILLシステムを通して優先順位をつけて申し込みをすると、自動的に優先順位1位の図書館にメールが送付され、設定時間後もその図書館からシステム上で回答がない場合は、4位の優先順位の図書館にメールが送付でき、システム上で相互貸借状態を確認できること。	新規要件		県立	578		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
511	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携目録データ提供	国立国会図書館へ目録データを提供できること。	相互貸借可能な資料の書籍・所蔵館室・増設区分・ステータスなどを提供できること。	現状同等要件	必須	県立	579			確定
512	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携目録データ抽出	国立国会図書館への提供目録データの抽出対象を任意で設定できること。		現状同等要件	必須	県立	580			確定
513	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携目録データ抽出	国立国会図書館への提供目録データの抽出は自動で行うこと。	開館時間外に行うこと。	現状同等要件	必須	県立	581			確定
514	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携目録データ抽出	抽出したデータをIDC・NDL(RDF)フォーマットに自動変換できること。		新規要件	必須	県立	582			確定
515	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携目録データ抽出	抽出し、変換したデータはOAI-PMHプロトコルにより自動的に国立国会図書館が収集できること。		新規要件	必須	両館	583			確定
516	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携目録データ提供	国立国会図書館へレファレンスデータを提供できること。		新規要件	必須	両館	584	2-2-2 [4]		確定
517	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携レファレンスデータ抽出	国立国会図書館への提供レファレンスデータの抽出対象を任意で設定できること。	NDLへ送信対象となる抽出種類の選択(送信対象となるNDCの種類を設定する等)を設定できること。	新規要件	必須	両館	585			確定
518	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携レファレンスデータ抽出	国立国会図書館への提供レファレンスデータの抽出は自動で行うこと。	項番517で設定した抽出条件に当てはまるレファレンスデータを自動抽出(送信対象としたNDCの種類で登録しているレファレンスデータ)ができること。	新規要件	必須	両館	586			確定
519	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携レファレンスデータ抽出	抽出されるレファレンスデータは「レファレンス協同データベース標準フォーマット」のうち「レファレンス事例データ・フォーマット(システム開発者用)」に従い抽出できること。		新規要件	必須	両館	587			確定
520	新図書館業務	その他の業務	NDL連携	NDL連携レファレンスデータ抽出	抽出したデータを自動的に国立国会図書館に送信できること。	項番518で抽出したレファレンスデータ一式を、自動でNDLに送付すること。	新規要件	必須	高館	588	2-2-2 [5]		確定
521	新図書館業務	その他の業務	ローカル処理	ローカル処理	サーバとオフラインになった場合に、端末単体で貸出・返却の処理ができること。	サーバとの通信回復後にサーバ上にデータを送信し、処理を完了できること。	現状同等要件	必須	高館	589			確定
522	新図書館業務	その他の業務	レファレンス処理	レファレンスデータベース	レファレンスの記録を保存し、データベースとして構築できること。	レファレンスの受付・回答内容を記録し、件名等(国立国会図書館のレファレンス協同データベース標準フォーマットに準拠した項目)を付して検索、閲覧することが可能であること。	現状同等要件	必須	市民	590	2-2-1 [1] 2-2-1 [2] 2-2-2 [1]		確定
523	新図書館業務	その他の業務	レファレンス処理	レファレンスデータベース	レファレンスの記録の入力項目は「レファレンス協同データベース標準フォーマット」のうち「レファレンス事例データ・フォーマット(システム開発者用)」に従ったものとする。		新規要件	必須	高館	591	2-2-1 [1] 2-2-1 [2] 2-2-2 [1]		確定
524	新図書館業務	その他の業務	レファレンス処理	レファレンスデータベース	レファレンスが回答完了となるまでは、そのレファレンス質問者の利用者情報と紐づけることができること。		新規要件	必須	高館	592	2-2-1 [1] 2-2-1 [2] 2-2-2 [1]		確定
525	新図書館業務	その他の業務	レファレンス処理	レファレンスデータベース	レファレンスデータの統計データが取得できること。	一般資料・風土資料など、資料の区分をことのレファレンス管理ができること。	新規要件	必須	県立	593	2-2-2 [2]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
526	新図書館業務	その他の業務	レファレンス 処理	レファレンス データベース	システム内の書誌情報とレファレンスデータベースの参 考資料(使用資料)を相互に活用できること。	①システム内の書誌情報を利用して、参考資料(使用資 料)を容易に登録。(レファレンス作成画面上で、書誌情報 を元に書誌名を取得・選択できること。) ②レファレンスデータベース内の参考資料(使用資料)から、シス テム内の書誌情報を容易に参照。(作成したレファレンス画 面内の参考資料として設定している書誌名を選択すると、 書誌情報が閲覧できること。)	新規要件	必須	県立	594			確定
527	新図書館業務	その他の業務	レファレンス 処理	レファレンス データベース	レファレンスデータの検索ができること。	①項目キーワード検索 ②全文検索 ③使用資料の検索	現状同等要件	必須	県立	595			確定
528	新図書館業務	その他の業務	レファレンス 処理	レファレンス データベース	レファレンスデータの検索結果を表示、印刷、CSV出 力できること。	出力項目を任意で設定できること。	新規要件	必須	県立	596			確定
529	新図書館業務	その他の業務	レファレンス 処理	WEBレファ レンス機能	WEBレファレンス受付機能があること。	現在のシステムのHP同様の入力項目(「ふりがな」、「お名 前」)、「情報源・出典」、「調査済み(入手済み)資料」が入 力できること。	新規要件	必須	県立	597			確定
530	新図書館業務	その他の業務	レファレンス 処理	レファレンス 統計	システム上で、レファレンス件数の入力(マウス操作 または数値入力により登録できること)とその統計 処理がおこなえること。	①「事項」、「所蔵」それぞれの問い合わせ件数 ②端末ごとの統計 ③日別・曜日別・月別の統計	新規要件	必須	県立	598			確定
531	新図書館業務	その他の業務	レファレンス 処理	レファレンス 処理その他	図書館システムパッケージにレファレンス処理機能 が標準装備でない場合、図書館システムとの連携を 図ったシステムを構築すること。	パッケージとは別に、レファレンスデータベースとして単独で の管理も可とする。	新規要件	必須	県立	600			確定
532	新図書館業務	その他の業務	展示支援	ブックリスト 作成支援	任意のブックリストを作ることができること。	下記3方法により、ブックリストを作成する。 ①資料ICタグ又はバーコードの読み ②HHTIによるICタグ読み ③検索による指定 上記3方法およびそれらの組み合わせにて資料を指定し、 静的・動的の両方に対応するブックリストの作成に対応できる こと。 (静的とは、内容等が作成時点で固定されるブックリスト(各 項目の追加・削除は可能)。動的とは、検索式等の組み合 わせにより利用者から呼び出されるたびに、生成内容を変 更できるブックリスト)	変更要件	必須	両館	601	2-16-1 [1] 2-16-1 [2]		確定
533	新図書館業務	その他の業務	展示支援	ブックリスト 作成支援	任意のブックリストへ出力する書誌項目・形式は選択 できること。	5つ程度のテンプレートを作成できること。	新規要件	必須	両館	602			確定
534	新図書館業務	その他の業務	展示支援	ブックリスト 作成支援	任意のブックリストのWeb公開もできること。	チェックボックスを選択する程度の簡便さで公開できること。 ※ブックリスト一覧にて、それぞれの公開の可否を選択する ことで公開の設定ができること。	現状同等要件	必須	両館	603	2-16-1 [4]		確定
535	新図書館業務	その他の業務	展示支援	ブックリスト 作成支援	任意のブックリストに対して、任意の箇所(文章の付 加)ができること。	ブックリスト作成対象の資料と資料の間に、任意で行を追加 し、文章の記述ができること。 (静的なブックリストの途中に項目名(および説明書き)を入 れたい)	新規要件	必須	両館	604	2-16-1 [1]		確定
536	新図書館業務	その他の業務	日誌処理	カウンター日 誌	カウンターでの引き継ぎ事項をシステム上で入力・閲 覧でき、指定の形式で印刷・データ保存ができるこ と。	カウンターでの引き継ぎ事項等を入力した様式(レファレン スノート)が管理でき、そのレファレンスノートのうち、事務運 務を除いて抽出した様式(カウンター日誌)も作成できるこ と。	新規要件	必須	県立	605			確定
537	視聴覚業務	(すべて)	(すべて)	(すべて)	図書館業務(図書・新図書館・分館・分室)と同等の 機能を持つこと。		現状同等要件	必須	両館	606			確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
538	視聴覚室業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	個人貸出および団体貸出の取り扱いが個別にできること。		現状同等要件		市民	607	2-4-1-3 [1]~[4] 2-4-1-5 [1]~[4] 2-4-1-1-2 [1]~[7]		確定
539	視聴覚室業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	個人・団体等の利用区分に応じた資料数・貸出期間の設定がこなえること。		現状同等要件	必須	市民	608	2-4-1-3 [1]~[4] 2-4-1-5 [1]~[4] 2-4-1-1-2 [1]~[7]		確定
540	視聴覚室業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	CD・ビデオ・DVD等、資料種別により貸出期間の設定が可能であること。		現状同等要件	必須	市民	609			確定
541	視聴覚室業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	資料の「帯出区分」内の項目の追加・変更が可能であること。		現状同等要件	必須	市民	610			確定
542	視聴覚室業務	窓口業務	貸出手続	資料の貸出	複数資料(統合資料)に観覧番号を設定し、観覧番号に対して貸出・返却・予約ができること。		現状同等要件	必須	市民	611			確定
543	視聴覚室業務	窓口業務	貸出手続	視聴覚機材の貸出	利用区分、機材種別(DVDデッキ、CDプレイヤー、ビデオプロジェクタ、スクリーン、ビデオカメラ)等)ごとに、貸出数や貸出期間を設定できること。		新規要件		市民	612			確定
544	視聴覚室業務	窓口業務	貸出手続	貸出画面	貸出資料が複数枚資料(総合資料)であることがわかる画面表示ができること。		現状同等要件	必須	市民	613			確定
545	視聴覚室業務	窓口業務	貸出手続	貸出シーム	貸出票には、資料の副タイトル(必要搭載)までの印刷ができること。		新規要件	必須	市民	614	2-4-1-1-2 [7]		確定
546	視聴覚室業務	窓口業務	貸出手続	館内貸出	館内貸出(書庫資料等の館内貸出)のデータはCSV形式で出力できること。		新規要件		市民	615			確定
547	視聴覚室業務	窓口業務	返却手続	返却画面	返却資料が複数枚資料(総合資料)である画面表示ができること。		現状同等要件	必須	市民	616	2-5-1-1-2 [3]		確定
548	視聴覚室業務	窓口業務	予約手続	予約データの活用	予約・取寄せ件数及び取消件数が表示・集計できること。		現状同等要件	必須	市民	617			確定
549	視聴覚室業務	窓口業務	プース管理	総合	視聴覚プースをばじめとしたプース(研究個室、グループ学習室)の管理ができること。		新規要件	必須	市民	618	2-12-1 [1]~[12] 2-12-2 [1]~[8] 2-12-3 [1]~[8] 2-12-4 [1]~[8] 2-12-5 [1]~[8]		確定
550	視聴覚室業務	窓口業務	プース管理	総合	プースの名称は個々に設定できること。		新規要件	必須	両館	619			確定
551	視聴覚室業務	窓口業務	プース管理	総合	プースの利用可能時間の設定は個々にできること。		新規要件	必須	両館	620			確定
552	視聴覚室業務	窓口業務	プース管理	視聴覚プースの利用受付	利用者カードにより受付ができること。		現状同等要件	必須	市民	621	2-12-1 [1]~[12]		確定
553	視聴覚室業務	窓口業務	プース管理	視聴覚プースの利用受付	プース利用状況(予約・空きプース状況等)が利用者自身で確認できること。	①庫用端末上での、利用者自身による検索・確認機能 ②OPAC端末上での、利用者自身による検索・確認機能	新規要件	必須	市民	622			確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
554	視聴覚室業務	窓口業務	ブース管理	視聴覚ブースの予約	当日予約を受け付けることができること。	利用区分、利用者データ、資料種別、書籍データ等から各ブースごとで、視聴覚ブースの利用予約が可能。 (開演予定の媒体の予約も可能であること。なお、ブースの予約処理は、職員が行う。) また、以下の対応ができること。 ①相席用資料の返却処理完了と同時に次の予約者にブース利用可能である旨(メール受信後30分以内)に視聴覚手続者が無い場合や予約を取り消された場合には、次の予約待ちの方にメールが送信される)のメールが送信できること。 ②端末の画面上で、メール送信履歴が確認できること。 ③カウンターに設置したディスプレイ(項番163)の液晶モニタ又は液晶TV、専用PCのモニタ等を使用しにも表示できるようにすること。	新規要件		市民	623	2-12-1 [1]~[12]		確定
555	視聴覚室業務	窓口業務	ブース管理	視聴覚ブースの予約	事前予約を受け付けることができること。	利用区分、利用者データ、資料種別、書籍データ等から各ブースごとで、視聴覚ブースの利用予約が可能。 (開演予定の媒体の予約も可能であること。なお、ブースの予約処理は、職員が行う。) また、以下の対応ができること。 ①相席用資料の返却処理完了と同時に次の予約者にブース利用可能である旨(メール受信後30分以内)に視聴覚手続者が無い場合や予約を取り消された場合には、次の予約待ちの方にメールが送信される)のメールが送信できること。 ②端末の画面上で、メール送信履歴が確認できること。 ③カウンターに設置したディスプレイ(項番163)の液晶モニタ又は液晶TV、専用PCのモニタ等を使用しにも表示できるようにすること。	新規要件		同館	624	2-12-1 [1]~[12]		確定
556	視聴覚室業務	窓口業務	ブース管理	視聴覚資料の検索	資料種別により、書籍データで上映・演述時間のデータが入力されているものは、指定された一定時間内の資料を抽出・検索できること。				市民	625	2-12-1 [8]		確定
557	視聴覚室業務	窓口業務	ブース管理	視聴覚資料の検索	親番号のある資料の場合に、種別資料の残りの資料の任意の資料を検索・貸出することができること。				市民	626			確定
558	視聴覚室業務	窓口業務	ブース管理	視聴覚ブースの利用統計	ブース単位、資料種別、利用者数等の利用記録が残せ、ブース利用統計(日別・月別・年間累計)ができること。			必須	市民	627			確定
559	視聴覚室業務	窓口業務	ブース管理	視聴覚ブースの利用統計	ブース利用統計の数字を利用統計(日報、月報等)に利用できる。			必須	市民	628			確定
560	視聴覚室業務	窓口業務	ブース管理	視聴覚ブースの利用統計	ブース利用統計のデータは、CSV形式やエクセル帳票で出力できること。			必須	市民	629			確定
561	視聴覚室業務	資料管理業務	書籍管理	書籍登録	曲目、演奏者、出演者等、書籍登録画面の各データについて、すべて可変長登録することができること。			必須	市民	630			確定
562	視聴覚室業務	資料管理業務	書籍管理	書籍登録	項目(タグ)登録によらず、設定した入力項目欄へのデータ入力によって、書籍登録画面で書籍データが作成でき、容易に資料登録ができること。			必須	市民	631	3-1-2-1-1 [2]		確定
563	視聴覚室業務	資料管理業務	書籍管理	書籍登録	書籍登録画面で、タイトル、副タイトル、演奏者、発行者、件名等入力時に自動でカナの読み(わかち書き)が入力できること。			必須	市民	633	3-1-2-1-1 [2]		確定
564	視聴覚室業務	資料管理業務	書籍管理	書籍登録	内容欄目は任意で複数の登録が可能で、一つの書籍に対して複数回登録ができ検索ができること。			必須	市民	636	3-1-2-1-1 [2]		確定
565	視聴覚室業務	資料管理業務	書籍管理	MARC登録	AV MARCの取り込みができること。			必須	市民	638			確定

頁番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	調達機能 要求番号	調達業務 フロー番号	備考	ステータス
566	視聴覚室業務	資料管理業務	収借管理	発注	図書と視聴覚資料を一括しても発注ができること。		新規要件	必須	市民	639	3-2-1-2-1 [1] 3-2-1-2-2 [1] 3-2-1-2-3 [1] 3-2-1-3-1 [2] 3-2-1-3-1 [3]		確定
567	視聴覚室業務	その他の業務	相互貸借	(すべて)	視聴覚資料は相互貸借の対象外とする設定が可能であること。		新規要件	必須	市民	648			確定
568	県立移動図書館業務	(すべて)	(すべて)	(すべて)	図書業務(図書-新図書館・分館・分室)と同等の機能を持つこと。	県立移動図書館の運用概要については、[別紙]移動図書館貸出返却概要 参照。	現状同等要件	必須	県立	649			確定
569	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BMの利用者として利用者情報を取り扱えること。		現状同等要件	必須	県立	650			確定
570	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	利用区分が県BMとなる利用者(県BM利用者)については、資料の貸出・返却と貸出リストの閲覧以外の機能については、使用できないこと。	使用が制限される機能は貸出延長・予約操作。	現状同等要件	必須	県立	651			確定
571	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BM利用者は県BMが所蔵する資料(県BM資料)のみ扱うことができること。		現状同等要件	必須	県立	652			確定
572	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BM資料の利用(貸出・返却・予約)が可能な利用対象については、対象を利用区分から設定にできること。		変更要件	必須	県立	653			確定
573	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BM資料の検索が可能な利用対象については、対象を利用区分から設定にできること。		新規要件	必須	県立	654			確定
574	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BM資料のうちBMに搭載されている資料が分かるようにできること。		新規要件	必須	県立	655	5-2-1[2] 5-2-2[2]		確定
575	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BMに搭載されている資料については予約の対象外とすることができること。		新規要件	必須	県立	656			確定
576	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BM利用者へ貸出ししている資料については予約の対象外とすることができること。		新規要件	必須	県立	657			確定
577	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BM利用者ごともしくは団体種別ごとに任意の貸出点数制限がかけられること。		現状同等要件	必須	県立	658			確定
578	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BMでの利用統計がとれること。		現状同等要件	必須	県立	659			確定
579	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BMでの貸出状況を確認できること。		現状同等要件	必須	県立	660			確定
580	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BMでの貸出一覧表が印刷できること。		現状同等要件	必須	県立	661			確定
581	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	県BMでの貸出一覧表がCSV出力できること。		現状同等要件	必須	県立	662			確定
582	県立移動図書館業務	県立BM業務	BM窓口	BM窓口	業務端末でも返却処理ができること。	県BM資料を新図書館・分館・分室で返却可能とする。	新規要件	必須	県立	664	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
583	県立移動図書館業務				県BM非所蔵資料の検知ができること。		新規要件	必須	県立	681			確定
584	県立移動図書館業務				サーバとハンディ端末間のデータ転送がおこなえること。	ハンディ端末のデータをサーバへ転送し、サーバ内のデータを更新できること。	現状同等要件	必須	県立	677	5-6-1[1] 5-6-1[2]		確定
585	市民移動図書館業務	(すべて)	(すべて)	(すべて)	図書業務(図書-新図書館・分館・分室)と同等の機能を持つこと。	市民移動図書館の運用概要については、[別紙]移動図書館貸出返却概要 参照。	新規要件	必須	市民	667			確定
586	市民移動図書館業務	システム総合	基本要件	基本要件	市BMの利用者として利用者情報を取り扱えること。		現状同等要件	必須	市民	668	4-3-1[1]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要素番号	関連業務プロセス番号	備考	ステータス
587	市民移動図書館業務	システム総合	基本要件	基本要件	利用区分が市BMとなる利用者(市BM利用者)については、機能を制限できること。 市BM利用者は市BMが所蔵する資料(市BM資料)のみ扱うことができること。	使用が制限される機能は市BM以外の(新図書館/原BM/市民図書館/分館/分室)の資料に対する貸出・予約操作。	現状同等要件	必須	市民	669	4-3-1[5]		確定
588	市民移動図書館業務	システム総合	基本要件	基本要件	市BM資料の利用(貸出・返却・予約)が可能な利用対象については、対象を利用区分から設定にできること。		現状同等要件	必須	市民	670			確定
589	市民移動図書館業務	システム総合	基本要件	基本要件	市BM資料の検索が可能な利用対象については、対象を利用区分から設定にできること。		現状同等要件	必須	市民	671			確定
590	市民移動図書館業務	システム総合	基本要件	基本要件	市BM資料のうち市BMに搭載されている資料が分かるようにできること。		新規要件	必須	市民	672			確定
591	市民移動図書館業務	システム総合	基本要件	基本要件	市BM所蔵資料については予約の対象外とすることができること。		新規要件	必須	市民	673	4-1-1[1] 4-2-1[1]		確定
592	市民移動図書館業務	システム総合	基本要件	基本要件	移動図書館車のカウンタ業務用車載端末では、本館・分館・分室と同等の窓口業務がおこなえること。	対象利用者・資料については、市BM利用者・市BM資料に ついてのみ取り扱うこと。	変更要件	必須	市民	674	4-3-3-2[1]		確定
593	市民移動図書館業務	システム総合	システム環境	使用機器	サーバと車載端末・ハンディ端末間のデータ転送がおこなえること。		新規要件	必須	市民	675	4-3-1[1]~[5] 4-3-2[1]~[3] 4-3-4-1[1]~[4]		確定
594	市民移動図書館業務	システム総合	データ	ローカルデータメンテナンス	市BM貸出票の発行が可能であること。	車載用端末やハンディ端末のデータをサーバへ転送し、サーバ内のデータを更新できること。またサーバから利用者情報・利用データを車載用端末等へ抽出すること。も可能であること。	現状同等要件	必須	市民	677	4-1-1[1] 4-2-1[1] 4-4-3[1]		確定
595	市民移動図書館業務	窓口業務	貸出手続	貸出手続	市BM非所蔵資料の検索ができること。	貸出処理後、レシートプリンタからワンタッチかつ即時に必要な内容(貸出冊数、貸出資料の書名、貸出ステーション名、次回巡回日、巡回時間)を含んだ貸出票を発行できること。	現状同等要件	必須	市民	680	4-3-1[5]		確定
596	市民移動図書館業務	窓口業務	返却手続	返却手続	業務端末でも返却処理ができること。	市BM非所蔵(本館所蔵等)資料の返却が検出された場合、未所蔵資料としてメッセージを表示し、処理をおこなわないように設定できること。	現状同等要件	必須	市民	681	4-3-2[3]		確定
597	市民移動図書館業務	窓口業務	返却手続	返却手続	業務端末でも返却処理ができること。	市BM資料を新図書館・分館・分室で返却可能とする。	新規要件	必須	市民	684	2-5-1-1-2[1]~[7]		確定
598	市民移動図書館業務	窓口業務	予約手続	予約手続	業務用端末からの予約について、特定職員以外から処理できないよう設定できること。		現状同等要件	必須	市民	706	4-3-3-2[1]		確定
599	公開系業務	公開系共通	公開系共通	多言語対応	原則、全ての公開系の画面表示においては、英語表示ができること。		新規要件	必須	両館	1	2-1-1-3-1[1]~[5] 2-1-1-3-2[1]~[5] 2-1-8-4[1]~[4] 2-4-2-2[1]~[7] 2-7-1-2[1]~[6] 2-13-1-1[1]~[2] 2-13-1-2[1]~[4]		
600	公開系業務	公開系共通	公開系共通	各種ブラウザ対応	ある程度のシェアをもち、現行サポートがされているブラウザには原則対応すること。	①Internet Explorer ②Firefox ③Google Chrome ④Safari ⑤Android標準ブラウザ ⑥Opera	新規要件	必須	両館	2	2-1-1-3-1[1]~[5] 2-1-1-3-2[1]~[3] 2-1-8-4[1]~[4] 2-4-2-2[1]~[7] 2-7-1-2[1]~[6] 2-13-1-1[1]~[2] 2-13-1-2[1]~[4]		

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
601	公開系業務		公開系共通	文字サイズ の変更	原則、全ての公開系の画面表示においては文字サイズの變更に対応できること。		新規要件	必須	両館	3	2-1-1-3-1[1]~[5] 2-1-1-3-2[1]~[5] 2-1-8-4[1]~[4] 2-4-2-2[1]~[7] 2-7-1-2[1]~[6] 2-13-1-1[1]~[2] 2-13-1-2[1]~[4]		確定
602	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	利用者バーコード、資料ICタグにより利用者自身で貸出手続きを完了できること。		新規要件	必須	両館	4	2-4-1-2[1]~[3]		確定
603	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	資料点数の入力を利用者にしてもらい、読取ミスのチェックを手続き時に行うことができること。		新規要件	必須	両館	5	2-4-1-2[1]~[3]		確定
604	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	読み取れない資料がないかを確認できる画面表示を行うことができること。		新規要件	必須	両館	6	2-4-1-2[1]~[3]		確定
605	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	操作手順を写真又はイラストによる画面表示を1手順ごとに行い、手順を示すことができること。		新規要件	必須	両館	7	2-4-1-2[1]~[3]		確定
606	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	付属付き資料の貸出の際には、利用者に確認を促し、了承の手続きを取ることができること。	付属付き資料に関して、付録(タグ)を付けて親子資料としての管理を行っていない付属(資料)が実際に付いているかどうかを判別しない(いいえ)を選択することで利用者に認識させ、付録がない(いいえ)を選択(場合によってはカウンターへ来てもらう)よう誘導できること。	新規要件	必須	両館	8	2-4-1-2[1]~[3]		確定
607	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	利用者バーコード読取後に利用者通知(利用者へのコメント)を表示できること。	利用者通知の公開可否に連動して表示できること。	新規要件	必須	両館	9	2-4-1-2[1]~[3]		確定
608	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	利用者バーコード読取後に貸出待ち予約資料の有無を表示できること。		新規要件	必須	両館	10	2-4-1-2[1]~[3]		確定
609	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	利用者バーコード読取後に、延滞資料の返却を促すメッセージを利用者に通知できること。	①単刺延滞 ②予約延滞 ③長期延滞	新規要件	必須	両館	11	2-4-1-2[1]~[3]		確定
610	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	利用者バーコード読取後に、長期延滞資料がある利用者に対しては貸出手続きができないこと。		新規要件	必須	両館	12	2-4-1-2[1]~[3]		確定
611	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	館内情報を表示できること。	館内OPACで表示できる項目の中から選択できること。	新規要件	必須	両館	13	2-4-1-2[1]~[3]		確定
612	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	レシート印刷の可否を選択できること。	①今回貸出分 ②全貸出分 ③印刷しない	新規要件	必須	両館	14	2-4-1-2[1]~[3]		確定
613	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	貸出期限の延長手続きができること。		新規要件	必須	両館	15	2-4-2-1[1]~[6]		確定
614	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	延滞資料についても貸出期限の延長手続きができること。	本機能の使用有無については設定変更ができること。	新規要件	必須	両館	16	2-4-2-1[1]~[6]		確定
615	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	すでに貸し出している資料の借り換えにも対応できること。	本機能の使用有無については設定変更ができること。	新規要件	必須	両館	17	2-4-1-2[1]~[3]		確定
616	公開系業務		セルフ式機 器	貸出機	エラー(機器原因、資料原因、利用者起因いずれも)は利用者に対処が分かるよう表示できること。		新規要件	必須	両館	18	2-4-1-2[1]~[3]		確定
617	公開系業務		セルフ式機 器	返却機	利用者が返却機に資料を1点ずつすることで、自動的に1次返却処理がされること。		新規要件	必須	両館	19	2-5-1-4-1[1]		確定
618	公開系業務		セルフ式機 器	返却機	返却時に利用者への通知を表示できること。	①貸出待ち予約資料(すでに確保及び回送が終わり、予約細に構築され、受取館での受取が可能な予約資料)の有無 ②残返却冊数	新規要件	必須	両館	20	2-5-1-4-1[1]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	調達機能要素番号	調達業務フロー番号	備考	ステータス
619	公開系業務		セルフ式機器	予約受取棚棚位置お知らせ機	利用者がバーコードを読み取ること、該当資料の現在の配架棚を画面上で案内できること。		新規要件	必須	両館	21	2-4-2-1[1]~[6]		確定
620	公開系業務		セルフ式機器	予約受取棚棚位置お知らせ機	利用者がバーコードを読み取ること、該当資料の配架棚番号をレシート印刷もできること。		新規要件	必須	両館	22	2-4-2-1[1]~[6]		確定
621	公開系業務		セルフ式機器	予約受取棚セルフ式貸出機	貸出機と同様のことができないこと。		新規要件	必須	両館	23	2-4-2-1[1]~[6]		確定
622	公開系業務		セルフ式機器	予約受取棚セルフ式貸出機	他利用者担当資料を読み取るとエラー表示し、貸出ししない		新規要件	必須	両館	24	2-4-2-1[1]~[6]		確定
623	公開系業務		セルフ式機器	予約受取棚BDS	コーナー入口に専用BDSを設置し、他利用者担当の予約資料の待ち出しができないこと。		新規要件	必須	両館	25			確定
624	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	全体	WebOPACと館内OPACは原則インタフェースを統一できること。		新規要件	必須	両館	26	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定
625	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	インタフェース	一般利用者向けの画面、子どもに配慮した画面、日本語以外の言語利用者で配慮した画面を選択することができること。		現状同等要件	必須	両館	27	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定
626	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	インタフェース	それぞれ画面において、文字サイズ変更、白黒反転がラグイン無しで実行できること。		新規要件	必須	両館	28	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定
627	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	インタフェース	子どもに配慮した検索画面については、ただ単に文字を「ひらがな」にするのではなく、言い換えによる表現の入力ができること。		変更要件	必須	両館	29	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定
628	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	インタフェース	日本語以外の言語利用者で配慮した検索画面については、英語による画面を用意できること。		変更要件	必須	両館	30	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定
629	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	インタフェース	日本語以外の言語利用者で配慮した検索画面については、英語以外の言語による画面も用意できること。	①韓国語 ②中国語(繁体字) ③中国語(简体字)	新規要件	必須	両館	31	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定
630	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	資料検索(所蔵資料)	所蔵している資料検索を行うことができること。		現状同等要件	必須	両館	32	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定
631	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	資料検索(所蔵資料)	資料区分を選択して検索ができること。	選択できる資料区分は設定変更できること。	現状同等要件	必須	両館	33	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定
632	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	資料検索(所蔵資料)	所蔵データ(資料番号、所蔵館室および採架場所)を対象とした任意の条件に合致する資料の検索ができること。		変更要件	必須	両館	34	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定
633	公開系業務		WebOPAC館内OPAC共通	資料検索(所蔵資料)	指定する館室(それぞれの館室を選択できること。)が所蔵する資料を検索できること。		変更要件	必須	両館	35	2-13-1-1[1]~ 2-13-1-2[4]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プロ番号	備考	ステータス
634	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	リクエスト資料 検索(未所 蔵資料)	所属している資料に加え未所属の資料(書誌が登録 されているものも含む)を検索を行うことができるこ と。(リクエスト資料の所蔵有無の権限用)		新規要件	必須	両館	36	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
635	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	条件を任意に設定し、定められた文字入力の規則 性・一致方向のもと、目的の資料を検索できるこ と。	①完全一致検索 ②部分(中間)一致検索 ③前方一致検索 ④後方一致検索	現状同等要件	必須	両館	37	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
636	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	検索対象項目同士の論理演算ができること。	①論理積(AND) ②論理和(OR) ③否定(NOT)	現状同等要件	必須	両館	38	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
637	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	論理演算の優先順位付けができること。		新規要件		両館	39	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
638	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	資料種別や区分等の選択制の所蔵項目のみを指定 して検索できること。	検索語を入れなくても検索できること。	新規要件	必須	両館	40	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
639	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	検索結果に対して2次(絞り込み)検索ができること。	検索できる項目、絞り込み回数に制限がないこと。	変更要件	必須	両館	41	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
640	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	書誌を構成する各著録内事項(タイトル、責任表示 等)の各内容を対象とした任意の条件に合致する資 料の検索ができること。		変更要件	必須	両館	42	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
641	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	書誌の各項目(種数の著作で構成される図書等各 著作タイトルおよび責任表示、雑誌の記号名と責任 表示等)を対象とした任意の条件に合致する資料の 検索ができること。		変更要件	必須	両館	43	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
642	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	対象項目の入力値の有無による検索もできること。		新規要件		両館	44	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
643	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	所蔵子データ(資料番号、所蔵館室および棟架場所)を 対象とした任意の条件に合致する資料の検索ができ ること。		変更要件	必須	両館	45	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
644	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	指定する館室(それぞれの館室を選択できること。) が所属する資料を検索できること。		変更要件	必須	両館	46	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
645	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	書誌の全項目任意の条件に合致する資料の検索が できること。	任意の項目は対象外とできること。	現状同等要件	必須	両館	47	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
646	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	検索文字として使用できる文字種に特段の理由がな い限り制限を設けないこと。	①漢字 ②ひらがな ③カタカナ ④英数字	現状同等要件	必須	両館	48	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
647	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	漢字については異体字・旧字の区別なく検索できる こと。		現状同等要件	必須	両館	49	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類 レベル	要件 レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プログラム 番号	備考	ステータス
648	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	漢字については異体字・旧字の区別をつけても検索 できること。		新規要件	必須	両館	50	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
649	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	文字数(特にタイトル等での1文字書名)が少ないとき でも検索できること。		現状同等要件	必須	両館	51	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
650	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	複数の単語を空白で区切ることにより、空白をANDと みなし検索ができること。		新規要件	必須	両館	52	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
651	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	複合検索が確立にできること。		現状同等要件	必須	両館	53	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
652	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	資料詳細画面から展開検索できること。	①現在タイトル ②著者名・絵作者名(個別) ③シリーズ名 ④一般件名 ⑤個人件名 ⑥出版者名 ⑦請求記号	変更要件	必須	両館	54	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
653	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	検索方法および注意事項を表示できること。		現状同等要件	必須	両館	56	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
654	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	タイトルはすべて表示。(一覧表示)	書名・副書名・書番号を表示できること。 利用者向けの表示パターンが複数定義可能で、その設定 を職員ができること。	変更要件	必須	両館	57	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
655	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	簡易検索画面(一つの検索入力欄による検索画面) をもつこと。		現状同等要件	必須	両館	58	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
656	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	サジェスト(候補提示機能)機能をもつこと。		新規要件	必須	両館	59	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
657	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	ファセット機能をもつこと。	検索結果に対して、絞り込み検索の候補を表示できること。 様々な切り口(形態・年代・ジャンル・巻数・所蔵館)でのファ セット検索できること。	新規要件	必須	両館	60	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
658	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	AND検索の簡略化。	Google等のように、同一検索語入力欄内の複数単語の AND検索に関しては、スペースで行えること。	変更要件	必須	両館	61	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
659	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	資料の配列場所の表示。	館内マップと連動し有る程度の検索位置を表示できること。 館内マップについても登録、変更できること。	新規要件	必須	両館	62	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4] 6-4-1 [1] 6-4-1 [2]		確定
660	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共 通)	資料詳細画面における所蔵資料個々の状態(貸出・ 回送中等)の表示。		現状同等要件	必須	両館	63	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
661	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共通)	資料一覧画面における状態(貸出可否)の表示。		現状同等要件	必須	両館	64	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
662	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共通)	ショートカットキーでの画面遷移が可能なこと。	音声読み上げへの対応、ショートカットキーの種類・範囲の限定を考慮した視覚障がい者のための専用画面を作成し、ショートカットキーでの画面遷移ができるようにすること。	新規要件	必須	両館	65	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
663	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共通)	貴重書・名家文庫・文庫の検索。	貴重書・名家文庫・文庫について一括して、検索が可能なこと。また、雑誌・AV等を含めた、資料検索の結果一覧に表示できること。	新規要件	必須	両館	66	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
664	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共通)	ISBN、ISSNによる検索。		新規要件	必須	両館	67	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
665	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共通)	検索語のハイライト機能。		新規要件	必須	両館	68	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
666	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共通)	資料書影の表示ができること。	資料の表紙等が表示できること。(Web書店連携又は、日外アソシエーツBOOKデータベース)と連携が可能なこと。	新規要件	必須	両館	69	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
667	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共通)	検索結果の履歴検索ができること。		現状同等要件	必須	両館	70	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
668	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共通)	検索結果の履歴検索の組み合わせによる検索ができること。		新規要件	必須	両館	71	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
669	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	権限検索	書名や著者名など複数のキーワードを用いて県下市町村等の資料検索ができること。	所蔵資料検索から検索語を引き継ぐこと、もできること。	現状同等要件	必須	両館	72	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
670	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	構造的検索(点字図書館との連携)	新図書館(および高知市民図書館の分館・分室)の資料と高知点字図書館資料の構造的検索を独立したインタフェースで提供できること。	検索結果が、新図書館以外に、サビエラ点字図書館に資料があることが理解できる表示とすること。 (サビエラ点字図書館との連携方法については別途調整)	新規要件	必須	市民	375	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
671	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	新着案内	一定の期間内の新着資料情報がジャンル毎に表示可能であること。		現状同等要件	必須	両館	73	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
672	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	貸出・予約ベスト表示	一定の期間内の資料区分(一般書・児童書・郷土・視聴覚資料等)毎の貸出・予約ベストの表示が可能であること。	特定の分類について集計対象外とできる(726.1漫画資料とか)、又はジャンルの集計対象を任意に設定できること。	現状同等要件	必須	両館	74	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
673	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料規定令 体(検索、新着、ベスト)	結果一覧の同時表示件数を利用者が任意で選択できること。	①10件ごと表示 ②20件ごと表示 ③50件ごと表示 ④100件ごと表示 ⑤200件ごと表示 規定値は別途設定できること。	変更要件	必須	両館	75	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
674	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	利用者情報提供	貸出状況の確認、予約状況の確認・変更が可能であること。		現状同等要件	必須	両館	76	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定

項目	要素分類	要素	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 フロー番号	備考	ステータス
688	公開系業務	WebOPAC 館内OPAC 共通	利用履歴 提供	利用履歴 提供	プログラムの機能。	自分の読みたい本や読んだ本を登録し、コメントを付けたりしてOPAC上に「仮想本棚」を作ることができる。また、自分の「本棚」の公開/非公開を設定することができる。自分の読書履歴の管理のみならず、利用者同士で本の紹介をしようことができる。	新規要件		両館	89			確定
689	公開系業務	WebOPAC 館内OPAC 共通	貸出期限 延長手続き	貸出期限 延長手続き	利用者自ら貸出期限延長の手続きが行えるようにする。	申込み可能時期(例:返却期限から1週間以内)および点数の制限設定ができること。	現状同等要件	必須	両館	90	2-4-2-2 [1]~[7]		確定
690	公開系業務	WebOPAC 館内OPAC 共通	アクセシビ リティへの対 応	アクセシビ リティへの対 応	操作上、アクセシビリティに配慮する。	「JIS X 8341-3:2010」準拠を目指す。	現状同等要件	必須	両館	91			確定
691	公開系業務	WebOPAC 館内OPAC 共通	子どもへの 対応	子どもへの 対応	子どもでも簡単に検索できるような仕組み。	・対象年齢としては小学校2年~4年程度を想定 ・表示している文字をひらがな表記するなどの工夫により該 当年齢でも読むことが出来、なおかつ意味を理解できるこ と。 ・子供でもとつきやすい画面構成とする。(操作イメージが すぐに理解できる構成)	新規要件	必須	両館	92	2-13-1-2 [2]~[3]		確定
692	公開系業務	WebOPAC 館内OPAC 共通	利用申請受 付	利用申請受 付	紙様式で申請を受け付けている書類について、 OPACから申請を行うことができるようにする。	書類の種類について電子申請ができるように検討する。	新規要件		両館	93			確定
693	公開系業務	WebOPAC 館内OPAC 共通	その他	その他	更新反映の即時化。	延長・予約・状況確認・仮登録等の反映がリアルタイムで できること。	現状同等要件	必須	両館	94			確定
694	公開系業務	WebOPAC	予約	予約	Web予約については、メールアドレスの登録が必須と できること。		新規要件	必須	両館	95			確定
695	公開系業務	WebOPAC	資料情報の ダウンロード	資料情報の ダウンロード	資料一覧画面、資料詳細画面については、テキスト ファイル又はCSV、XMLファイルとしてダウンロードで きること。	①テキストファイル ②CSVファイル ③XMLファイル	新規要件	必須	両館	97	2-13-1-1 [1] 2-13-1-2 [4]		確定
696	公開系業務	WebOPAC	URL固定化	URL固定化	各資料詳細画面についてはパーマリンクにより永続 的にアクセスできること。		新規要件	必須	両館	98			確定
697	公開系業務	WebOPAC	API連携	API連携	インターネット経由によるアクセスに対応できるAPIを 提供できること。	①OpenURL ②OpenSearch	新規要件	必須	両館	99			確定
698	公開系業務	WebOPAC	国立国会図 書館連携	国立国会図 書館連携	インターネットによるアクセスに対応できるAPIを 提供できること。	・国立国会図書館総合目録ネットワーク事業による目録情 報の機能的取集に対応するためOAI-PMHへの対応を行 う。	新規要件	必須	両館	100			確定
699	公開系業務	WebOPAC	フィードの提 供	フィードの提 供	利用者へ新着資料(新着資料とは異なり全ての 新規着入資料の情報を提供する)のフィード(更新情 報)提供を行う。	①RSS2.0 ②Atom	新規要件		両館	101			確定
700	公開系業務	WebOPAC	フィードの提 供	フィードの提 供	利用者へ新着資料のフィード(更新情報)提供を行 う。	①RSS2.0 ②Atom	新規要件	必須	両館	102			確定
701	公開系業務	WebOPAC	フィードの提 供	フィードの提 供	貸出・予約のフィード(更新情報)提供を行う。	①RSS2.0 ②Atom	新規要件	必須	両館	103			確定
702	公開系業務	WebOPAC (県内市町村 向け)	WebOPAC 全体	WebOPAC 全体	市町村図書館等に付与された利用者番号でログイン することで、市町村図書館等の利用可能なメ ニューが出発できること。		新規要件	必須	両館	104	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	調達機能 要求番号	調達業務 プロ番号	備考	ステータス
703	公開系業務		webOPAC (県内市町村 向け)	資料検索	県BM資料も検索できる。		新規要件	必須	両館	105	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
704	公開系業務		webOPAC (県内市町村 向け)	資料検索	職員用画面と同様の検索ができること。		新規要件		両館	106	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
705	公開系業務		webOPAC (県内市町村 向け)	協力貸出・ セット貸し申 し込み	協力貸出の申込みができること。		新規要件	必須	両館	107	2-4-1-6-4 [1]~[3]		確定
706	公開系業務		webOPAC (県内市町村 向け)	登録内容変 更	パスワードの変更、メールアドレスの登録や変更が できること。		新規要件	必須	両館	108	2-1-2-3 [1]~[7]		確定
707	公開系業務		webOPAC (県内市町村 向け)	利用状況確 認	貸出・回着中状況の確認、申込み状況の確認・変更 が可能であること。		新規要件	必須	両館	109			確定
708	公開系業務		webOPAC (県内市町村 向け)	利用状況確 認	貸出中資料の印刷又はデータ出力ができること。		新規要件	必須	両館	110			確定
709	公開系業務		webOPAC (県内市町村 向け)	新図書館図 書返却	新図書館の資料の一次返却が可能なこと。	個人利用者が借りた資料については、県内の市町村立図 書館をはじめとする物流ポイントにて返却できる。その物流 ポイントにてWebOPACを利用して一次返却処理が行えるこ と。	新規要件	必須	両館	111			確定
710	公開系業務		webOPAC (県内市町村 利用者向け)	全体	県BM利用者にて付与された利用者番号でログインす ることで、県BM利用者のみ利用可能なメニューが出 現できること。		新規要件	必須	両館	112	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
711	公開系業務		webOPAC (県BM利用 者向け)	登録内容変 更	パスワードの変更、メールアドレスの登録や変更が できること。		新規要件	必須	両館	113	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
712	公開系業務		webOPAC (県BM利用 者向け)	利用状況確 認	貸出状況の確認が可能であること。		新規要件	必須	両館	114	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
713	公開系業務		webOPAC (県BM利用 者向け)	利用状況確 認	貸出中資料の印刷又はデータ出力ができること。		新規要件	必須	両館	115	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
714	公開系業務		横断検索	全体	県内市町村立図書館と大学図書館の横断検索が webからできること。		変更要件	必須	両館	116			確定
715	公開系業務		横断検索	全体	業務系機能要求に記載しているのと同様の検索が できること。		新規要件		両館	117			確定
716	公開系業務		横断検索(県 内市町村向 互貸借支援 システム)	横断検索(相 互貸借支援 システム)	県内市町村立図書館(十大学図書館?)等を対象と した広域LLSシステム		新規要件	必須	両館	118			確定
717	公開系業務		webOPAC (市内学校向 向け)	全体	市内学校等に付与された利用者番号でログインする ことで、市内学校等のみ利用可能なメニューが出現 できること。		新規要件	必須	両館	119	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類 レベル	要求元	関連機能 要求番号	関連業務 プロセス 番号	備考	ステータス
718	公開系業務		webOPAC (市内学校向 け)	資料検索	市学校支取用資料も検索できる。		新規要件	両館	120	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
719	公開系業務		館内OPAC	館内情報	検索資料の所在欄の表示が可能であること。		新規要件	両館	121			確定
720	公開系業務		館内OPAC	登録仮登録	利用者自身による利用者登録の入力ができること。	入力完了後は仮登録票(レシート)を出力し、窓口にて持参すること。正式な利用登録手続きを行う。	新規要件	両館	122	2-1-1-3-1 [1]~[5] 2-1-1-3-2 [1]~[5]		確定
721	公開系業務		館内OPAC	レシート出力	資料検索結果をレシートへ打ち出すことができること。	所蔵場所の名称に加えて、所蔵場所へ向う目印となる冊番号又は館内位置番号等を表示できること。	現状同等要件	両館	123			確定
722	公開系業務		館内OPAC	館内施設予約	利用者用各種端末・個席の利用予約が行えること。		新規要件	両館	124			
723	公開系業務		館内OPAC	画面	端末で何が出来るかの表示を行う。	館内OPACのトップ画面で、館内OPACにできることを表示できること。	新規要件	両館	126	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		
724	公開系業務		館内OPAC	資料検索	資料一覧画面における自館室所蔵資料の貸出可否の表示。		新規要件	両館	127	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
725	公開系業務		簡易型OPA C(フイー チャーフオン 向け)	全体	フイーチャーフオン(ガラケー)対応のための簡易型OPACを準備する。		現状同等要件	両館	128	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
726	公開系業務		簡易型OPA C(フイー チャーフオン 向け)	資料検索	書名や著者名、分類など複数のキーワードを用いて資料検索を行い、インターネット予約などの手続きを行うことができること。		現状同等要件	両館	129	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
727	公開系業務		簡易型OPA C(フイー チャーフオン 向け)	資料検索	予約については1回ログインで連続して予約がかけられるように。		現状同等要件	両館	130	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
728	公開系業務		簡易型OPA C(フイー チャーフオン 向け)	新着案内	一定の期間内の新着資料情報がジャンル毎に表示可能であること。		現状同等要件	両館	131	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
729	公開系業務		簡易型OPA C(フイー チャーフオン 向け)	貸出・予約べ スト表示	一定の期間内での資料区分(一般書・児童書・郷土・図鑑資料等)毎の貸出・予約ベストの表示が可能であること。	特定の分類について集計対象外とできる(726)漫画資料と(か)、又はジャンルの集計対象を任意に設定できること。	現状同等要件	両館	132	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
730	公開系業務		簡易型OPA C(フイー チャーフオン 向け)	資料提示全 体(検索、新 着)	結果一覧の同時表示件数を利用者が任意で選択できること。	①5件ごと表示 ②10件ごと表示 ③20件ごと表示	新規要件	両館	133	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
731	公開系業務		簡易型OPA C(フイー チャーフオン 向け)	利用者情報 提供	利用者パスワードの変更、メールアドレスの登録や変更、貸出状況の確認、予約状況の確認・変更が可能であること。		現状同等要件	両館	134	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
732	公開系業務		簡易型OPA C(フイー チャーフオン 向け)	利用案内(表 示態選択式)	施設毎の住所・電話番号・開館時間の案内表示が可能であること。	内容の修正を職員が行えること。	現状同等要件	両館	135	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定
733	公開系業務		簡易型OPA C(フイー チャーフオン 向け)	休館日カレンダー	図書館システムで設定した各施設毎の開館日・休館日情報が利用者向けに表示できること。		現状同等要件	両館	136	2-13-1-1 [1] ~ 2-13-1-2 [4]		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求示	関連機能要求番号	関連業務フロー番号	備考	ステータス
734	新図書館業務	帳票出力	統計帳票	日本図書館協会	日本図書館協会公共図書館調査票に対応する帳票が出力できること。	対象帳票については、別紙帳票(JLA対応統計)参照。	新規要件	必須	両館				確定
735	新図書館業務	帳票出力	統計帳票	日本図書館協会以外	日本図書館協会公共図書館調査票以外の統計帳票が出力できること。	対象帳票については、別紙帳票(JLA以外統計)参照。	新規要件	必須	両館				確定
736	新図書館業務	帳票出力	統計帳票以外		統計以外の各帳票について、出力できること。	対象帳票については、別紙帳票(統計以外)参照。	新規要件	必須	両館				確定
737	新図書館業務	帳票出力	統計以外帳票出力	全体に関して	帳票を作成する際、「画面で確認する」「印刷プレビュー」「印刷する」「データとして出力(保存する)」のいずれかを選ぶこと。		現状同等要件	必須	両館				確定
738	新図書館業務	帳票出力	統計以外帳票出力	全体に関して	データとして出力する場合、システムの動作に不備が出ない範囲で出力項目・データ形式・保存場所を指定できること。 特に指定するものに関しては、エクセル形式での出力も可能であること。	帳票出力のデータ形式については ①CSV ②PDF ③Excel ※①、②は必須とする。	新規要件	必須	両館				確定
739	新図書館業務	帳票出力	統計以外帳票出力	全体に関して	用語の統一と数値の根拠の明確化を実施すること。	・帳票に使用されている用語の定義と数値の根拠(計算方法)が簡単に一覧できるようにすること。 ・同じ用語なのに帳票によって定義が違ってしまうことが起こらないようにすること。 ・基本的に用語の定義は日本図書館協会の公共図書館調査票に準拠すること。	新規要件	必須	両館				確定
740	新図書館業務	帳票出力	統計以外帳票出力	全体に関して	随時処理/日次処理/月次処理 等について帳票ごとに指定ができること。 出力された帳票に条件設定が分り易く印字されていること。	出力条件設定の表示が、帳票のヘッダーに常に印刷されること。 また、条件設定の意味が分りやすいこと。(例:実行システムは「館名」と省略して条件表記されるが、統計メニューによって処理順のことであったり受取順のことであったりするので、出力後分からなくならない)	新規要件	必須	両館				確定
741	新図書館業務	帳票出力	統計以外帳票出力	全体に関して	帳票ごとに出力権限の設定ができること。		新規要件	必須	両館				確定
742	新図書館業務	帳票出力	統計以外帳票出力	全体に関して	「該当資料リスト」をはじめとする資料のリストについては、資料番号と書誌番号(タイトルコード)のバーコードを印刷できること。		現状同等要件	必須	両館				確定
743	新図書館業務	帳票出力	統計以外帳票出力	リストについて			現状同等要件	必須	市民				確定

項目	業高分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	備考	ステータス	
1	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	新図書館のLANに接続されたパーソナルコンピュータから利用可能。 館内所定場所まで業務端末を無線LAN接続しシステム運用が可能。		現状同等要件	必須	市民	1		確定	
2	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	業務端末は多様な端末により運用可能。 ①デスクトップ型 ②ノート型 ③PDA・スマートフォン・タブレット型 [PDA・スマートフォン・タブレット型について] 基本的に新図書館の窓口担当は常時携帯を予定している。窓口担当が携帯するため、登録以外の業務で使用予定。 画面サイズは5～7型、重量は500g以内、OSはAndroid又はWindows系(CE系又はWindows 8)、バッテリー稼働時間が10時間以上(多少バッテリーがへたっても勤務時間中は使える)であること。		新規要件	必須	市民	2			確定
3	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	特定業務(蔵書点検、資料検索、簡易貸出返却、ハッチ用資料コード読込作業)用のハンドヘルド端末による運用も可能。 館内所定範囲でIC対応HHTを無線LAN接続しシステム運用が可能。		新規要件	必須	両館	3		確定	
4	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	館内所定範囲でIC対応HHTを無線LAN接続しシステム運用が可能。		新規要件	必須	両館	6		確定	
5	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	館内所定範囲でポータブル型業務端末を無線LAN接続しシステム運用が可能。		新規要件		市民	7		確定	
6	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	市移動図書館の巡回先において、車載のPC型業務端末を無線ターミナルサーバへ接続して、システム運用が可能。		新規要件	必須	両館	8		確定	
7	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	セキュリティに配慮し、無線ターミナル通信及び無線LAN接続は、暗号化して通信をおこなうこと。 十分な通信速度を維持できること。		新規要件		両館	9		確定	
8	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	Web方式のシステムであること。		新規要件	必須	市民	11		確定	
9	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	IMIXによるスループット測定で適合施設固有線系において500Mbps以上、分館・分室有線系は100Mbps以上、無線系については100Mbps以上の性能のケーブル・機器で構成すること。(携帯電話回線による通信を除く)		新規要件	必須	市民	12		確定	
10	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ハードウェア	ページジョアアップ・リビジョンアップは安定版であること。		新規要件	必須	両館	16		確定	
11	新図書館業務	システム総合	システム環境	システム方式	システムのバックアップおよび復旧が可能であること。		現状同等要件	必須	市民	18		確定	
12	新図書館業務	システム総合	システム環境	セキュリティ	待機時等にシステムの安全な自動停止・復旧が可能。		現状同等要件	必須	市民	22		確定	
13	新図書館業務	システム総合	システム環境	セキュリティ			変更要件	必須	両館	23		確定	

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	備考	ステータス
14	新図書館業務	システム総合	システム環境	セキュリティ	一定時間無操作の場合、初期画面への自動遷移や自動ログアウトが可能なこと。		新規要件	必須	市民	24		確定
15	新図書館業務	システム総合	データ環境	データの退避と復元	データのバックアップおよび復旧が可能であること。	データベースの保存を稼働中のシステムに影響しない形で自動的におこなえること。また、サーバの障害時等に復旧が可能であること。	現状同等要件	必須	市民	25		確定
16	新図書館業務	システム総合	データ環境	データの退避と復元	データのバックアップが無停止で可能であること。	データベースの保存を稼働中のシステムに影響せず、無停止で自動的におこなえること。	新規要件		両館	26		確定
17	新図書館業務	システム総合	データ環境	データの退避と復元	データの抽出が可能であること。	データベースの内容やコード情報が全てCSV形式で出力できること。	現状同等要件	必須	市民	27		確定
18	新図書館業務	システム総合	データ環境	データの退避と復元	他の図書館情報システムへのデータ移行が可能であること。	資料情報、発注情報、利用者情報、予約、貸出状況など、本システムのデータについて移行をサポートすること。	現状同等要件	必須	市民	28		確定
19	新図書館業務	システム総合	操作環境	ユーザークセス	指定する入力機器に対応していること。	スクロールマウスおよび108/109日本語キーボード、タッチパネル、点字キーボード、バーコードリーダーによる操作及び入力が可能なこと。	現状同等要件	必須	市民	33		確定
20	新図書館業務	システム総合	操作環境	バーコード対応	現在の県市の資料バーコードに対応できること。		新規要件	必須	両館	40		確定
21	新図書館業務	システム総合	操作環境	搭載機能	現在の県の利用者バーコードに対応できること。		新規要件	必須	両館	41		確定
22	新図書館業務	システム総合	操作環境	サーバ運用	サーバの自動起動・自動終了が可能なこと。		現状同等要件	必須	両館	49		確定
23	新図書館業務	システム総合	操作環境	サーバ運用	職員によるサーバの手动起動・終了が可能なこと。		現状同等要件	必須	両館	50		確定
24	新図書館業務	システム総合	操作環境	サーバ運用	NTPプロトコルにより、サーバ及び端末の自動時刻補正が可能なこと。		新規要件	必須	両館	55		確定
25	新図書館業務	システム総合	操作環境	操作研修の実施	システムの運用開始までに、職員に対して操作研修がおこなえること。		現状同等要件	必須	市民	56		確定
26	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグ仕様	ICタグを利用したシステムの運用が可能であること。	貸出返却、蔵書点検、資料管理、貸出等資料、統計作成等の各業務について運用可能なICタグシステム。	新規要件	必須	両館	57		確定
27	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグ仕様	ICタグを利用しない、バーコードのみを用いたシステムの運用も可能なこと。	県・市双方の移動図書館はICタグによる運用を行わず、バーコードのみで運用する為、バーコード対応ICタグ未対応の簡易型ハンドヘルド端末で貸出・返却処理ができること。 ・業務端末において、ICタグR/W故障時には、バーコードリーダーを用いて業務を行う。 共通仕様として、以下の条件を満たすこと。 ・ICタグは、ISO15693準拠(13.56Mhz)、非接触型、電磁誘導型とする。 ・以下の全ての機器についてICタグの複数同時読取りが可能なこと。 ・My-d、SLI-X、SLIの各チップ搭載ICタグ混在で、読取り及び書込が運滞なく可能なこと。	新規要件	必須	両館	58,663,676		確定
28	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグ仕様	ICタグライタ(R/W)は図書館情報システムを円滑に運用するために十分な性能を有すること。		新規要件	必須	市民	59		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	備考	ステータス
29	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグ仕様	ICタグとバーコードとを併用での運用ができること。		新規要件	必須	市民	60		確定
30	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダー ライタ(据置 型)	据置型リーダーライタは、図書館情報システムを円滑に運用するために十分な性能を有すること。		新規要件	必須	市民	61		確定
31	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダー ライタ(据置 型)	据置型リーダーライタは容易な交換が可能であること。	据置型リーダーライタ使用不能時の代替機利用。 (配線工事不要で汎用的なコネクタにより接続の脱着ができる、本体および周辺ケーブルの交換が可能なこと。)	新規要件	必須	市民	62		確定
32	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	BDS	ブックデザインコンソリジションシステム(BDS)によりICタグ貼付・エンコード済みの未貸出継続資料の検知が可能であること。		新規要件	必須	両館	63		確定
33	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	BDS	ブックデザインコンソリジションシステム(BDS)による未貸出継続資料の検知時から0.5秒以内に警報音による通知ができること。	警報音は音量・鳴動時間の調整が可能なこと。	新規要件	必須	両館	64		確定
34	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	BDS	ブックデザインコンソリジションシステム(BDS)による未貸出継続資料の検知時から0.5秒以内に発光による警報ができること。	また、点灯時間の調整が可能なこと。	新規要件	必須	両館	65		確定
35	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	BDS	ブックデザインコンソリジションシステム(BDS)による未貸出継続資料の検知時から0.5秒以内に発光による警報については、点灯と点滅の切り替えが可能なこと。		新規要件	必須	両館	66		確定
36	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	BDS	ブックデザインコンソリジションシステム(BDS)による未貸出継続資料の検知時から0.5秒以内に音声による警報ができること。	音声は音量・鳴動時間の調整が可能なこと。	新規要件	必須	両館	67		確定
37	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	BDS	ブックデザインコンソリジションシステム(BDS)による未貸出継続資料の検知時の音又は光による警報については、職員による手動解除が可能なこと。		新規要件	必須	両館	68		確定
38	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	BDS	ブックデザインコンソリジションシステム(BDS)による未貸出継続資料の検知時から1秒以内に管理用モニターに資料名を表示できること。		新規要件	必須	両館	69		確定
39	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	BDS	ブックデザインコンソリジションシステム(BDS)は来館者計数・分析機能を有すること。	日別、時間帯別、曜日別来館者集計が可能なこと。	新規要件		両館	70		確定
40	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダー ライタ(可搬 型)	可搬式ICタグR/Wの運用が可能であること。	蔵書点検時等に必要となる、ICタグ貼付済み資料に対して書架への排架状態のままでの読取が可能なこと。	新規要件	必須	市民	71		確定
41	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダー ライタ(可搬 型)	可搬式ICタグR/Wの手で可搬する部分(分離型の場合アンテナ部)は500g以下であること。		新規要件		両館	72		確定
42	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダー ライタ(可搬 型)	可搬式ICタグR/Wについては、IC対応HIT等との一体型又は接続により、バッテリー駆動によるケーブルレスでの運用に対応すること。	貸出返却、蔵書点検、資料管理(配架場所変更等)のバッチ処理用のファイルを作成することができること。	新規要件	必須	両館	73		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	備考	ステータス
43	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダーライタ(可搬型)	可搬式ICタグR/Wについては単体でバッテリー駆動が行える場合は、バッテリーのみの充電が可能なこと。	本体からバッテリーを着脱することが可能で、さらにバッテリーのみを単体で充電することができること。	新規要件		両館	74		確定
44	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダーライタ(可搬型)	可搬式ICタグR/Wと接続するハンドヘルド端末等については、USBによりバッテリーのみの充電ができること。	本体からバッテリーを着脱することが可能で、さらにバッテリーのみを単体で充電することができること。	新規要件	必須	両館	75		確定
45	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダーライタ(可搬型)	可搬式ICタグR/Wと接続するハンドヘルド端末等については、USBによりバッテリーのみの充電ができること。	本体からバッテリーを着脱することが可能で、さらにバッテリーのみを単体で充電することができること。	新規要件	必須	両館	76		確定
46	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダーライタ(可搬型)	可搬式ICタグR/Wと接続するハンドヘルド端末等については、無線LAN又は、Bluetoothによりバッテリーのみの充電ができること。	貸出返却、蔵書点検、資料管理(配架場所変更等)の処理が可能なこと。	新規要件		両館	77		確定
47	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	ICタグリーダーライタ(可搬型)	可搬式ICタグR/Wと接続するハンドヘルド端末等については、館内無線通信によるケーブල්レスでのリアルタイム更新に配慮すること。	貸出返却、蔵書点検、資料管理(配架場所変更等)の処理が可能なこと。	新規要件		両館	78		確定
48	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式予約受取機	セルフ式予約受取機(5000冊規模)を運用できること。	セルフ式予約受取機に組み込んだICタグR/Wにより、予約受取コーナーの書架に予約確保資料が配架されたこと、貸出と利用者への連絡が可能なこと。 また、所在を常時把握することにより、予約資料の配架場所案内機と連動して、利用者自身への配架されている棚の案内が可能なこと。	新規要件	必須	両館	79		確定
49	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式予約受取機	セルフ式予約受取機と連動した予約資料配架場所案内機を運用できること。	利用者カードのバーコードを讀み取ることで、予約しずでに確保されている資料の配架されている棚案内ができること。 また、案内用レシートの印刷が選択できること。 予約資料配架場所案内機はPC(十ハコーード)リーダー、+レシートプリンタ)で構成すること。	新規要件	必須	両館	80		確定
50	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式予約受取機	セルフ式予約受取機を設置するコーナーの出入り口において、ブックディスプレイシステム(BDS)による未貸出手続き資料の検知ができること。		新規要件		両館	81		確定
51	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式予約受取機	セルフ式予約受取機の不調・故障時の代替業務運用が可能なこと。	職員による運用でも可。	新規要件	必須	市民	82		確定
52	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式貸出機	セルフ式貸出機を運用できること。	利用者がタッチパネルで操作し、バーコードスキャナによる利用者カード讀取、ICタグR/Wによる資料貼付のICタグの讀取によりセルフでの貸出手続きが簡便にできること。	新規要件	必須	両館	83		確定
53	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式貸出機	セルフ式貸出機において、不正貸出ができない運用が可能であること。	利用者情報と貸出情報が結びつく前に、ICタグにおける未貸出資料の持ち出し防止判別用領域の更新を行わないこと。	新規要件	必須	両館	84		確定
54	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式貸出機	セルフ式貸出機において、処理した貸出資料でBDSの不正発報が起らない運用が可能であること。	利用者情報と貸出情報が結びついた後に、ICタグにおける未貸出資料の持ち出し防止判別用領域の更新漏れを起さないこと。	新規要件	必須	両館	85		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	備考	ステータス
55	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式貸出機	セルフ式貸出機において、ICタグ貼付した標準的な資料10冊程度は一度の貸出操作で貸出可能なような運用ができること。		新規要件	必須	両館	86		確定
56	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式貸出機	セルフ式貸出機において、一人の利用者による20冊の貸出が連続して可能なような運用ができること。	貸出操作は複数回になっても可。	新規要件	必須	両館	87		確定
57	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式貸出機	セルフ式貸出機の不調・故障時の代替業務運用が可能なこと。	職員による運用でも可。	現状同等要件	必須	市民	88		確定
58	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式返却機	セルフ式返却機の運用が可能であること。	利用者が資料を返却口に投入した際に返却口に設置されたICタグ/Wiにより資料貼付のICタグを認識、一次返却処理を行えること。	新規要件	必須	市民	89		確定
59	新図書館業務	システム総合	ICタグ環境	セルフ式返却機	セルフ式返却機による不正返却ができないような運用が可能であること。	利用者が資料を返却口に投入する際に、資料を離すことなく一次返却処理が行われてしまうことのないようにできること。	新規要件	必須	両館	90		確定
60	新図書館業務	システム総合	簡易型HHT	バーコードHHT	バーコード対応(ICタグ未対応)の簡易型ハンドヘルド端末(バッテリー駆動対応)にも対応すること。	貸出返却、蔵書点検、資料管理(配架場所変更等)のバッチ処理用のファイルを作成することができること。	現状同等要件	必須	両館	91		確定
61	新図書館業務	システム総合	簡易型HHT	バーコードHHT	バーコード対応(ICタグ未対応)の簡易型ハンドヘルド端末については、USBによりバッチ処理用のファイル転送ができること。		現状同等要件	必須	両館	92		確定
62	新図書館業務	システム総合	簡易型HHT	バーコードHHT	バーコード対応(ICタグ未対応)の簡易型ハンドヘルド端末(バッテリー駆動対応)については、無線LAN又は、Bluetoothによりバッチ処理用のファイル転送ができること。		新規要件		両館	93		確定
63	新図書館業務	システム総合	簡易型HHT	バーコードHHT	バーコード対応(ICタグ未対応)の簡易型ハンドヘルド端末のバッテリーについては、充電池・乾電池(単三又は単四で駆動するもの)ともに対応できること。		現状同等要件	必須	両館	94		確定
64	新図書館業務	窓口業務	利用者管理	利用者の登録	合衆前に運用を予定する共通利用カード(個人のみ発行)の利用者情報・貸出情報・予約情報等は引き継げること。		新規要件	必須	県立	247		確定
65	新図書館業務	資料管理業務	書誌情報	資料の検索	複雑な検索でも原則3秒以内に一覧の最初の表示ができること	件数だけでも先に表示し、一定件数以上は選択肢(そのまま検索する・絞り込み検索を行う・検索をやめる)を提示するか、検索中であることがユーザーにわかるよう実行中アイコン等を表示するなどの対応でも可。	新規要件	必須	県立	325		確定
66	新図書館業務	資料管理業務	書誌管理	書誌登録	既存の書誌情報を引き継げること。	合衆前の京市両館の書誌情報を使用できること。	新規要件	必須	県立	384		確定
67	新図書館業務	資料管理業務	資料整理	蔵書点検	各館蔵書点検の実施ができること。	他館蔵書の開館に影響を及ぼさないこと。	現状同等要件	必須	両館	537		確定
68	新図書館業務	その他の業務	相互貸借	相互貸借その他	合衆前の貸借履歴データを引き継げること。		新規要件		県立	576		確定
69	新図書館業務	その他の業務	レファレンス処理	レファレンス処理その他	合衆前のレファレンスデータベース内のデータを引き継げること。		新規要件		県立	599		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	備考	ステータス
70	県立移動図書館業務	県立BIM業務	データ	セキュリティ	ハンディ端末のデータのバックアップおよび復旧が可能であること。		現状同等要件	必須	県立	679		確定
71	市民移動図書館業務	システム総合	データ	セキュリティ	車載用端末・ハンディ端末のデータを暗号化して格納できること。		現状同等要件	必須	市民	678		確定
72	市民移動図書館業務	システム総合	データ	セキュリティ	車載用端末・ハンディ端末のデータのバックアップおよび復旧が可能であること。		現状同等要件	必須	市民	679		確定
73	新図書館業務	ウイルス対策ソフト			図書館内運用の全PC端末を監視するのウイルス対策ソフト運用。		新規要件	必須	市民	704		確定
74	公開系業務		WebOPAC 館内OPAC 共通	資料検索(共通)	複雑な検索でも原則3秒以内に一覧の最初の表示ができること。		新規要件	必須	両館	55		確定
75	公開系業務		館内OPAC	館内OPAC提供方式	館内OPACは全機種をタッチパネル・キーボード兼用とする。		新規要件	必須	両館	125		確定
76	公開系業務		情報提供端末(館内用)	高知新聞記事検索データベース提供	高知新聞を含み、何紙かの新聞の過去記事情報のデータベース提供。		現状同等要件	必須	両館	163		確定
77	公開系業務		情報提供端末(館内用)	全国紙記事検索DB提供	全国紙記事情報のデータベース提供。		変更要件	必須	両館	164		確定
78	公開系業務		情報提供端末(館内用)	その他データベース検索	様々な外部データベースにアクセスできる環境の提供。		新規要件	必須	両館	165		確定
79	公開系業務		情報提供端末(館内用)	デジタルアーカイブ情報提供	郷土資料等のデジタルアーカイブを館内で閲覧できること。		新規要件	必須	両館	166		確定
80	公開系業務		情報提供端末(館内用)	電子資料情報提供	電子図書を館内で閲覧できること。		新規要件	必須	両館	167		確定
81	公開系業務		情報提供端末(館内用)	インターネット閲覧端末の提供	利用者がインターネットを閲覧できる端末を提供できること。		新規要件	必須	両館	168		確定
82	公開系業務		情報提供端末(館内用)	プリンタ出力	各種情報端末で得られるデータを紙媒体で提供できる環境を用意する。(カラー印刷が前提)		現状同等要件	必須	両館	169		確定
83	公開系業務		情報提供端末(館内用)	データ出力	各種情報端末で得られるデータを情報媒体を介して提供できること。		新規要件	必須	両館	170		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能要求番号	備考	ステータス
84	公関係業務		利用者持込端末	インターネット利用端末	利用者持込端末でインターネットを閲覧できること。		新規要件	必須	両館	171		確定
85	公関係業務		利用者持込端末	全国総記事検索DB提供	利用者持込端末で全国紙記事情報のデータベース提供。		新規要件		両館	172		確定
86	公関係業務		利用者持込端末	その他データベース検索	利用者持込端末で様々な外部データベースにアクセスできる環境の提供。		新規要件		両館	173		確定
87	公関係業務		利用者持込端末	電子資料情報提供端末	利用者持込端末で電子図書館の館内閲覧ができること。		新規要件		両館	174		確定
88	公関係業務		利用者持込端末	デジタルアーカイブ情報提供	利用者持込端末で郷土資料等のデジタルアーカイブの館内閲覧ができること。		新規要件	必須	両館	175		確定
89	新図書館業務	帳票出力	統計以外帳票出力	全体に関して	システム統合(更新)前のデータを引き継ぐことができること。	システムが更新されても、過年度(システム更新前)の利用統計、蔵書統計等の出力ができるようにしたい。	新規要件		両館			確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	備考	ステータス
1	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ネットワーク機能	各業務端末間でメールの送受信が可能であること。	新図書館および分館分室間のメール機能。	新規要件	必須	両館	13		確定
2	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ネットワーク機能	各業務端末間で、チャットのようなリアルタイムでの通信ができること。		新規要件		両館	14		確定
3	新図書館業務	システム総合	LAN環境	ネットワーク機能	各業務用端末からアクセスできる共有フォルダを設置すること。		現状同等要件	必須	両館	15		確定
4	新図書館業務	システム総合	電話との連携	内線電話機能	内線電話については、業務端末からも発着信できること。		新規要件	必須	両館	99		確定
5	新図書館業務	デジタルアーカイブ	基本要件		取藏品資料のデータベースによる管理(整理、データ化)とそのWebでの公開をサポートするWebシステムを導入すること。	パッケージ(複数の博物館での導入実績があるもの)を前提とする。	新規要件	必須	市民	693		確定
6	新図書館業務	デジタルアーカイブ	基本要件		図書館からだけでなく、こども科学館からも使用・公開できること。		新規要件		両館	694		確定
7	新図書館業務	デジタルアーカイブ	情報の登録		取藏品資料の性質にに応じて、登録項目を変更できること。		新規要件		両館	695		確定
8	新図書館業務	デジタルアーカイブ	情報の登録		画像の登録が複数できること。		新規要件	必須	両館	696		確定
9	新図書館業務	デジタルアーカイブ	情報の登録		動画の登録ができること。	①動画の登録ができること ②動画の登録が複数できること。 ※①は必須とする。	新規要件	必須	両館	697		確定
10	新図書館業務	デジタルアーカイブ	情報の登録		電子データの登録ができること。	電子データの対象はMS-Officeの各ファイル、PDF、テキスト。	新規要件		両館	698		確定
11	新図書館業務	デジタルアーカイブ	情報の公開		取藏品情報のWebでの一般公開ができること。		新規要件	必須	両館	699		確定
12	新図書館業務	デジタルアーカイブ	情報の公開		資料1点について公開の設定ができること。	設定の変更は複数の資料に対して一括でもできること。	新規要件	必須	両館	700		確定
13	新図書館業務	デジタルアーカイブ	情報の公開		資料それぞれ別の項目、画像、動画ごとに公開設定ができること。	設定の変更は複数の資料に対して一括でもできること。	新規要件	必須	両館	701		確定
14	新図書館業務	デジタルアーカイブ	図書館情報システムとの連携		図書館システムと連携して、図書館システムの所蔵と相互に検索ができること。		新規要件		両館	702		確定
15	新図書館業務	電子書籍閲覧機能			電子書籍が閲覧できるシステムを提供できること。		新規要件		両館	703		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	備考	ステータス
16	公開系業務		WebOPAC	図書館ホームページからの入口の構築	webOPACで提供する各種サービスへの入口を構築すること。		現状同等要件	必須	両館	96		確定
17	公開系業務		デジタルアーカイブ	全体	webで閲覧できること。		新規要件	必須	両館	137		確定
18	公開系業務		デジタルアーカイブ	トップ画面	画像が登録されている資料がランダムに表示されること。		新規要件		両館	138		確定
19	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	登録している博物資料検索を行うことができること。		新規要件	必須	両館	139		確定
20	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	特別資料を選択して検索ができること。	貴重書・各家文書・文庫単位	新規要件	必須	両館	140		確定
21	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	条件を任意に設定し、定められた文字入力力の規則性・一致方向のもとで、目的の資料を検索できること。	①完全一致検索 ②部分(中間)一致検索 ③前方一致検索 ④後方一致検索	新規要件	必須	両館	141		確定
22	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	検索対象項目同士の論理演算ができること。	①論理積(AND) ②論理和(OR) ③否定(NOT)	新規要件	必須	両館	142		確定
23	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	資料種別や区分等の選択制の目録項目のみを指定して検索できること。	検索語を入れなくても検索できること。	新規要件	必須	両館	143		確定
24	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	検索結果に対して2次(絞り込み)検索ができること。	検索できる項目、絞り込み回数に制限がないこと。	新規要件	必須	両館	144		確定
25	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	目録を構成する各書誌的事項の各内容を対象とした任意の条件に台致する資料の検索ができること。		新規要件	必須	両館	145		確定
26	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	対象項目の入力値の有無による検索もできること。		新規要件		両館	146		確定
27	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	目録の全項目任意の条件に台致する資料の検索ができること。	任意の項目は対象外とできること。	新規要件	必須	両館	147		確定
28	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	様々な入力文字による検索が可能であること。	①漢字 ②ひらがな ③カタカナ ④英数字 ⑤その他	新規要件	必須	両館	148		確定
29	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	漢字については異体字・旧字の区別なく検索できること。		新規要件	必須	両館	149		確定
30	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	漢字については異体字・旧字の区別をつけても検索できること。		新規要件	必須	両館	150		確定

項番	業務分類	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件分類	要件レベル	要求元	関連機能 要求番号	備考	ステータス
31	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	文字数(特にタイトル等)での1文字書名が少ないときでも検索できること。		新規要件	必須	両館	151		確定
32	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	複数の単語を空白で区切るにより、空白をANDとみなし検索ができること。		新規要件		両館	152		確定
33	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	複合検索が随意にできること。		新規要件	必須	両館	153		確定
34	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	複雑な検索でも5秒以内に一覧の最初の表示ができること。		新規要件	必須	両館	154		確定
35	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	検索方法および注意事項を表示できること。		新規要件		両館	155		確定
36	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	簡易検索画面(一つの検索入力欄による検索画面)をもつこと。		新規要件		両館	156		確定
37	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料検索	資料画像のサムネイル表示ができること。		新規要件	必須	両館	157		確定
38	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料詳細画面	資料画像の表示ができること。	拡大画像(登録されていれば)の表示もできること。	新規要件	必須	両館	158		確定
39	公開系業務		デジタルアーカイブ	資料情報のダウンロード	資料一覧画面、資料詳細画面については、テキストファイル又はCSV、XMLファイルとしてダウンロードできること。	①テキストファイル ②CSVファイル ③XMLファイル	新規要件	必須	両館	159		確定
40	公開系業務		デジタルアーカイブ	URL固定化	各資料詳細画面についてはパーマリンクにより永続的にアクセスできること。		新規要件	必須	両館	160		確定
41	公開系業務		デジタルアーカイブ	API連携	インターネット経由によるアクセスにできるAPIを提供できること。	①OpenURL ②OpenSearch	新規要件	必須	両館	161		確定
42	公開系業務		デジタルアーカイブ	国立国会図書館連携	インターネット経由によるアクセスにできるAPIを提供できること。	・国立国会図書館デジタルアーカイブポータル事業によるデジタルアーカイブ情報の機械的収集に対応するためOAI-PMHへの対応を行う。	新規要件	必須	両館	162		確定

2-4. 帳票系(統計) 日本図書館協会 公共図書館調査票への対応

項番	統計項目	項目の定義	要件分類	要件レベル	備考
1	自動車図書館掲載図書冊数	自動車図書館に実際に掲載している図書の冊数	新規要件	必須	現在は分からないとのこと
2	年間受入雑誌種数(全)	指定年度に受入れた雑誌の種類数	新規要件	必須	雑誌種別一覧を帳票で出力したい(現在は年間購入何いを毎年手入力で作成している)
3	年間受入雑誌種数(うち購入)	指定年度に受入れた雑誌のうち、購入したものの種類数	新規要件	必須	購入雑誌種別一覧を帳票で出力したい
4	年間受入新聞種数(うち購入)	指定年度に受入れた新聞のうち、購入したものの種類数	新規要件	必須	新聞についても同様に一覧を帳票出力したい
5	来館者数	指定年度中に図書館に来館した来館者数(のべ)	新規要件	必須	現状の計数記は精度が悪い
6	登録者数	指定日までの個人登録の全数	変更要件	必須	登録者数に関しては現システムでは県市ともに正確な統計がとれていない
7	有効登録者数	指定年度中に図書館で貸出を一度でも行った人の実数(のべではない)	新規要件	必須	
8	自治体内有効登録者数	指定年度中に図書館で貸出を一度でも行った人のうち自治体内に住所を持つ人の実数(のべではない)	新規要件	必須	
9	自治体内貸出数	指定年度の個人貸出のうち自治体内の人に貸出した数	変更要件	必須	現在は地区(住所コード)レベルでの貸出数しかとれないため、「住所コードなし」を自治体外とみなして貸出冊数を引いて算出。
10	団体数	指定年度に貸出を一度でも行った団体の実数(のべでない)	新規要件	必須	
11	団体貸出数	BMも含み、登録している団体に対し、指定年度に貸出した一括で複数の貸出。相互貸借(エンドユーザーがあるもの)を含まない。	新規要件	必須	団体貸出中のエンドユーザーのあるなしを区別できない、物流便での貸出数を手集計している等の問題から、正しく算出することができない。
12	予約件数	予約(リクエスト)の受付件数	変更要件	必須	システムでの予約処理件数と捉えて「月一分類別(NDC)予約統計表」を利用しては、購入リクエストのみの抽出はできない。
13	相互貸借・借受数	エンドユーザーがある「相互貸借」の借受数	新規要件	必須	エンドユーザーのあるなしを区別できない(例:展示用に借りた資料も含まれてしまう)
14	相互貸借・貸出数	エンドユーザーがある「相互貸借」の貸出数	新規要件	必須	エンドユーザーのあるなしを区別できない(例:展示用に貸出した資料も含まれてしまう)
15	参考業務受付件数	「事項」および「所蔵」の問い合わせの総件数・「出納」の総冊数(一般/児童/郷土の総計)	新規要件	必須	システムにてシリアルズカウントができるようにしたい。

2-4. 帳票系(統計) 日本図書館協会 公共図書館調査票への対応

項番	統計項目	項目の定義	要件分類	要件レベル	備考
16	図書費決算額	実際の決算額を出せるようにしたい	新規要件	必須	現在は本体価格を書誌から引用して計算されているため、実際に支払った額は分らない(書誌の時点と価格が変化した場合の修正や、消費税の計算を手で行っている)
17	雑誌新聞費決算額	実際の決算額を出せるようにしたい	新規要件	必須	上記に同じ
18	視聴覚資料費決算額	実際の決算額を出せるようにしたい	新規要件	必須	上記に同じ
19	BM資料費決算額	実際の決算額を出せるようにしたい	新規要件	必須	上記に同じ
20	その他の資料費決算額	実際の決算額を出せるようにしたい	新規要件	必須	上記に同じ
21	随時的資料費決算額	実際の決算額を出せるようにしたい	新規要件	必須	上記に同じ

2-5. 帳票系(統計) 日本図書館協会 公共図書館調査票以外への対応

項番	帳票名	帳票詳細	集積	集積	集積	要件レベル	要件分類	備考
1	利用統計日報(時間帯別利用統計表)	任意の1日の時間帯別利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	時間帯(15区分程度、30分単位で指定できること)別+合計	資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、利用者実数・のべ数、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)	必須	変更要件	タイトルには年月日に加え曜日も記入すること	
2	利用統計月報(日別利用統計表)	任意の1月の日別利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	日別+合計	資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、利用者実数・のべ数、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)	必須	変更要件	曜日を記載すること	
3	利用統計年報(月別利用統計表)	任意の1年の月別利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	月別+合計	開館日数、資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、利用者実数・のべ数、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)	必須	変更要件		
4	利用区分別利用統計表	任意の期間(月単位)の利用状況(処理館・処理カウンターを任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	利用区分別+合計	資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)		新規要件	期間中の開館日数を表示できること	
5	年齢帯別利用統計表	任意の期間(月単位)の利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	年齢帯別+合計	資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)		新規要件	期間中の開館日数を表示できること	
6	高知市内地区別利用統計表	任意の期間(月単位)の利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	大街名-地区名(郵便番号)+大街道ごとの小計+合計	資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)		新規要件	期間中の開館日数を表示できること	
7	市町村別利用統計表	任意の期間(月単位)の利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	各市町村名+その他(県外)+合計	資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)		新規要件	期間中の開館日数を表示できること	
8	曜日別利用統計表	任意の期間の曜日別利用状況(処理館・処理窓口・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	曜日(月・火・水・木・金・土・日)	資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)	必須	新規要件		
9	曜日時間帯別利用統計表	任意の期間の曜日時間帯別利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	曜日(月・火・水・木・金・土・日)-時間帯	資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)	必須	新規要件		
10	分類別利用統計表	任意の期間の分類別利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	自館請求記号(NDG)次区分、2次区分、3次区分ごとに区切り・小計を入れること	利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、利用者のべ数	必須	現状同等要件		
11	所蔵場所別利用統計表	任意の期間の所蔵場所別利用状況(所蔵館・利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	所蔵館各場所区分	利用点数(貸出点数・館内閲覧点数・返却点数・予約点数・延長点数)、利用者のべ数		新規要件		
12	市BMSターミネーション別利用統計表	任意の期間(月単位)の利用状況(利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	ステーション別+合計	巡回回数、資料区分別(+合計)の利用点数(貸出点数・返却点数)、利用者実数・のべ数、登録者数(新規・更新・再発行・更新切・抹消・仮登録)<いずれものべ数>		新規要件		
13	県BMS市町村別利用統計表	任意の期間(月単位)の利用状況(利用区分を任意に選択<全選択もできること>として指定できること)	市町村別+合計	「貸借館コード」別に利用団体のべ数、利用点数(貸出点数・返却点数)		新規要件	現在は手作業	

2-5. 帳票系(統計) 日本図書館協会 公共図書館調査票以外への対応

項番	帳票名	帳票詳細	種別	横軸	縦軸	要件レベル	要件分類	備考
14	団体利用統計表(団体別貸出統計表<貸借種別>)	任意の期間の団体名別利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分および「貸借種別」を任意に選択し、貸借種別を任意に指定できること)	団体名	資料区分別(合計)の利用点数(貸出点数・予約点数)		必須	変更要件	「利用区分」および「貸借種別」に出力して利用する(例:利用区分「教育機関」・「貸借種別」高専について、どの利用高校が、どれくらい利用しているのかを調べる)
15	月別開館日数一覧表	任意の期間(年単位)の月ごとの開館日数10年間合計	月	開館日数		必須	変更要件	現状、単独メニューは無し(他の帳票中の記載を拾う形)
16	年齢帯・高知市内地区別登録者統計月報	任意の月の登録住所(高知市内地区)別の年齢別登録者数(登録・更新館、利用区分、利用者ステータス区分を任意に選択し、年齢帯を任意に指定できること)	大街名・地区名(郵便番号)	各年齢帯ごとの登録者数		必須	変更要件	※過去の月は月末時点の登録者数を、当月は前日時点の登録者数を出す
17	年齢帯・一市町村別登録者統計月報	任意の月の登録住所(県内市町村)別の年齢帯別登録者数(登録・更新館、利用区分、利用者ステータス区分を任意に選択し、年齢帯を任意に指定できること)	各市町村名+その他(県外)	各年齢帯ごとの登録者数		必須	変更要件	※過去の月は月末時点の登録者数を、当月は前日時点の登録者数を出す
18	年齢帯・都道府県別登録者統計月報	任意の月の登録住所(都道府県)別の年齢帯別登録者数(登録・更新館、利用区分、利用者ステータス区分を任意に選択し、年齢帯を任意に指定できること)	各都道府県名+その他	各年齢帯ごとの登録者数		必須	変更要件	※過去の月は月末時点の登録者数を、当月は前日時点の登録者数を出す
19	性別・年齢別登録者統計月報	任意の月の年齢別、性別別登録者数(登録・更新館、利用区分、利用者ステータス区分を任意に選択し、性別・年齢帯を任意に指定できること)	年齢(0歳~120歳、その他)	性別ごとの登録者数		必須	新規要件	※過去の月は月末時点の登録者数を、当月は前日時点の登録者数を出す
20	団体別登録者年報	任意の年の団体登録者数(登録・更新館、利用区分、利用者ステータス区分を任意に選択し、年齢帯を任意に指定できること)	月別+合計	前月末登録者数、今月新規登録者数、再発行登録者数、期限切れ登録者数、抹消登録者数、登録者合計、利用回数延べ数・突数			新規要件	
21	年齢・分類別貸出統計表	任意の期間(月単位)の年齢別・性別別の分類別貸出件数(処理館・処理カウンター・利用区分・資料区分を任意に選択し、年齢・性別を任意に指定できること)	年齢請求記号(NDC1次区分、2次区分、3次区分ごとに区切り・小計を入れること)	年齢帯・性別ごとの貸出件数		必須	変更要件	
22	月・分類別貸出統計表	任意の期間(月単位)の月別の分類別貸出件数(処理館・処理カウンター・利用区分・資料区分を任意に選択し、年齢帯を任意に指定できること)	年齢請求記号(NDC1次区分、2次区分、3次区分ごとに区切りを入れること)	月ごとの貸出冊数		必須	変更要件	
23	月・分類別貸出統計表(詳細)	任意の期間(月単位)の月別の分類別貸出件数(処理館・処理カウンター・利用区分・資料区分・NDC区分範囲を任意に選択し、年齢帯を任意に指定できること)	年齢請求記号(指定範囲のNDC全区分を出力する)	月ごとの貸出冊数		必須	変更要件	
24	年齢帯・高知市内地区別貸出統計表	任意の期間の登録住所(高知市内地区)別・年齢帯・性別別の貸出件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択し、年齢帯を任意に指定できること)	大街名・地区名(郵便番号)	年齢帯・性別ごとの貸出件数			変更要件	※現在のシステムでは出せるが、郵便番号ごとで集計が煩雑なため活用が難しい
25	年齢帯・一市町村別貸出統計表	任意の期間の登録住所(県内市町村)別・年齢帯・性別別の貸出件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択し、年齢帯を任意に指定できること)	各市町村名+その他(県外)	年齢帯・性別ごとの貸出件数			変更要件	※現在のシステムでは出せるが、郵便番号ごとで集計が煩雑なため活用が難しい

2-5. 帳票系(統計) 日本図書館協会 公共図書館調査票以外への対応

項番	帳票名	帳票詳細	種別	種別	横軸	要件レベル	要件分類	備考
26	資料区分一高知市内地区別貸出統計表	任意の期間の登録住所(高知市内地区)別・資料区分別の貸出件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択)全選択もできること>>として指定できること	大街名-地区名(郵便番号)	資料区分ごとの貸出件数		変更要件	※現在のシステムでは出せるが、郵便番号ごとで集計が煩雑なため活用が難しい	
27	資料区分一市町村別貸出統計表	任意の期間の登録住所(県内市町村)別・資料区分別の貸出件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択)全選択もできること>>として指定できること	各市町村名+その他(県外)	資料区分ごとの貸出件数		変更要件	※現在のシステムでは出せるが、郵便番号ごとで集計が煩雑なため活用が難しい	
28	分類一高知市内地区別貸出統計表	任意の期間の登録住所(高知市内地区)別・資料区分別の貸出件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択)全選択もできること>>として指定できること	大街名-地区名(郵便番号)	分類(NDC1次区分)ごとの貸出冊数		変更要件	※現在のシステムでは出せるが、郵便番号ごとで集計が煩雑なため活用が難しい	
29	分類一市町村別貸出統計表	任意の期間の登録住所(県内市町村)別・資料区分別の貸出件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択)全選択もできること>>として指定できること	各市町村名+その他(県外)	分類(NDC1次区分)ごとの貸出冊数		変更要件	※現在のシステムでは出せるが、郵便番号ごとで集計が煩雑なため活用が難しい	
30	館別返却統計表	任意の期間の返却件数を表示	館室名(処理館)	館室名(所蔵館)	必須	新規要件		
31	回送統計表	任意の期間の回送件数を表示	館室名(発送館)	館室名(受取館)	必須	新規要件		
32	督促月報	任意の1月の督促件数を表示	利用区分別+合計	督促手段別の督促者実数・督促回数・冊数+合計		新規要件		
33	督促年報	任意の1年の督促件数を表示	利用区分別+合計	督促手段別の督促者実数・督促回数・冊数+合計		新規要件		
34	予約手段別予約統計表	任意の期間の予約手段ごとの、予約利用件数(利用区分を任意に選択)全選択もできること>>として指定できること	各予約手段	利用区分ごとの予約件数(うち未所蔵への予約)・予約資料貸出点数(うち未所蔵購入分、うち相貸分)・貸出のべ人数		新規要件		
35	年齢一分類別予約統計表(予約手段ごと)	任意の期間の予約手段ごとの、分類・年齢帯・性別別予約件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択)全選択もできること>>として指定できること	資料区分ごとの自館分類(NDC1次区分)	年齢帯・性別ごとの予約件数		変更要件	※現在のシステムでは出せるが、活用していない	
36	月一分類別予約統計表(予約手段ごと)	任意の期間(月単位)の月別の分類・予約手段および予約種類別予約件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択)全選択もできること>>として指定できること	資料区分ごとの自館分類(NDC1次区分)	月ごとの予約手段および予約種類別予約件数(※予約種類は2種類(所蔵予約、未所蔵予約)ごとの件数)	必須	変更要件	キャンセルされた予約も、同じ本にかかった予約も全て1予約1件としてカウントしたい。	
37	年齢帯一高知市内地区別予約統計表	任意の期間の予約手段ごとの、登録住所(高知市内地区)別・年齢帯・性別別予約件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択)全選択もできること>>として指定できること	大街名-地区名(郵便番号)	年齢帯・性別ごとの予約手段別予約件数		変更要件	※現在のシステムでは出せるが、郵便番号ごとで集計が煩雑なため活用が難しい	
38	年齢帯一市町村別予約統計表	任意の期間の予約手段ごとの、登録住所(県内市町村)別・年齢帯・性別別予約件数(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択)全選択もできること>>として指定できること	各市町村名+その他(県外)	年齢帯・性別ごとの予約手段別予約件数		変更要件	※現在のシステムでは出せるが、郵便番号ごとで集計が煩雑なため活用が難しい	

2-5. 帳票系(統計) 日本図書館協会 公共図書館調査票以外への対応

項番	帳票名	帳票詳細	集計	集計	集計	要件レベル	要件分類	備考
39	展示統計表(年報)	任意の年度に実施した展示資料群ごとの、展示冊数と展示本の利用状況	展示場所+所蔵場所変更日 ~所蔵場所再変更日	資料区分(図書についてはNDC1桁ごと)ごとの展示冊数/利用者数(のべ)/貸出冊数(のべ)			新規要件	展示資料(展示場所に所蔵場所を一括ハッチ変更して、展示期間終了後回収場所を一括ハッチ処理で戻す)資料群について、所蔵場所変更日および展示場所ごと(つまり実施・展示ごと)に、展示冊数・貸出冊数・利用者数の統計がとれるようにしたい。
40	レファレンス統計表(日報・月報・年報)	任意の期間の任意の館における、カウンター別のレファレンス受付状況(時間帯別・日別・月別が指定できること)とその合計	任意指定 (時間帯別・日別・月別)+合計	カウンター別のレファレンス種別(郷土/一般/児童)ごとの事項レファレンス/所蔵レファレンスの件数とその合計			新規要件	カウンターごとのレファレンス件数(「一般」「児童」「郷土」それぞれ「事項」「所蔵」問合件数)を一覧できるようにしたい(ただし、どうカウントするか)
41	出納・館内閲覧統計表(日報・月報・年報)	任意の期間の任意の館における、カウンター別の出納状況(時間帯別・日別・月別が指定できること)とその合計	任意指定 (時間帯別・日別・月別)+合計	カウンター別の出納件数(館内閲覧処理数と開架資料出納分とその合計)			新規要件	カウンターごとの出納冊数を一覧でできるようにしたい。(ただし、在庫資料はシステムでチェックできるが、開架資料の出納をどうカウントするか)
42	OPAC統計表(日報・月報・年報)	任意の期間の任意の館における、OPAC別(各館室別+Web)の検索・延長・予約回数(時間帯別・日別・月別が指定できること)とその合計	任意指定 (時間帯別・日別・月別)+合計	各館室別館内OPAC+WebOPAC		必須	新規要件	
43	高知市利用統計L(本館)	月報(登録者・利用者・貸出冊数の当月、年累計、前年の数)を出力	登録者・利用者・貸出冊数の 当月、年累計、前年の数	各カウンター別、利用者の属性(成人・子ども)別		必須	現状同等要件	
44	高知市利用統計L(分館)	月報(登録者・利用者・貸出冊数の当月、年累計、前年の数)を出力	登録者・利用者・貸出冊数の 当月、年累計、前年の数	各分館別、利用者の属性(成人・子ども)別		必須	現状同等要件	
45	高知市利用統計L(分室)	月報(登録者・利用者・貸出冊数の当月、年累計、前年の数)を出力	登録者・利用者・貸出冊数の 当月、年累計、前年の数	各分室別、利用者の属性(成人・子ども)別		必須	現状同等要件	
46	高知市利用統計L(移動図書館)	月報(登録者・利用者・貸出冊数の当月、年累計、前年の数)を出力	登録者・利用者・貸出冊数の 当月、年累計、前年の数	利用者の属性(成人・子ども)別		必須	変更要件	
47	高知市利用統計L(視聴覚詳細)	月報(登録者・利用者・貸出冊数の当月、年累計、前年の数)を出力	登録者・利用者・貸出冊数の 当月、年累計、前年の数	取扱館別		必須	現状同等要件	
48	相互貸借統計表	任意の期間(月単位)の貸借館コード別利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分を任意に選択できること)	貸借館コード	分類別(NDC1次区分)の利用点数(貸出点数<エンドユーザあり、なし>・借受点数)+合計		必須	新規要件	
49	相互貸借詳細統計表	任意の期間(月単位)の相貸館名別利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分および貸借館コードを任意に選択できること)	相貸館名	分類別(NDC1次区分)の利用点数(貸出点数<エンドユーザあり、なし>・借受点数)+合計		必須	新規要件	
50	分類別相互貸借詳細統計表	任意の期間(月単位)の相貸館名別分類別利用状況(処理館・処理カウンター・利用区分および貸借館コードを任意に選択できること)	各貸借館への貸出冊数/返却冊数	1)資料区分ごとの分類(NDC1次区分~3次区分で設定可能であること) 2)分類ごと(NDC1次区分)の資料区分 ※1、2は出力を選択できること ※貸出資料については自館分類、借受資料については借受館の分類に基づくと。		必須	新規要件	※現在は手作業で集計

2-5. 帳票系(統計) 日本図書館協会 公共図書館調査票以外への対応

項番	帳票名	帳票詳細	縦横	横横	要件レベル	要件分類	備考
51	分類別蔵書統計月報	任意の月の所蔵館(所蔵館を任意に選択して指定できること)における、自館分類別の蔵書冊数と金額(金額の表示の有無は選択できること)	資料区分ごとの分類(NDC1次区分~3次区分で設定可能であること) + 合計	期間前月の月末時点の冊数、期間最終月の月末時点の蔵書冊数、購入金額(表示を選択できること)	必須	変更要件	※過去の月は月末時点の資料数を、当月は前日時点の資料数を出す
52	館別蔵書統計月報	任意の月の各館における、自館分類別の蔵書冊数	各館名 + 合計	分類(NDC1次区分)ごとの期間前月の月末時点の冊数、期間最終月の月末時点の蔵書冊数、期間中の受入<購入/寄贈>/除籍/変更/の冊数	必須	変更要件	各館の蔵書構成の状況を一覧するため ※過去の月は月末時点の資料数を、当月は前日時点の資料数を出す
53	場所別蔵書統計月報	任意の期間(月単位)の所蔵館(所蔵館を任意に選択して指定できること)における、場所区分別の蔵書冊数	所蔵館各場所区分 + 合計	分類(NDC1次区分)ごとの期間前月の月末時点の冊数、期間最終月の月末時点の蔵書冊数、期間中の受入<購入/寄贈>/除籍/変更/の冊数		新規要件	※過去の月は月末時点の資料数を、当月は前日時点の資料数を出す
54	資料ステータス別蔵書統計表	任意の時点の所蔵館(所蔵館を任意に選択して指定できること)における、使用種別ごとの資料ステータス別の蔵書冊数	資料種別	資料ステータス区分		新規要件	
55	除籍理由統計表	任意の期間に除籍された資料の除籍理由の統計(所蔵館を任意に選択して指定できること)	資料種別	除籍理由		新規要件	
56	蔵書集計表(設定による)	指定した期間の、指定した館における、設定した項目ごとの、支払金額と購入冊数 ※設定可能項目※ 所蔵館/所蔵場所/資料区分/ステータス区分/受入区分/予算区分/受入先(書店名)/資料コード(○番~○番)/受入日/ロケーション/変更日/ステータス変更日	下記より選択可能 資料区分/統計分類/ステータス区分/ステータス変更日/ロケーション/変更日/受入日/予算区分/優先注先/分類(7桁まで設定可能)	下記より選択可能 ステータス区分/資料区分/統計分類/優先注先/分類(7桁まで設定可能)		変更要件	受入書店別に支払金額と購入冊数の出力ができること。資料区分や分類を指定できること。(現在は書籍の本体価格から支払い金額が計算されているため、実際と異なり使用できない)
57	ブース統計表(日報・月報・年報)	任意の期間の任意のブースにおける、ブースの利用・予約回数(時間帯別・日別・月別)が指定できることと利用時間数	任意指定 (時間帯別・日別・月別) + 合計	各ブース + 合計	必須	新規要件	

2-6. 帳票系(統計以外)

項番	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件レベル	要件分類	備考
1	窓口	カウンター (利用登録のチェック)	利用者管理 (利用者リスト)	利用者管理 (利用者リスト)	・登録日・登録窓口・利用区分・有効期限・利用者カテ・利用者番号、住所コード、長期未利用、利用者状態区分(有効・無効・期限切れ・再発行・仮登録)の項目について、単独もしくは組み合わせて検索できるようにする。またその際、バーコード出力の有無、および利用者番号順・氏名順のいずれにおいても出力できること。 ・出力項目は、個人情報保護に配慮されていること。(原則、「氏名」欄を空欄とすることができる。但し、権限を持つユーザのみ「氏名」欄を出力できる職員を限定できること。	必須	変更要件	
2	窓口	カウンター (利用登録のチェック)	利用者管理	利用者コメントリスト	利用者コメント(利用者通知)が入っている利用者、及び、コメント内容をリストが出力できること。	新規要件		
3	窓口	カウンター (利用登録のチェック)	利用者管理	利用者登録確認リスト	利用者登録の際、漢字氏名などの未入力があるものリストが出力できること。	必須	現状同等要件	
4	窓口	カウンター (未所蔵本のリクエスト受付等に利用)	資料検索	書籍シート	カウンター用端末からは、未所蔵の書籍についても、書籍情報のシートが出力できること。 書名、巻号、著者、出版社に加え、出版年、版、ISBN、NDC、定価(または税込価格)の表示を。タイトルコード(書籍コード)のバーコードを印刷すること。	必須	変更要件	
5	窓口	カウンター (利用者が所蔵本の出納等に利用)	資料検索	所蔵シート (市:所蔵資料確認票)	利用者用OPACから所蔵本のレシートを出力できること。書名、巻号、著者、出版社、出版年、版、ISBN、請求記号、所蔵場所の表示を。タイトルコード(書籍コード)のバーコードを印刷すること。 職員用の出納票が出力できること。	必須	変更要件	
6	窓口	カウンター (職員が所蔵本の出納等に利用)	資料検索	所蔵シート (市:出納票)	書名、巻号、著者、出版社、ページ数、大きさに加え、出版年、版、ISBN、請求記号、所蔵場所の表示を。 資料番号コードのバーコードを印刷すること。	必須	変更要件	
7	窓口	カウンター (団体貸出時に利用)	貸出管理	貸出資料一覧 (貸出リスト)	・利用者ごとに貸出資料の一覧(詳細:資料No/資料名/雑誌巻号/所蔵館/請求記号/貸出日/返却予定日/予約有無)を出力できること。帳票作成画面に利用者検索機能があること。 ・貸出資料は全部、もしくは複数条件のかけあわせ(例:貸出日/返却予定日)により抽出可能であること。抽出した貸出資料は複数条件で容易にソートすることができ(例:所蔵場所×請求記号×資料名順)、かつソート条件が出力した帳票に記載されること。 ・出力項目のうち、自館の請求記号および雑誌巻号に関しては、全て見えるように印刷されること。	必須	変更要件	
8	窓口	カウンター (個人貸出時に利用)	貸出管理	貸出シート	・利用者ごとに貸出資料の一覧(簡易:資料No/資料名/返却日)を、貸出画面から容易に出力できること。本日貸出分と全貸出分いずれかを選んで出力できること。 ・載せる文面や字の大きさなどを職員が簡単に設定できること。	必須	変更要件	
9	窓口	カウンター (視聴覚室業務に利用)	貸出管理	館内貸出	館内貸出(書庫資料等の館内貸出)のデータを出力できること。	新規要件		
10	窓口	カウンター (市のBMM返却本管理に現在利用)	貸出管理	返却一覧リスト	返却された資料の一覧が出力できること。	必須	現状同等要件	
11	窓口	カウンター (返却処理)	返却処理	回送票(レシート)	他館所蔵の資料が返却されたとき、資料の返却先を表示したレシートを出力すること。	必須	現状同等要件	
12	窓口	カウンター (問合せ対応)	利用統計	ベストリーダー (貸出ベスト)	館外貸出の回数だけをカウントすること。	必須	現状同等要件	

2-6 帳票系(統計以外)

項番	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件レベル	要件分類	備考
13	窓口	カウンター (問合せ対応)	利用統計	ベストリクエスト (予約ベスト)	・資料バーコードを読み取って蓄積した書誌データの一覧を、複数のブックリスト定型から様式を選択して印刷でき、かつ修正可能なデータとして保存できること。 ・展示中の本に「展示中」ステータスを容易に付与でき、展示ごとに一覧を出力できること。 ・請求記号順・ステータス設定日順などで、一覧を並び替えることができること。	必須	現状同等要件	
14	窓口	カウンター (展示)	展示	展示中の本の一覧を容易に出力できること			新規要件	
15	窓口	督促	貸出管理	督促資料一覧	督促対象資料を利用者ごとにまとめたリストが出力できること。 ・条件設定により該当者を指定し、指定形式に宛名・資料NO等が印刷されたハガキを印刷できること。 ・様式の文面は職員が変更できること。 例1: 期限より2週間以上返却がない利用者を抽出し、出力。 例2: 利用者番号を指定して指定した利用者に対し督促状を出力。	必須	現状同等要件	
16	窓口	督促	貸出管理	督促はがき		必須	変更要件	
17	窓口	督促	貸出管理	予約督促資料一覧	・予約が入っている督促資料について、一覧を出力できること。 ・帳票に印刷される項目は個人情報保護に配慮した最低限のものとし、「資料コード」「資料名」「著者名」「利用者番号」「貸出日」「返却期限日」、十分な余白があること。	必須	現状同等要件	
18	窓口	弁償	貸出管理	弁償依頼票	・紛失・損傷の処理を行った貸出中資料について、利用者向けに弁償依頼票を出力できること。載せる文面や字の大きさなどを職員が簡単に設定できること。 ・紛失資料の隣接同様の文言を追加できること。	必須	変更要件	
19	窓口	弁償	貸出管理	資料弁償対象一覧表	弁償対象となっている資料の一覧表を出力できること。		現状同等要件	
20	窓口	予約	予約管理	予約資料一覧	予約されている資料の一覧が条件設定(例: 予約処理期間や予約処理館)により抽出でき、一覧をソート可能(例: 予約番号)であること。	必須	現状同等要件	
21	窓口	予約	予約管理	予約連絡一覧表	予約連絡が必要な利用者のリストが条件設定(例: 連絡方法・受取館)により出力でき、一覧をソート可能(例: 取置期限)であること。	必須	現状同等要件	
22	窓口	予約	予約管理	予約連絡はがき	・ハガキ運着を希望した利用者宛に、予約確保済みの資料について知らせるハガキを印刷できること。 ・文面等を自由に職員が変更できること。		変更要件	
23	窓口	予約	予約管理	リクエスト資料一覧	条件設定により利用者を指定し、利用者ごとに予約リクエスト状況の一覧を印刷できること(予約中/リクエスト中/相互貸借依頼中/確保済みなど)	必須	現状同等要件	
24	窓口	予約	予約管理	予約状態確認リスト(未処理/不明返信)	条件設定により予約資料を指定し、その状態を出力できること。	必須	現状同等要件	
25	窓口	予約	予約管理	予約確保レシート	予約のかがった着料が返却されたときに、資料NO・資料名・予約者名・予約方法等が記載されたレシートが自動的に出力されること。	必須	現状同等要件	
26	窓口	予約	予約管理	予約回送票(レシート)	他館で受取を希望する資料が返却されたとき、受取希望館・資料番号・資料名・予約者名・予約方法等が記載されたレシートが自動的に出力されること。	必須	現状同等要件	
27	窓口	予約 (自館・及び他館からの予約を含む在架予約)	予約管理	予約在架資料一覧	・条件設定により在架予約資料の一覧が出力できること。資料NO・資料名・雑誌巻号・所蔵場所・請求記号・大きさが表示されること。 ・一覧は容易にソート可能であること(例: 請求記号順)。 ・所蔵館に対する予約資料の確保依頼資料リストが出力できること。	必須	現状同等要件	

2-6. 帳票系(統計以外)

項番	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件レベル	要件分類	備考
28	窓口	予約	予約管理	予約取消一覧	取消をした予約の一覧が確認できること(予約取消処理時に利用)。	必須	現状同等要件	
29	窓口	予約	予約管理	予約取消期限リスト	取消期限を指定し、その日までの貸出されていない予約本のチェックをするためのリストが出力できること。	必須	現状同等要件	
30	窓口	予約	予約管理	予約待ち注文確認リスト	予約待ちの資料の注文状態を確認するためのリストが出力できること。 リクエストを受けて発注した本の状況確認のために利用。(発注待ち、発注中、発注後2週間以上未納品など)	必須	現状同等要件	
31	窓口	予約/督促	自動送信メールの管理	メール不達リスト	予約メール等、自動で送られるメールについて、不明返信されたメールのリストが出力できること。	必須	新規要件	
32	窓口	予約	予約管理	予約状況レシート(予約状況票)	①その時の予約資料 ②当日予約資料 ③全予約資料 ※ ①が可能なら②は不要	必須	現状同等要件	
33	窓口	カウンター(建書等に利用)	資料管理	複本リスト	条件設定により抽出した書誌について、複本があるもののリストを出力できること。 ・書誌番号・資料番号を出力すること。	必須	新規要件	
34	窓口	カウンター(建書等に利用)	資料管理	長期未利用資料リスト	条件設定により、長期未利用されていない資料のリストを出力できること。 発行年と組み合わせ、除簿等のための参考資料として使用する。(除簿候補リスト)	必須	新規要件	
35	窓口	その他	資料管理	視聴費資料目録	視聴費資料の目録を資料所属種別・資料種別(GD・DVD等)・タイトル・演者者50音順に表示し、印刷できること。	必須	現状同等要件	
36	窓口	その他	レファレンス処理	レファレンスデータベース	レファレンスデータの検索結果を出力できること。	必須	新規要件	
37	注文/受入/資料管理/書誌管理/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	資料管理	該当資料リスト ※「新着資料一覧表」「除籍資料一覧表」「未所変更資料一覧表」「無効資料一覧表」「未利用資料一覧表」「資料コメントリスト」「長期延滞資料リスト」 「受入リスト」「図書原簿」「図書原簿(内容一覧)」など	該当資料リストについては、帳票出力時に対象データ項目の選択、及び、抽出条件を選択可能とすることにより、柔軟なクエリを出力できること。また、左記に記載している条件以外にも「○○分館に所属していない資料」や「○○分館のみ所蔵」という条件でもデータ抽出できること。	必須	変更要件	
38	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	資料管理	※上記のものについては必須 雑誌番号一覧表	番号が全て見えるように印字されていることに加え、受入日の表示もあること。	必須	変更要件	
39	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	資料管理	雑誌タイトル一覧表 (基本書誌レベル)	雑誌種別一覧を帳票で出力できること。 ※現在は年間購入回数を毎年手入力で作成	必須	新規要件	
40	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	資料管理	受入雑誌一覧表 (所蔵館および券号ごと) 受入新聞一覧表	指定年度に入入れた雑誌の種類について、購入/寄贈ごとにタイトルを一覧でき、かつタイトル数が集計されていること。	必須	新規要件	
41	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	選書一覧表 (選定資料一覧)	出力項目が選択でき、エクセル形式で出力可能であること(データでの利用頻度が高いがCSVが不便なため)。	必須	変更要件	

2-6. 帳票系(統計以外)

項番	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件レベル	要件分類	備考
42	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	発注一覧表 (注文確認リスト)	出力項目が選択でき、エクセル形式で出力可能であること(データでの利用頻度が高いがCSVが不便なため)。	必須	変更要件	
43	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	未納資料一覧表	発注先ごとに納入予定日・発注状態等を設定して未納資料一覧が出力可能であること。	必須	現状同等要件	
44	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	TRC発注データ抽出	発注データを抽出してデータの受け渡しができること。(Tool連携)	必須	現状同等要件	
45	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	MARCデータ	MARCデータをデータとして出力できること。	必須	新規要件	
46	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	新刊マークリスト	新規登録されたタイトルの一覧が出力できること。		現状同等要件	
47	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	マーク登録重複チェックリスト	同じマークを持つタイトル(書誌割れしたタイトル)の一覧が出力できること。	必須	現状同等要件	
48	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	入力確認リスト	登録されている書誌情報をタテ単位で詳細が出力できること。 ※タグ一覧等画面等で出力できればハードコピーを出力すればいいかもしれない。		現状同等要件	
49	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	典拠リスト	典拠情報の整理のため典拠リストが出力できること。	必須	現状同等要件	
50	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	新着雑誌一覧表	特定の抽出条件に該当する新着雑誌一覧が出力できること。		現状同等要件	
51	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	同定書誌候補一覧	重複書誌を減らすため、同一であると思われる書誌の候補を一覧表示したい(書名・著者名・出版社名・版年月が同じものから、親・ISBNで絞り込みをしたい)。また、同項目内のデータが重複しているものを自動抽出できること。	必須	現状同等要件	
52	注文/受入/資料管理/書誌管理	注文/受入/資料管理/書誌管理	収書管理	注文短冊	注文短冊を出力できること。		現状同等要件	
53	相互貸借	相互貸借	相互貸借	相互貸借履歴一覧表 (借受資料リスト)	相互貸借している資料のリストが出力できること。		現状同等要件	
54	相互貸借	相互貸借	相互貸借	相互貸借貸出票(貸出通知書)		必須	現状同等要件	
55	相互貸借	相互貸借	相互貸借	相互貸借返却票(返却通知書)		必須	新規要件	
56	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検不明予定資料一覧	蔵書点検の結果、「不明候補」を出力する確認リストが出力できること。 ※「不明候補」:蔵書点検でヒットしなかった資料(不明処理は未処理)		現状同等要件	
57	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検不明資料一覧	蔵書点検によって「不明」となった資料の一覧が出力できること。 ※「不明」:不明候補の資料を不明処理したもの(不明処理処理済み)	必須	現状同等要件	

2-6 帳票系(統計以外)

項番	業務	大項目	小項目	要件概要	要件詳細	要件レベル	要件分類	備考
58	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検エラーリスト POT更新(未登録資料一覧/所蔵館違い/配架場所違い/状態区分違い/貸出結果リスト(貸出中ステータスなどに存在する)/返却確認リスト(返却済みステータスなどに存在する)/エラーリスト)	蔵書点検及びPOT更新の際のエラーリスト。未登録資料/所蔵館違い/配架場所違い/状態区分違い/予約の有無等についてチェックできること。	必須	現状同等要件	
59	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検除籍予定資料一覧		必須	現状同等要件	
60	蔵書点検	蔵書点検	蔵書点検(市)	蔵書点検順番リスト	蔵書点検の際、POTに入っている資料番号をPOT順・読み取り順に並べたリストが出力できること。	必須	現状同等要件	

[別紙]蔵書の取り扱いについて

●蔵書の扱いについて

所有 所蔵館(版) 資料コード(種名) 資料コード(行名) ハニコード(種名) ハニコード(色) ICタグ貼付予定 図書ラベル(書ラベル)	県立図書館		県立図書館		市民図書館		市民図書館	
	新図書館資料 一般 県 新図書館 10桁 県立図書館 えんじ えんじ 青	県立図書館 一般 県 県立図書館 10桁 県立図書館 えんじ えんじ 青	新図書館資料 一般 市 新図書館 10桁 市民図書館 青 赤	新図書館資料 児童 市 新図書館 10桁 市民図書館 青 赤	分館分室資料 市 各分室	市BM資料 市 市BM		
	新図書館資料 一般 県	県立図書館 一般 県	新図書館資料 一般 市	分館分室資料 市	市BM資料 市			
	新図書館 10桁 県立図書館 えんじ えんじ 青	県立図書館 10桁 県立図書館 えんじ えんじ 青	新図書館資料 児童 市 新図書館 10桁 市民図書館 青 赤	分館分室資料 市 各分室	市BM資料 市 市BM			
	10桁 県立図書館 えんじ えんじ 青	10桁 県立図書館 えんじ えんじ 青	10桁 市民図書館 青 赤	10桁 市民図書館 青 赤	10桁 市民図書館 青 赤			
	10桁 県立図書館 えんじ えんじ 青	10桁 県立図書館 えんじ えんじ 青	10桁 市民図書館 青 赤	10桁 市民図書館 青 赤	10桁 市民図書館 青 赤			

●資料コード概要一覧

備考	高知市市民図書館	資料番号	高知市市民図書館
	窓口	00	窓口
		01	成人室
		02	子ども室
		03	移動図書館
		04	視聴覚ライブラリ
		05	
		06	
		07	
		08	
		09	
		10	
		11	
		12	
		13	厚浜
		14	江ノ口
		15	下知
		16	子ども科学図書館 (自由民権記念館 と重複)
		17	春野
		18	
		19	
		20	
		21	三里
		22	藤田
		23	初月
		24	一宮
		25	高須
		26	介良
		27	朝倉
		28	森
		29	五台山
		30	大津
		31	布師田
		32	みませ
		33	瀬戸
		34	磯
		35	土佐山
		36	36

混乱を避けるため
40以降に移動の
可能性有

相互貸借用

[別紙]移動図書館貸出返却概要

	高知市民図書館移動図書館(市BM)	高知県立図書館移動図書館(県BM)	
BM登録利用者	市BM個人登録・貸出	×	
	市BM団体登録・貸出	×	
	県BM個人登録・貸出	×	
	県BM団体登録・貸出	×	
	個人貸出(新図書館)	○(実運用は別途検討)	×
	個人貸出(市分館・分室)	○(実運用は別途検討)	×
	教育機関(市内)貸出(新図書館)	○(実運用は別途検討)	×
	教育機関(市内)貸出(市分館・分室)	○(実運用は別途検討)	×
	対他図書館(県内)貸出(物流利用)	×	○
	対他図書館(県内)貸出(新図書館)	×	○
	対他図書館(県内)貸出(市分館・分室)	×	×
	その他団体(市内)貸出(新図書館)	○(実運用は別途検討)	×
	その他団体(市内)貸出(市分館・分室)	○(実運用は別途検討)	×
	その他団体(市外)貸出(新図書館)	×	×
その他団体(市外)貸出(市分館・分室)	×	×	
非BM登録利用者	市BMでの返却処理	×	
	県BMでの返却処理	×	
	新図書館窓口での返却処理	○(実運用は別途検討)	
	市分館・分室窓口での返却処理	○(実運用は別途検討)	
		○(実運用は別途検討)	
返却		○	
		×	
		○	
		○	
		○(実運用は別途検討)	